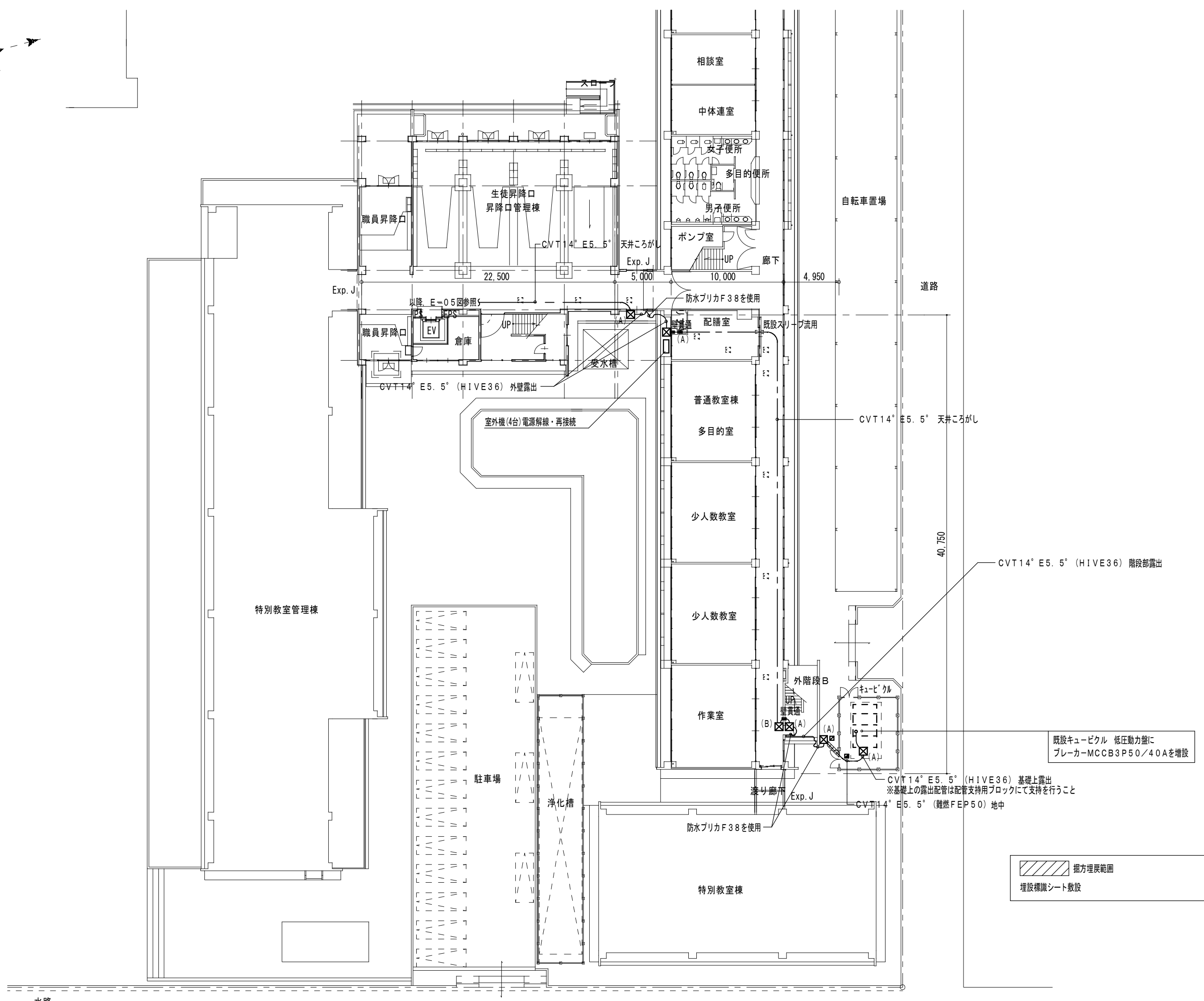
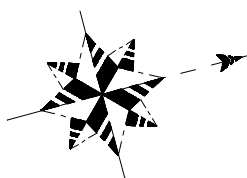


<p>19. ボルト・ナット類 屋外に使用する支持金物及びボルト、ナット類で特記のないもの</p> <ul style="list-style-type: none">●ステンレス ・溶融亜鉛メッキ仕上げ <p>20. ケーブル及び配線</p> <p>(1)表示</p> <p>下記の箇所で、ケーブル等に行き先等表示札（ケーブル種別及びサイズ、行き先、施工年、用途、施工者名等を表示。）を取り付ける。</p> <ul style="list-style-type: none">① ケーブルがスラブを貫通する部分② ケーブル分岐部分③ 変電所内のケーブル引出し部分④ 盤内及び接地端子箱の外部配線引込み部分⑤ 屋内の直線部分は、3 0mごと⑥ プルボックス内⑦ 屋外の共同溝等の直線部分は、5 0mごと⑧ 屋外の地中管路より建物内への引込み部分⑨ マンホール及びハンドホールごと <p>(2)ケーブル余長</p> <ul style="list-style-type: none">1) 地中線式の場合、マンホール、ハンドホール内でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所2) 架空線式の場合、電柱上でケーブル余長を見込む箇所数 ・2箇所 ・4箇所 ・()箇所 <p>21. 配線器具の設置</p> <ul style="list-style-type: none">(1)特殊コンセントはプラグ付とする。(2)電源の種類により色を区別する。(3)配線器具を取り付ける場所が金属の場合は、絶縁棒を使用する。(4)プレートは、図面に特記なき場合、新金属製とする。(5)カバープレートは、原則として新金属製とする。 なお、器具を塗装しない位置ボックスには用途表示をすること。(6)フロアプレートは、水平高低調整型（空転防止リング付）とする。 <p>22. 照明器具の設置</p> <ul style="list-style-type: none">(1)照明器具取付完了後、照度測定を行う。照度計は一般形 A A 級とする。(2)天井下地材より支持をする場合は、ワイヤ等により脱落防止の措置を行う。(3)パイプ吊りの照明器具は振れ止めを施工する。 <p>23. 照明改修の際の測定</p> <p>対象室の改修前後の照度及び回路電流値の測定を次のとおり行うこと。</p> <p>測定箇所 (監督員と協議) 測定回数 前後各(1)回</p> <p>24. 分電盤、制御盤、キュービクル等</p> <p>図面ホルダー内には、完成図及び回路の行き先がわかる図面を備える。また、既設分電盤・制御盤等を改造した場合は、図面を修正するものとする。</p> <p>25. 受変電設備、発電設備の設置場所</p> <ul style="list-style-type: none">(1)保守点検、防火上有効な空間、維持管理の空間を考慮する。(2)屋内に設置する場合は、床の強度計算書、換気計算書等を監督員に提出する。(3)基礎の高さは周囲の状況を考慮する。(4)電気室には水管、蒸気管、ガス管、ダクト等を通過させない。 <p>26. 発電設備の燃料配管</p> <ul style="list-style-type: none">(1)フレキシブルジョイント取付位置は、施工前に所轄の消防署と十分に打合せを行う。(2)配管の接続は、機器の取外し又は保守点検を考慮し施工する。 <p>27. 非常放送設備のスピーカ設置</p> <ul style="list-style-type: none">(1)放送区域の各部からスピーカまでの水平距離は1 0m以内とする。(2)階段等にスピーカを設置する場合は、垂直距離1 5m以内とする。 <p>28. 土工事</p> <ul style="list-style-type: none">(1)埋戻しの材料及び工法<ul style="list-style-type: none">●B種 (材料：根切り土中の良質土 / 工法：機器による締固め)・その他 ()ただし、配管周りの埋戻し材料は山砂とする。(2)特記なき地中埋設配管の深さは、GL-6 0 0mm以上とする。(3)根切りの種類は、マンホール、ハンドホール、屋外受変電設備及び自家発電装置の基礎等は総掘り、埋設管路等は布掘り、外灯基礎、電柱等はつぼ掘りとする。(4)機械掘削は根切り底を乱さないようにする。 <p>29. ハンドホール、マンホール</p> <p>高さ9 0 0mmを超えるものにあつては、タラップ付とする。 なお、タラップの取付は4 5 0mm間隔以内とする。</p> <p>30. 地中配線路の表示杭</p> <p>下記の箇所に、地中配線路の表示杭を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none">① 建物への引込口及び送出口付近② マンホール・ハンドホール付近③ 地中線路の曲折箇所④ 道路横断箇所⑤ 直線部分では3 0m程度に1 個 (3 0mに満たない部分はその間に1 個)	<p>V. 機器仕様</p> <p>下記の該当する項目を適用する。また、選択する事項は、●印のついたものを適用する。 なお、詳細については図面による。</p> <p>【電力設備】</p> <p>1. 電灯設備</p> <p>(1)既設等との 取り合い</p> <p>(2)機器類</p> <p>(3)一般照明器具</p> <p>(4)照明制御器</p> <p>(5)外灯 (単独設置)</p> <p>(6)コンセント等</p> <p>(7)分電盤、 制御盤等</p> <p>2. 動力設備</p> <p>(1)既設との 取り合い</p> <p>(2)機器類</p> <p>(3)負荷設備</p> <p>(4)負荷設備への 接続</p> <p>(5)電動機等の 接地</p> <p>(6)分電盤、 制御盤等</p> <p>3. 雷保護設備</p> <p>(1)避雷針</p> <p>(2)雷サージ保護</p> <p>(3)電源回路保護</p> <p>(4)通信回線保護</p> <p>4. 接地設備</p> <p>(1)接地工事</p> <p>(2)接地抵抗測定</p> <p>(3)接地極埋設標</p>	<p>【受変電設備】</p> <p>5. 受変電設備</p> <p>(1)既設との 取り合い</p> <p>(2)機器類</p> <p>(3)盤類</p> <p>(4)交流遮断器</p> <p>(5)断路器</p> <p>(6)負荷開閉器</p> <p>(7)変圧器</p> <p>(8)進相コンデンサ (進相コンデンサ用)</p> <p>(9)直列リアクトル (進相コンデンサ用)</p> <p>(10)キュービクル 等</p> <p>(11)基礎</p> <p>(12)配線ビット 及び蓋</p> <p>(13)設置場所</p> <p>【電力貯蔵設備】</p> <p>6. 直流電源設備</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)容量</p> <p>(3)整流装置</p> <p>(4)蓄電池</p> <p>7. 交流無停電 電源設備</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)容量</p> <p>(3)給電方式</p> <p>(4)整流装置等</p> <p>(5)蓄電池</p> <p>(6)性能</p> <p>8. 電力準化用 蓄電設備</p> <p>9. 分散電源エネ ルギー管理 システム</p>	<p>【発電設備】</p> <p>10. 燃料式 発電設備</p> <p>(1)用途</p> <p>(2)区分</p> <p>(3)設置場所</p> <p>(4)機器</p> <p>(5)発電装置</p> <p>(6)燃料</p> <p>(7)給油ボックス</p> <p>(8)燃料移送 ポンプ</p> <p>(9)基礎</p> <p>11. その他 発電設備</p> <p>【通信・情報設備】</p> <p>12. 構内情報 通信網設備</p> <p>13. 構内交換設備</p> <p>(1)機器</p> <p>(2)交換装置</p> <p>(3)電話機</p> <p>(4)端子盤類</p> <p>(5)アウトレット</p> <p>14. 情報表示設備</p> <p>(1)設備</p> <p>(2)マルチン設置 装置</p> <p>(3)出退表示装置</p> <p>(4)時刻表示装置</p> <p>(5)警報等表示 装置</p> <p>15. 映像音響設備</p>	<p>1)用途</p> <ul style="list-style-type: none">・防災電源専用 (防災認定品) ・防災電源兼用 (防災認定品)・一般用 <p>2)区分</p> <ul style="list-style-type: none">・屋内・屋外 (・普通地域 ・塩害地域) <p>(2)設置場所</p> <ul style="list-style-type: none">・発電装置・燃料槽・給油ボックス・燃料移送ポンプ・その他 () <p>(4)発電装置</p> <ul style="list-style-type: none">1)種類<ul style="list-style-type: none">・ディーゼル発電装置・ガスエンジン発電装置・ガスタービン発電装置・簡易形 ・オープン式・キュービクル式 (・85dB(A)/1m ・75dB(A)/1m)2)形式3)始動時間 (停電検出後)・1 0 秒以内・4 0 秒以内・() 秒以内4)連続運転時間・2 時間以上・1 0 時間以上・2 4 時間以上・7 2 時間以上・その他 () <p>5) 発電機</p> <ul style="list-style-type: none">①電気方式<ul style="list-style-type: none">・三相3線式 (・6 . 6 kV ・2 0 0 V ・() V)・単相3線式 (2 0 0 / 1 0 0 V)・単相2線式 (・2 0 0 V ・1 0 0 V ・() V)②定格周波数③定格出力 () k V A <p>6) 原動機</p> <ul style="list-style-type: none">①定格出力 () kW 以上 () p s 以上②冷却方式<ul style="list-style-type: none">・ラジエータ方式・その他 () <p>1)種類</p> <ul style="list-style-type: none">・軽油・灯油・A重油・その他 () <p>2)引送時燃料</p> <ul style="list-style-type: none">・満タン・指定なし・その他 () <p>(6)燃料槽</p> <ul style="list-style-type: none">1)形式及び容量<ul style="list-style-type: none">・パッケージ搭載タンク () リットル・燃料小出槽 () リットル・主燃料槽 () リットル・屋外型 (・ステンレス製 ・鋼製)・屋内型 (・ステンレス製 ・鋼製)2)燃料小出槽①設置場所<ul style="list-style-type: none">・屋内・屋外 (地上)・地下埋設 (・タンク室内埋設 ・直埋設)・二重殻タンク・一重殻タンク・その他 ()②形式<ul style="list-style-type: none">・本工事・別途工事・その他 ()④タンク室工事<ul style="list-style-type: none">・本工事・別途工事・既設利用・その他 () <p>1)材質</p> <ul style="list-style-type: none">・ステンレス製・鋼製・その他 () <p>(7)給油ボックス</p> <ul style="list-style-type: none">2)油量指示計<ul style="list-style-type: none">・有・無1)電動ポンプ<ul style="list-style-type: none">・自動車ポンプ・油中ポンプ2)手動ポンプ (ウイングポンプ)<ul style="list-style-type: none">・有・無3)電動ポンプ水没防止カバー<ul style="list-style-type: none">・有・無・本工事 (・2 1 N/mm2 ・1 8 N/mm2)・別途工事・既設利用・その他 () <p>11. その他 発電設備</p> <ul style="list-style-type: none">・() の仕様詳細は別図による。 <p>【通信・情報設備】</p> <p>12. 構内情報 通信網設備</p> <ul style="list-style-type: none">・仕様詳細は別図による。 <p>13. 構内交換設備</p> <p>(1)機器</p> <ul style="list-style-type: none">・交換装置・電話機・端子盤類●アウトレット・その他 () <p>(2)交換装置</p> <ul style="list-style-type: none">1)種別<ul style="list-style-type: none">・構内交換装置 (・デジタルPBX ・IP-PBX ・VoIPサーバ)・ポタン電話装置●その他 (エレベータ用回線の接続)2)局線応答方式<ul style="list-style-type: none">・局線中継台・分散中継台・ダイヤルイン・ダイレクトインダイヤル・ダイレクトインライン・その他 ()3)保安用接地<ul style="list-style-type: none">・本工事・別途工事・既設利用・その他 ()4)本配電盤 (MDF)<ul style="list-style-type: none">・自立フレーム (・片面形 ・両面形)・交換機一体型・壁掛型・その他 ()5)電源装置<ul style="list-style-type: none">①形式・別置型・一体形・その他 ()②停電補償時間・3 0 分以上・() 以上 <p>(3)電話機</p> <ul style="list-style-type: none">・一般電話機・多機能電話機・IP電話機・デジタルコード電話機 (PHS方式)・IPコード電話機 (無線LAN方式)・その他 () <p>(4)端子盤類</p> <ul style="list-style-type: none">1)端子盤<ul style="list-style-type: none">・中継端子盤 (IDF)・室内端子盤2)中継端子盤には実装数の2 0 % 以上、室内端子盤には1 0 P 以上の接続端子板スペースを見込む。・ローテンションアウトレット (・固定型 ・上下動型 (アップ式を含む))・壁コンセント・その他 () <p>14. 情報表示設備</p> <p>(1)設備</p> <ul style="list-style-type: none">・マルチン装置・出退表示装置●時刻表示装置・警報等表示装置 <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(2)マルチン設置装置</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(3)出退表示装置</p> <p>仕様詳細は別図による。</p> <p>(4)時刻表示装置</p> <ul style="list-style-type: none">1)機器<ul style="list-style-type: none">・表示盤・検出装置・その他 ()2)表示盤<ul style="list-style-type: none">①表示方式<ul style="list-style-type: none">・表示窓式・その他 ()②施工<ul style="list-style-type: none">・本工事・別途工事●既設利用・その他 ()3)検出装置<ul style="list-style-type: none">①検出方式<ul style="list-style-type: none">・電極・無電圧接点・その他 ()②施工<ul style="list-style-type: none">・本工事・別途工事・既設利用・その他 ()4)図面に特記明示がない場合、検出装置への接続は本工事とする。 <p>15. 映像音響設備</p> <ul style="list-style-type: none">・仕様詳細は別図による。		
特記						
	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897			
			一級建築士事務所	一級建築士第24816号	設計	NS
			登録番号 (1) 第2118号	内田 貴之		
	津市立橋北中学校長寿命化改修工事					N0.
	電気設備工事特記仕様書 (2)					E-02
						**
						原因:A2

<p>16. 拡声設備 (1)機器 (2)増幅器 (3)付属機器 (4)操作装置 (5)スピーカ</p> <p>17. 誘導支援設備 (1)設備 (2)音声誘導装置 (3)インターホン (4)トイレ等呼出装置</p> <p>18. テレビ共同受信設備 (1)受信放送 (2)機器 (3)アンテナ (4)中継器 (5)発信機</p> <p>19. 監視カメラ設備</p> <p>20. 駐車場管制設備</p> <p>21. 防犯・入退室管理設備</p> <p>22. 自動火災報知設備 (1)機器 (2)受信機 (3)副受信機(表示装置) (4)中継器 (5)発信機 (6)感知器 (7)光警報装置</p>	<p>23. 自動閉鎖設備 (1)機器 (2)運動制御器 (3)感知器 (4)自動閉鎖装置 (5)自動開錠装置</p> <p>24. 非常警報設備 (1)設備 (2)非常放送装置 (3)非常ベル (4)スピーカー (5)非常ベル (自動サイレンを含む)</p> <p>25. ガス漏れ火災警報設備 (1)機器 (2)受信機 (3)副受信機 (4)検知器</p> <p>【中央監視制御設備】 【医療関係設備】 【構内配電線路】</p> <p>26. 構内配電線路 (1)配線方式 (2)建柱 (3)装柱機器(高圧用) (4)装柱機器(低圧用) (5)ハンドホールマンホール (6)鑄鉄蓋 (7)地中ケーブル保護材料</p>	<p>【構内通信線路】</p> <p>27. 構内通信線路 (1)用途 (2)配線方式 (3)建柱 (4)ハンドホールマンホール (5)鑄鉄蓋 (6)地中ケーブル保護材料</p> <p>【その他】</p> <p>28. 消火器</p> <p>VI. 使用資材の適用規格 (1)以下に定めるとおりとする。なお、以下に定めのない資材については、日本産業規格(JIS規格)適合品の使用を原則とする。 ●電気用品安全法に定める特定電気用品又は特定電気用品以外の電気用品 ・電気用品安全法適合品 ●耐熱・耐火電線、耐熱・耐火ケーブル ・消防庁の登録認定機関として消防庁告示に規定された耐火・耐熱電線及び耐火バスタクトの適合性検査を行い合格したものの ・第三者認証機関として(一社)日本電線工業会規格(JCS規格)への適合性検査を行い合格したものの ●非常用照明器具 ・建築基準法に定める国土交通大臣認定品 ・(一社)日本照明工業会の自主評定を受け、JIL5501適合マークが貼付されたもの ●誘導灯 ・登録認定機関((一社)日本電気協会(JEA誘導灯認定委員会))の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ●制御盤 ・(一社)日本配電制御システム工業会規格(JSIA規格)適合品 ●消防用加圧送水装置、不活性ガス消火設備及びハロゲン化物消火設備の制御盤、火災通報装置、総合操作盤等の認定対象品 ・登録認定機関((一財)日本消防設備安全センター(消防用設備等認定委員会))の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ●不活性ガス消火設備等の操作箱、新ガス系消火設備制御盤、緊急通報装置、非常通報装置等の性能評定対象品 ・(一財)日本消防設備安全センターの性能評定を受け、評定証票が貼付されたもの ●金属閉鎖形スイッチギア ・(一社)日本電機工業会規格(JEM規格)適合品 ●高圧機器(遮断器、限流ヒューズ、負荷開閉器、避雷器、断路器、特定機器以外の変圧器、計器用変成器、保護継電器) ・(一社)電気学会電気規格調査会規格(JEC規格)適合品 ●直流電源装置(防災電源用) ・登録認定機関((一社)日本電気協会(JEA蓄電池設備認定委員会))の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ●交流無停電電源装置 ・(一社)電気学会電気規格調査会規格(JEC規格)適合品 ●自家発電装置(防災電源用) ・登録認定機関((一社)日本内燃力発電設備協会)の認定を受け、認定証票(長時間形)が貼付されたもの ●自家発電装置(防災電源用でないもの) ・(一社)日本電機工業会規格(JEM規格)適合品 ●太陽電池モジュールの支持物 ・電気設備の技術基準の解釈第4条第2項又は第3項の規定に適合するもの ●電話用設備(電話交換機、電話機等) ・登録認定機関((一財)電気通信端末機器審査協会(JATE)等)の技術基準適合認定を受け、適合表示が貼付されたもの ●非常用放送設備 ・登録認定機関(日本消防検定協会)の認定を受け、認定証票が貼付されたもの ●テレビ共同受信機器 ・優良住宅部品(BL部品)の認定を受けたもので、BLマーク証紙が貼付されたもの ・(一社)電子情報技術産業協会スーパーハイビジョン受信マーク登録品の認定を受けたもので、SHマークが貼付されたもの ●自動火災報知設備 ・登録認定機関(日本消防検定協会)の認定を受け、認定証票が貼付されたもの (2)特殊仕様の資材を使用する場合は、仕様・性能等を証明する書類を監督員に提出し、監督員の承諾を得るものとする。</p>	<p>特記</p> <p>月 日</p> <p>U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之</p> <p>設計番号 年月日 縮尺 設計 NS</p> <p>津市立橋北中学校長寿命化改修工事 電気設備工事特記仕様書(3)</p> <p>N0. E-03 ** 原因: A2</p>
--	--	--	--

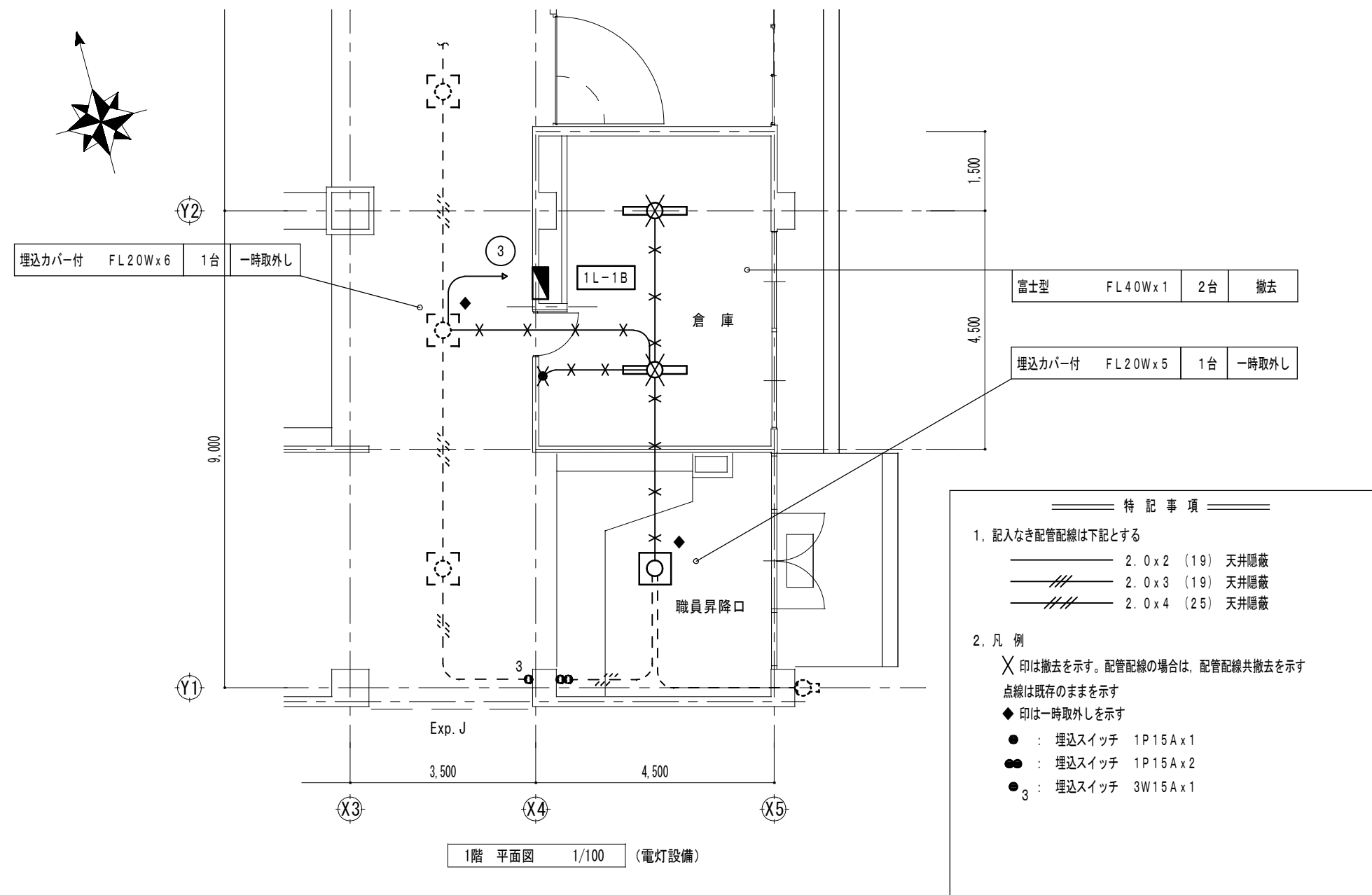


配置図 1/300

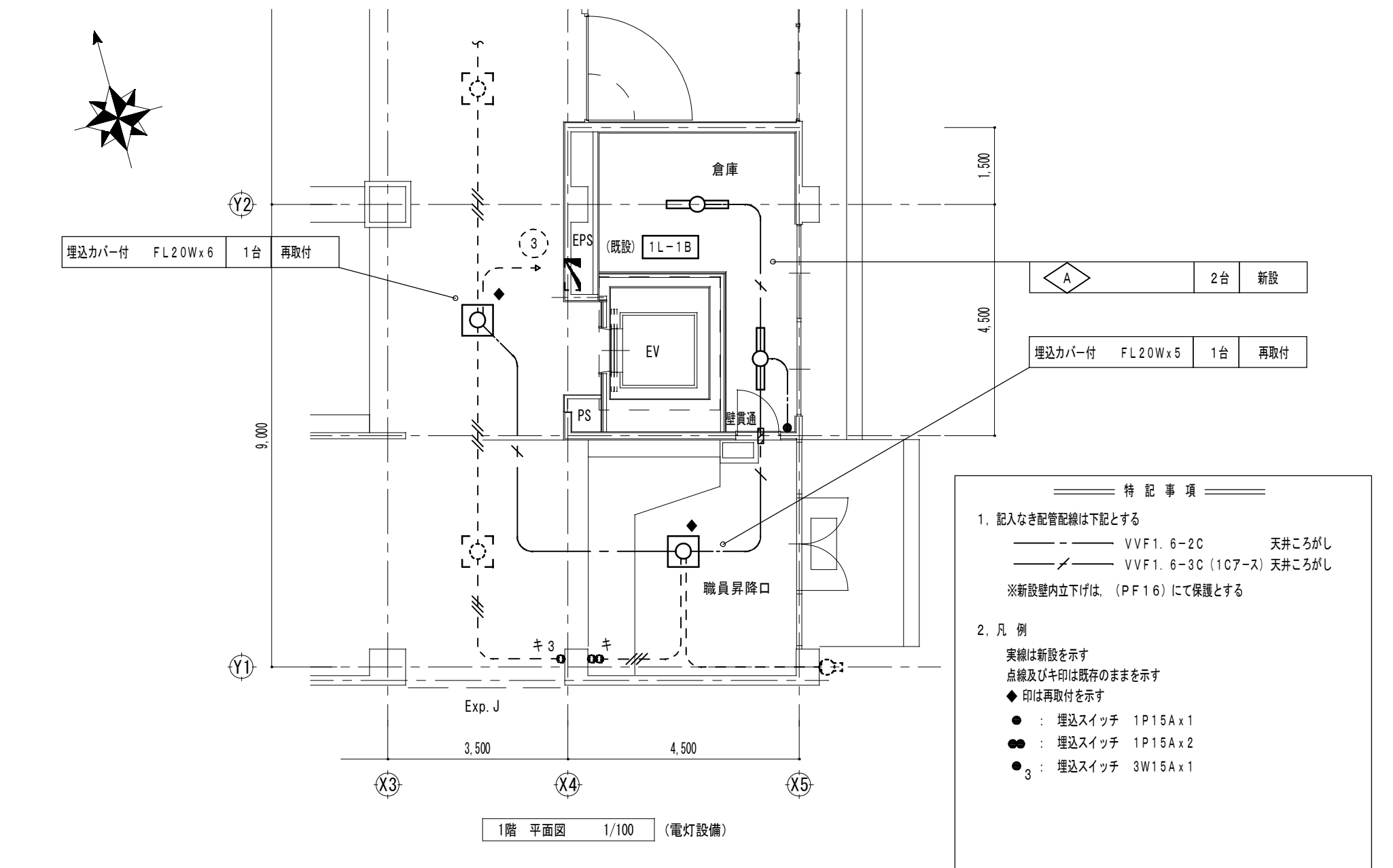
A	一体型LEDベースライト 直付型 消費電力20.6W FHF32Wx1 高出力相当
LSS9-4-30	
B	一体型LEDベースライト 直付型 消費電力43.1W FHF32Wx2 高出力相当
LSS9-4-65	

- 特記事項 ——
- 記入なき配管配線は下記とする
 - CVT14° E5.5° (HIVE36) 露出
 - CVT14° E5.5° 天井こぼし
 - 凡例
 - ☒ (A) : 防水プルボックス SUS製 300x300x200
 - ☒ (B) : プルボックス 塗装鋼板製 300x300x200
 - : 埋設標識枕 鉄製
 - : 埋設標識枕 コンクリート製
 - ε : 既設天井点検口

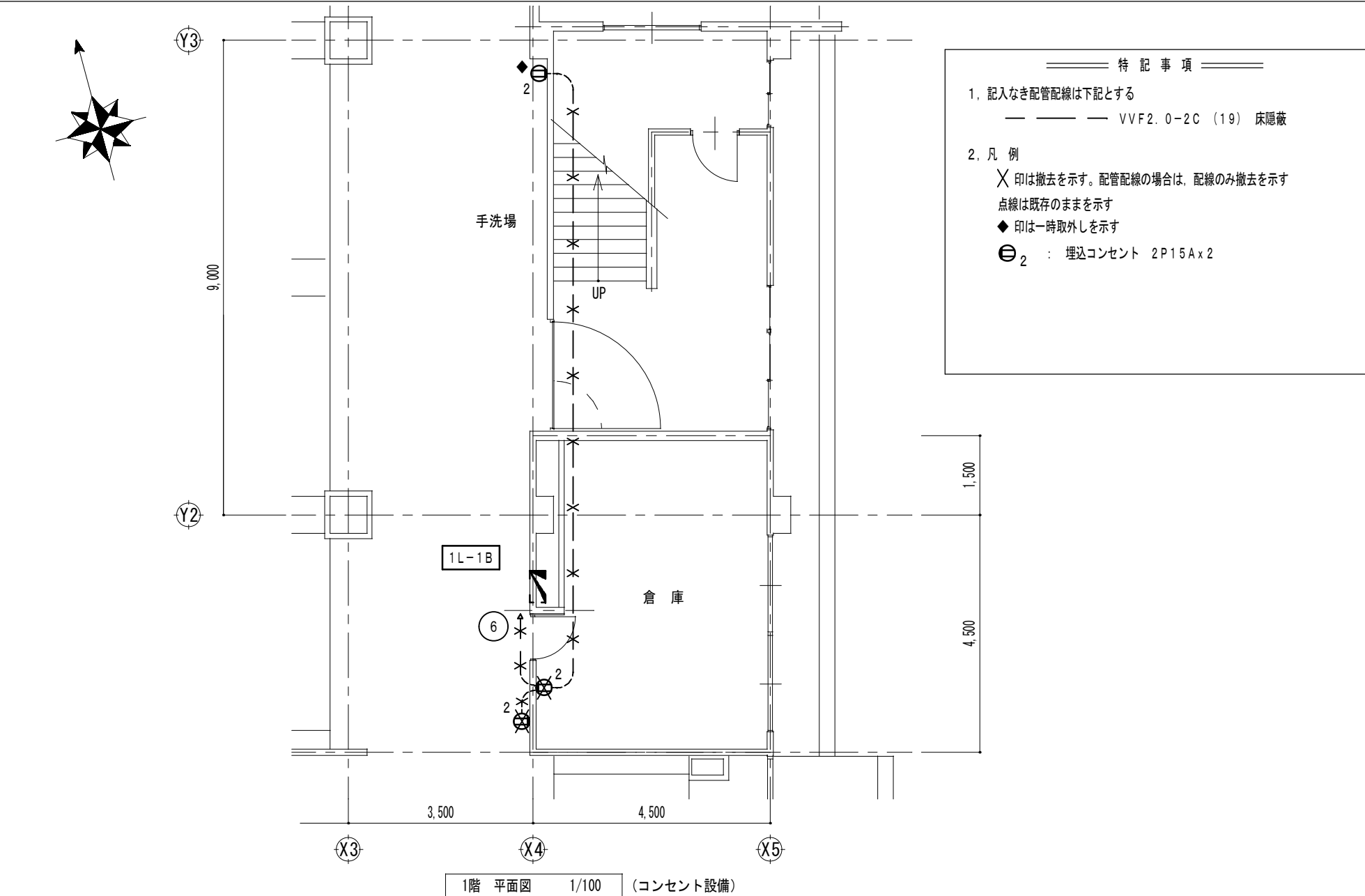
(改修前) 1階平面図 電灯設備



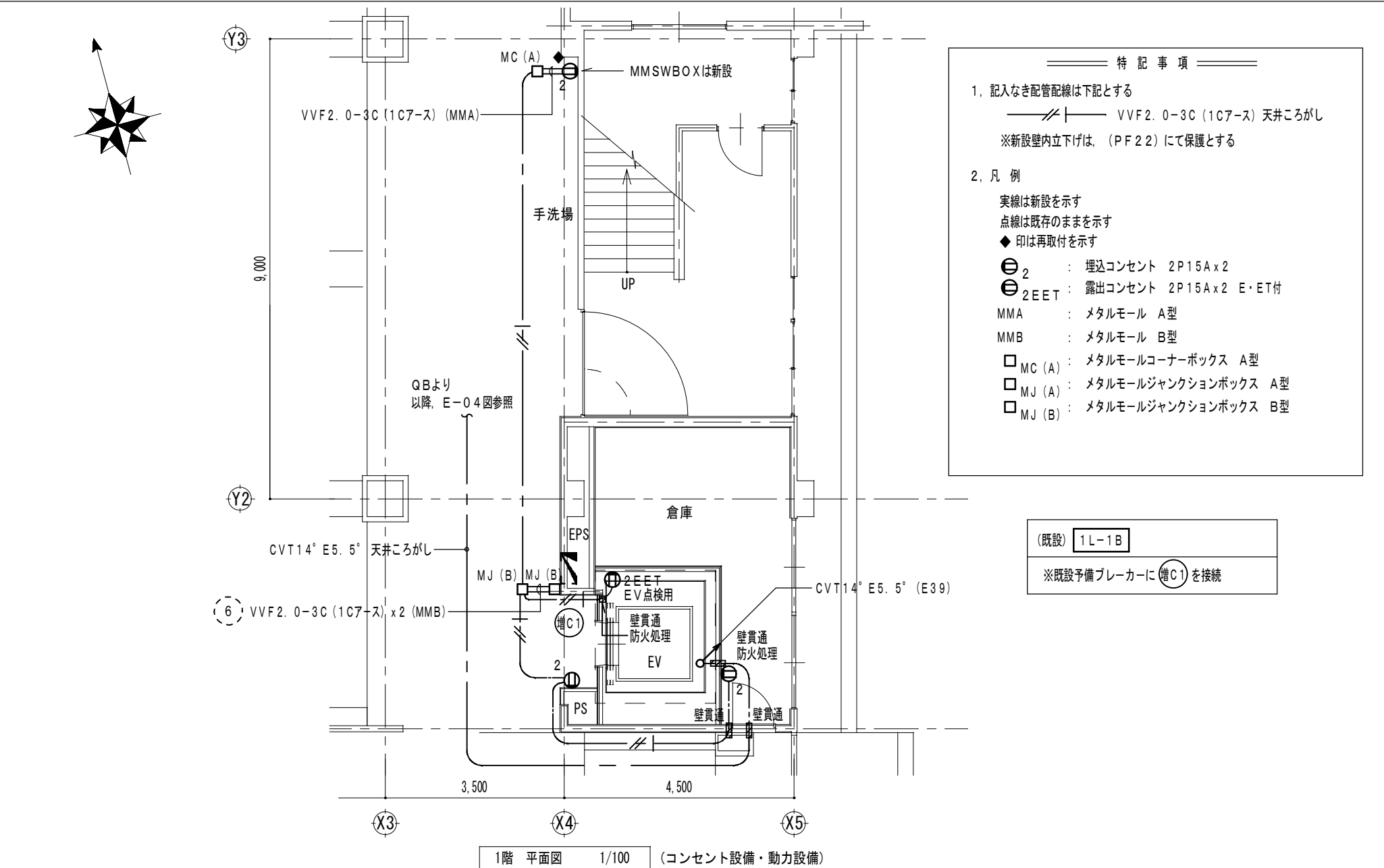
(改修後) 1階平面図 電灯設備



(改修前) 1階平面図 コンセント設備



(改修後) 1階平面図 コンセント設備・動力設備



特記

月 日

U 建築設計

設計番号

年月日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

1/100

E-05

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

設計

電灯・コンセント・動力設備 1階平面図

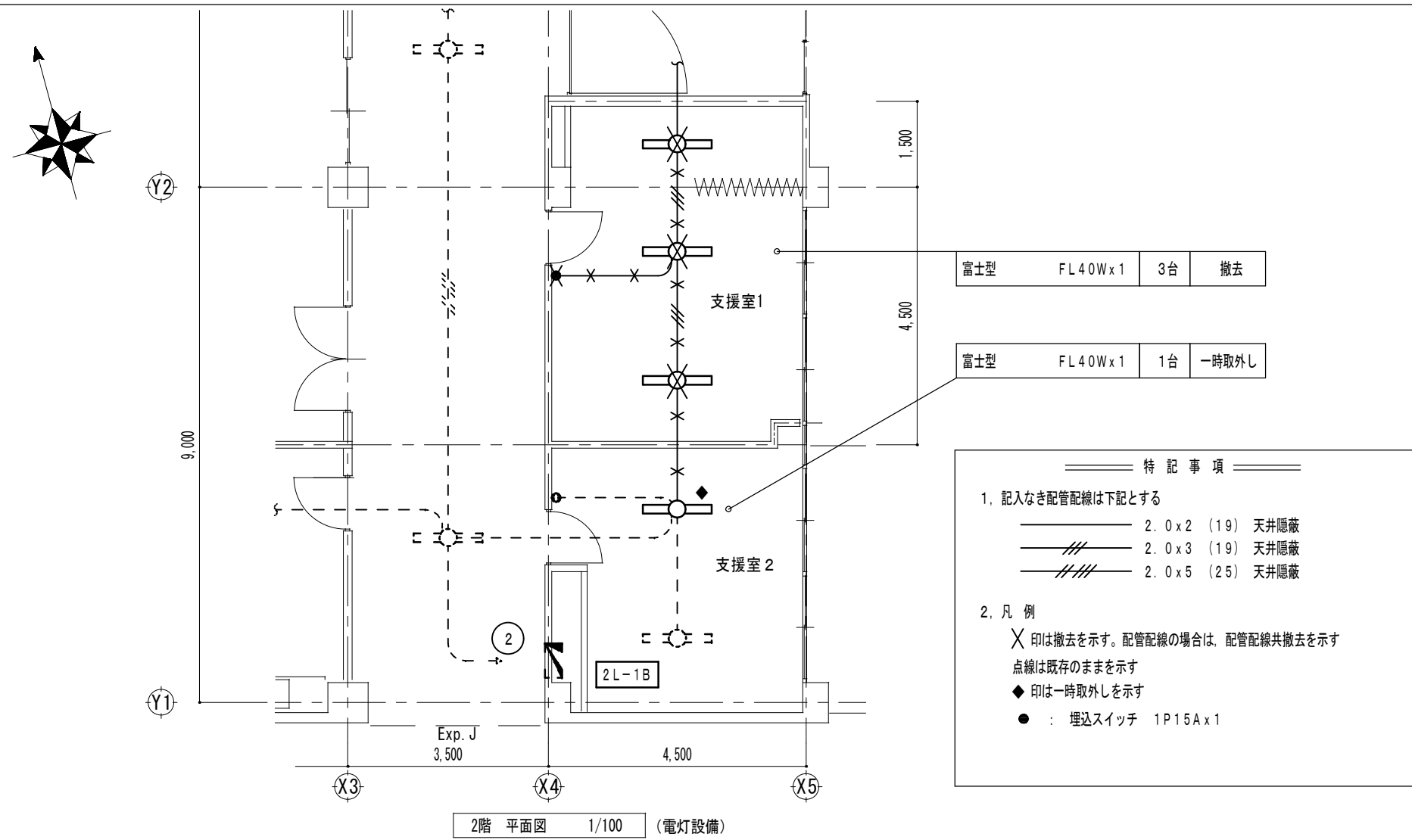
(改修前後)

** 原因:A2

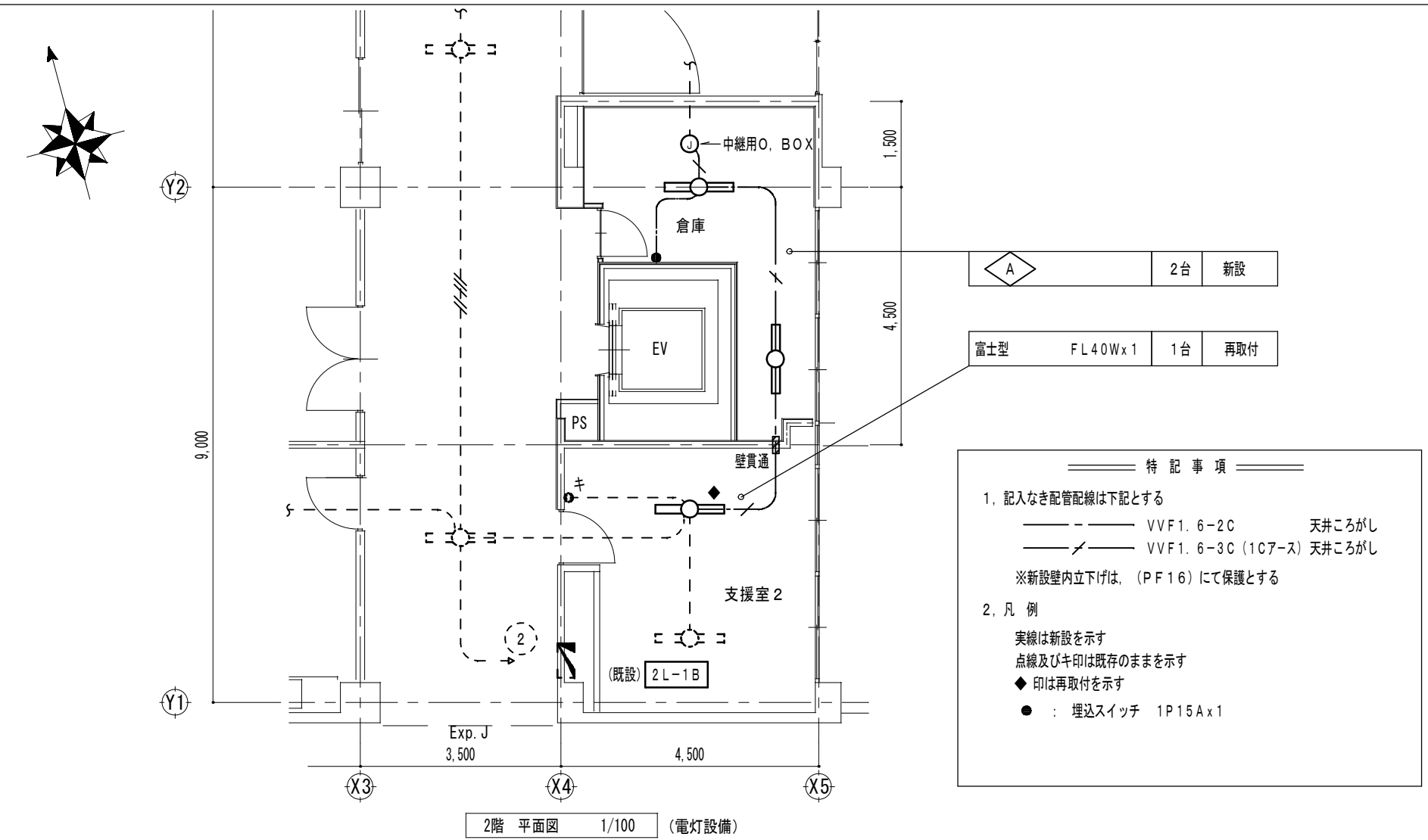
登録番号(1)第2118号

内田 貴之

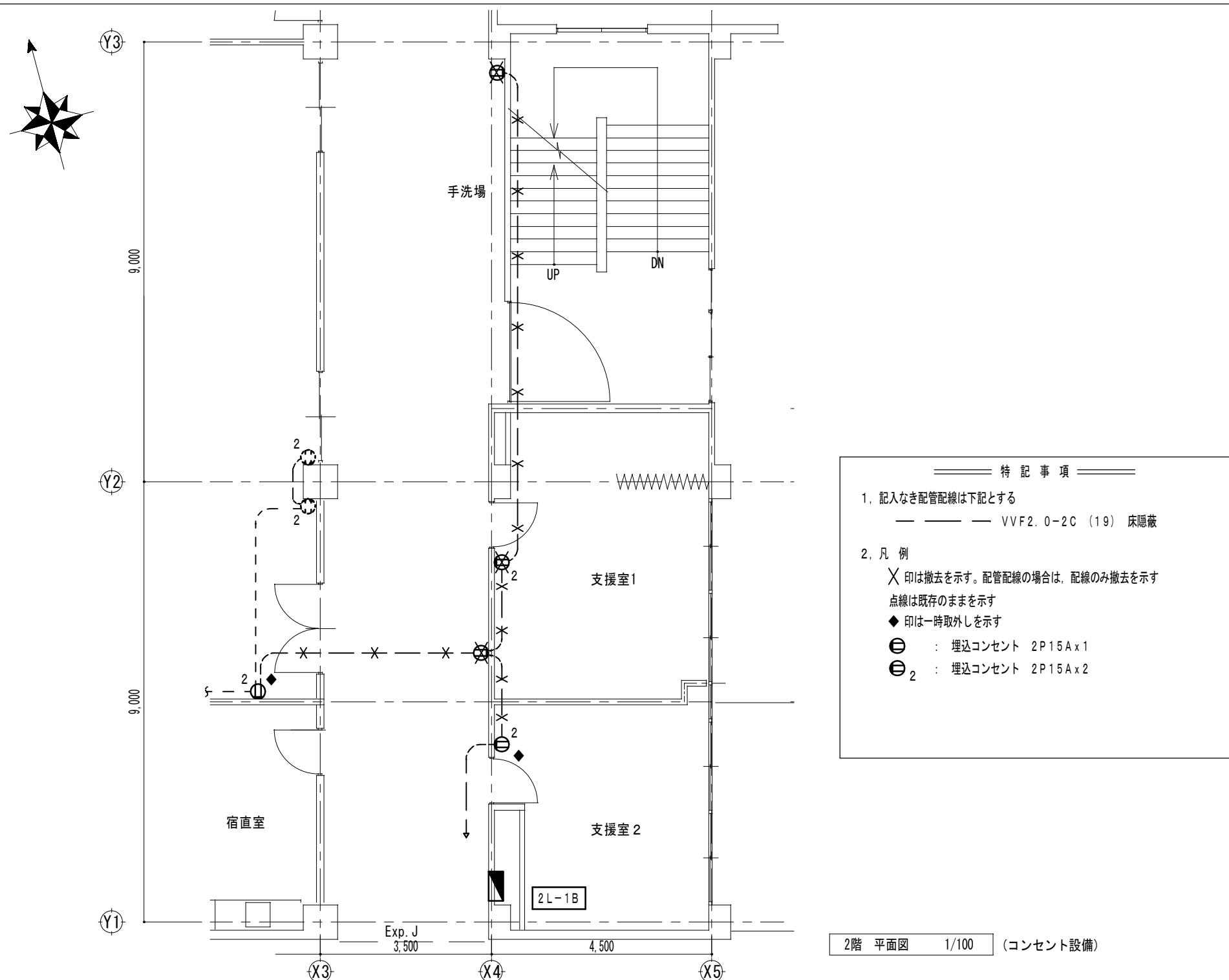
(改修前) 2階平面図 電灯設備



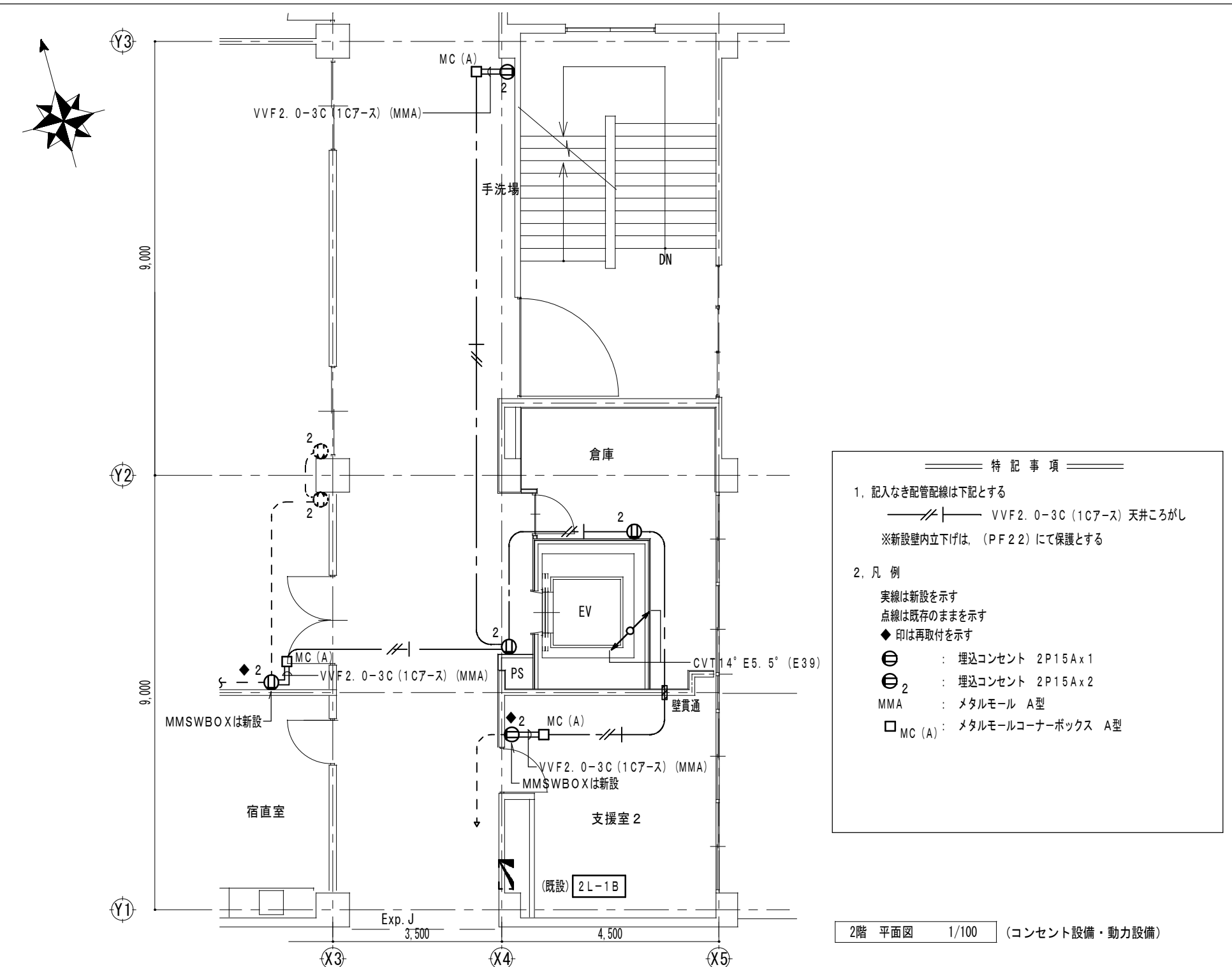
(改修後) 2階平面図 電灯設備



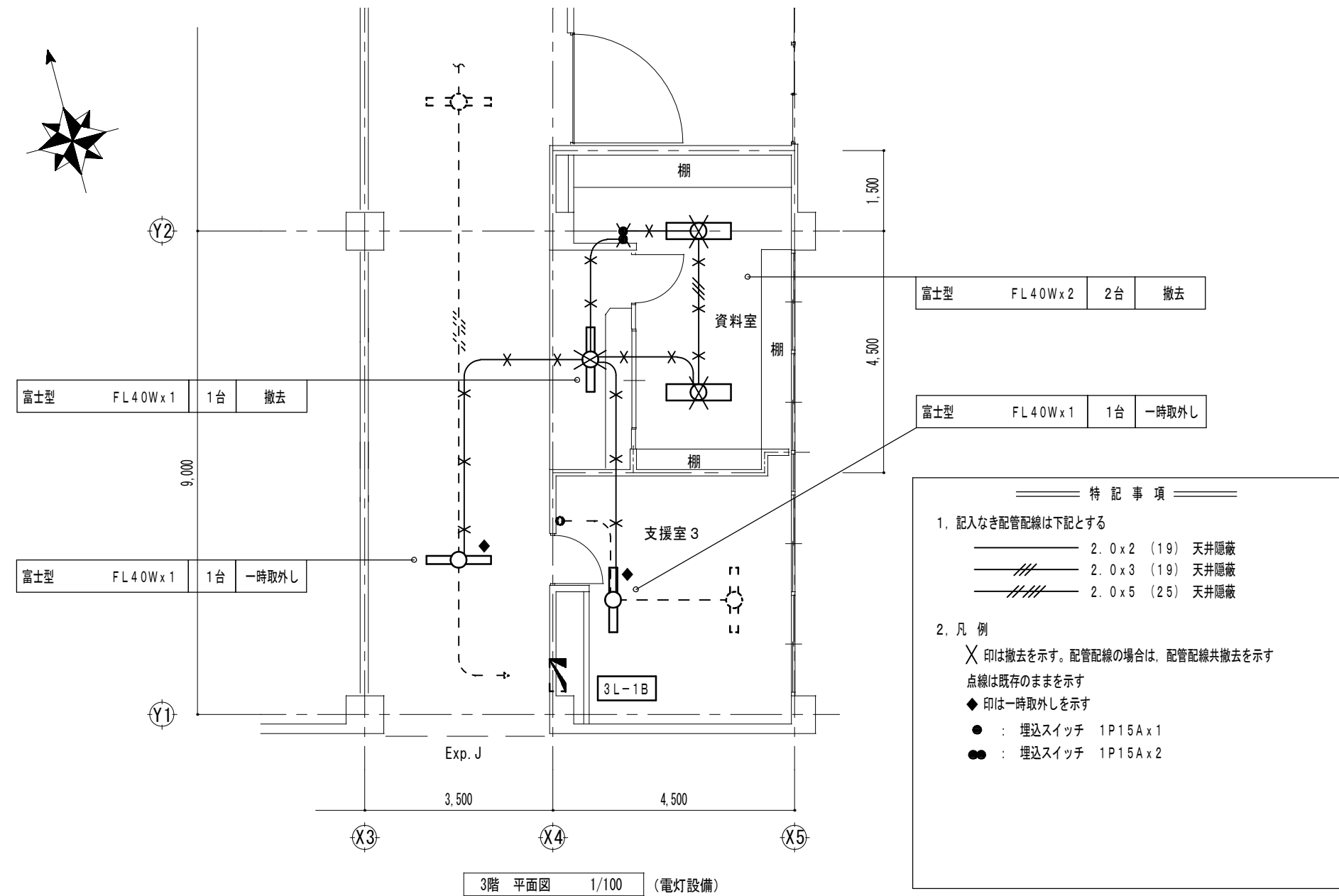
(改修前) 2階平面図 コンセント設備



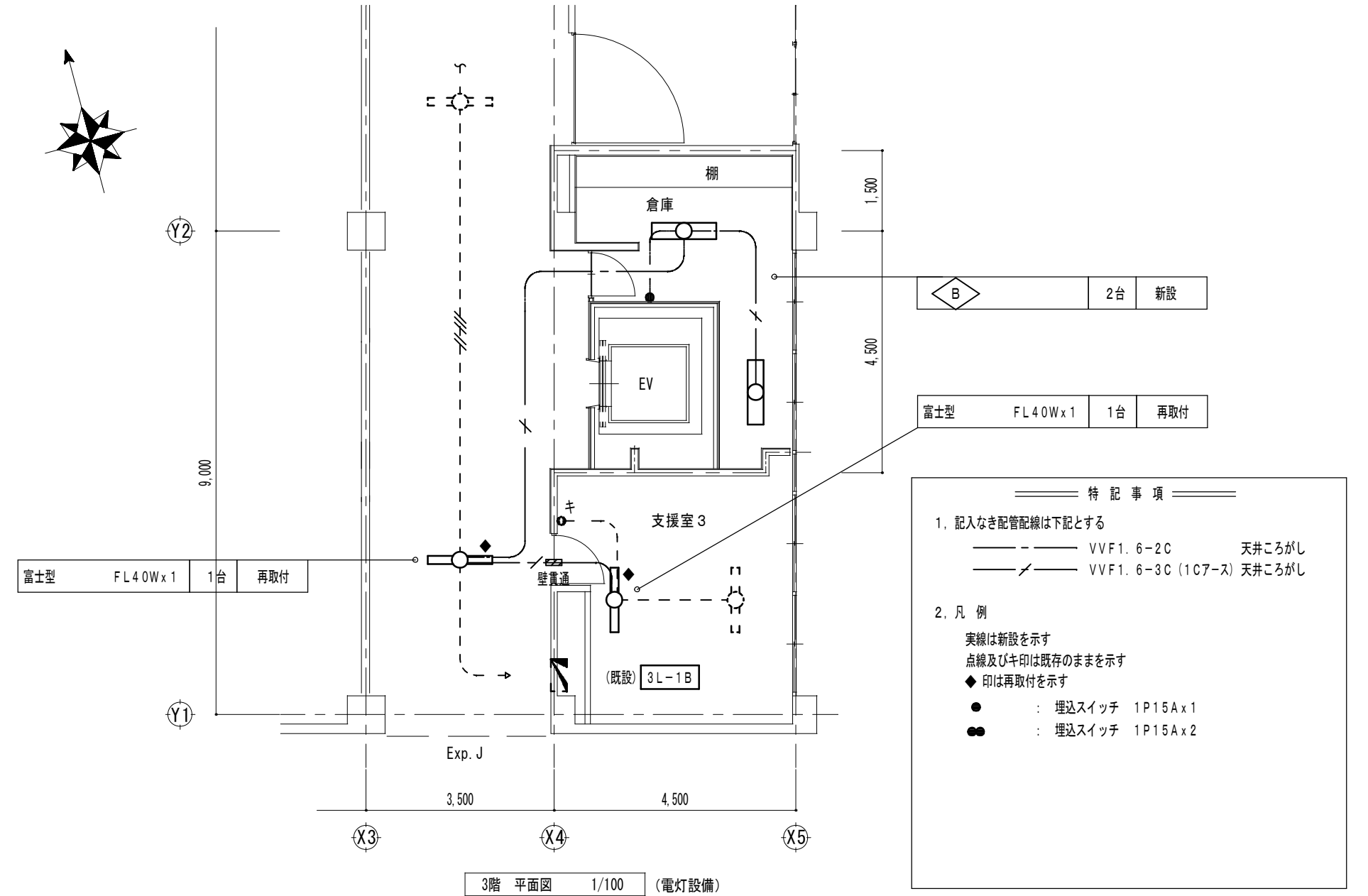
(改修後) 2階平面図 コンセント設備・動力設備



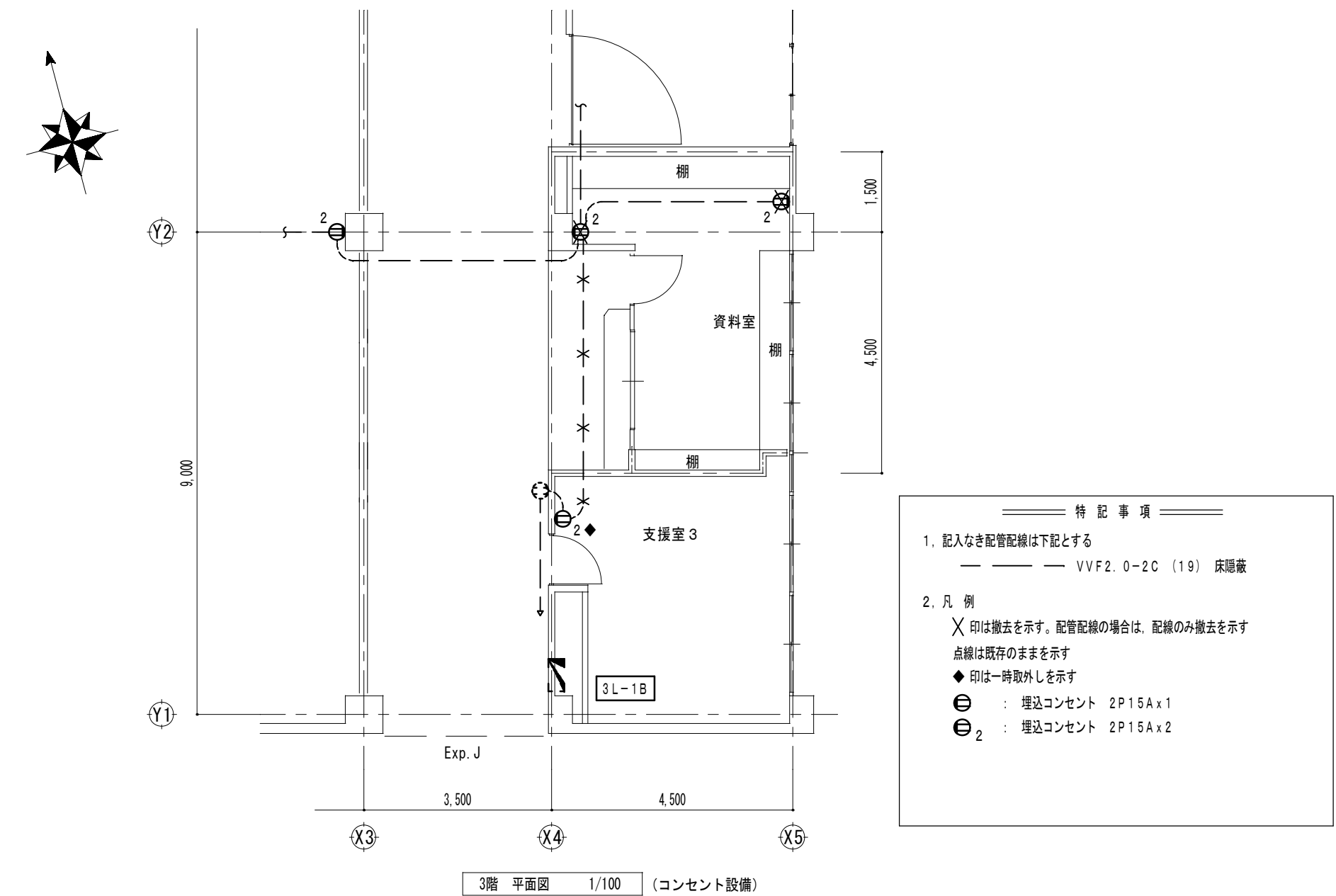
(改修前) 3階平面図 電灯設備



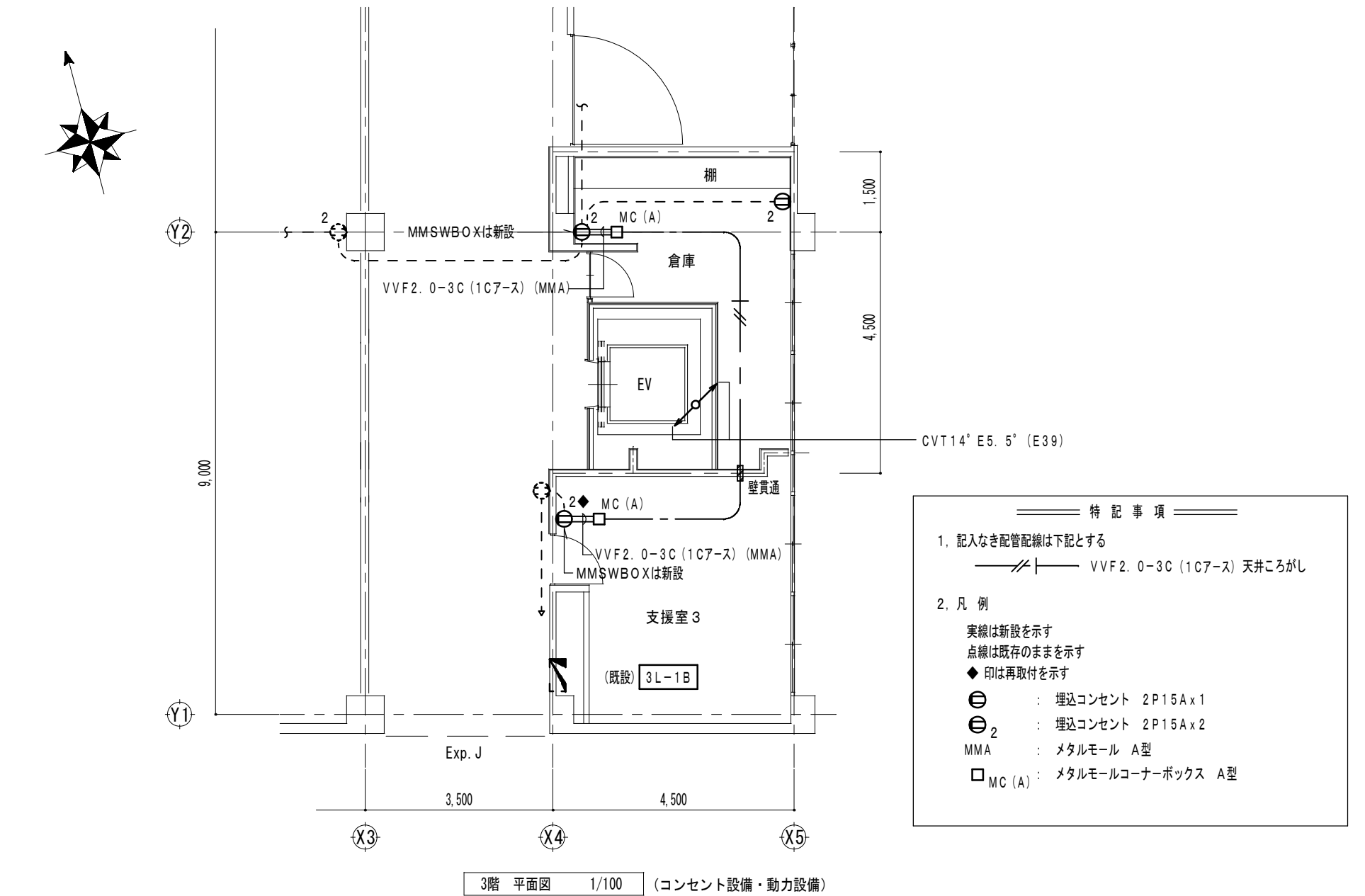
(改修後) 3階平面図 電灯設備



(改修前) 3階平面図 コンセント設備



(改修後) 3階平面図 コンセント設備・動力設備



特記

月 日

U 建築設計

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計番号

年月日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

設計

1/100

電灯・コンセント・動力設備 3階平面図 (改修前後)

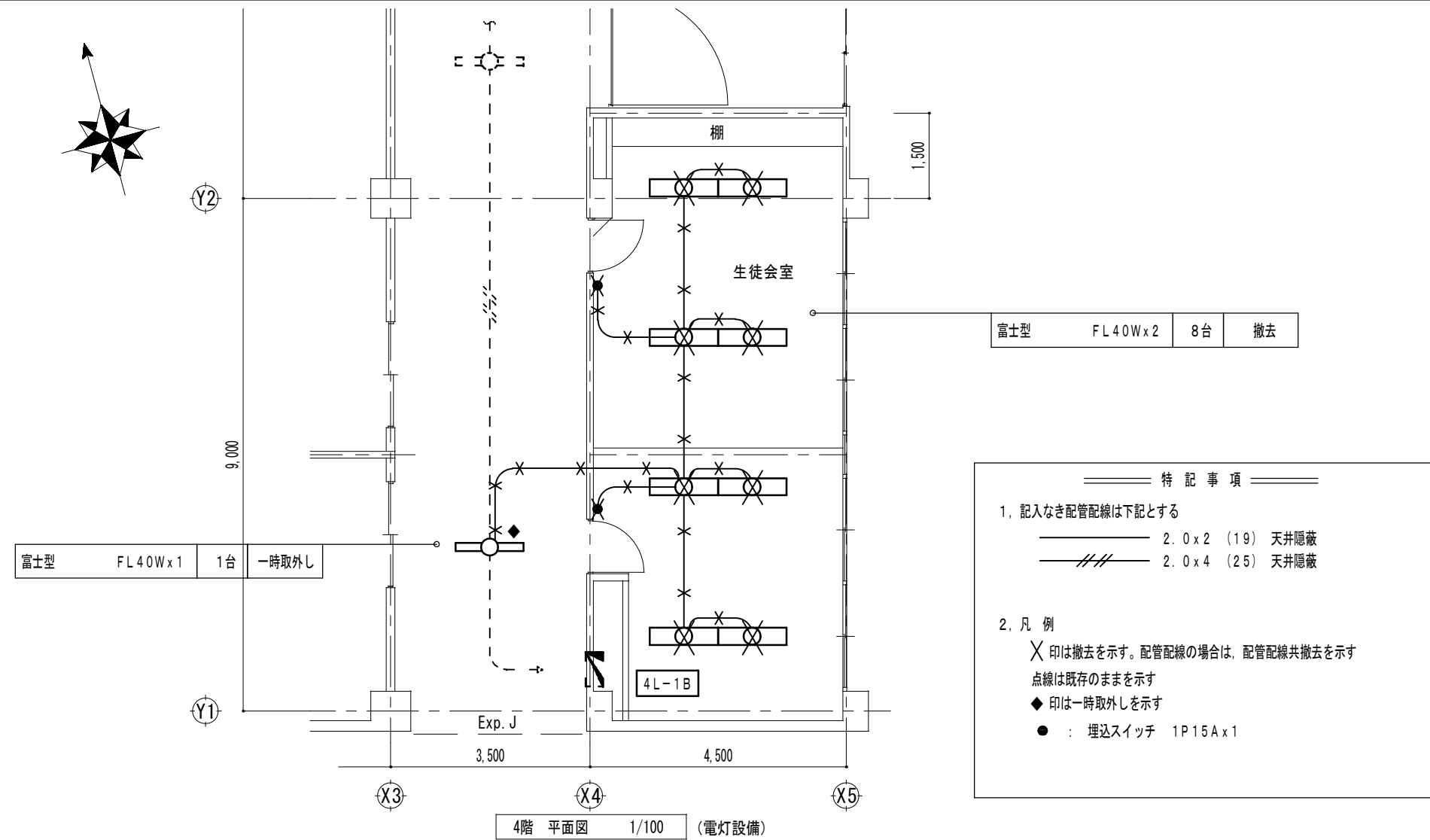
E-07

登録番号(1)第2118号

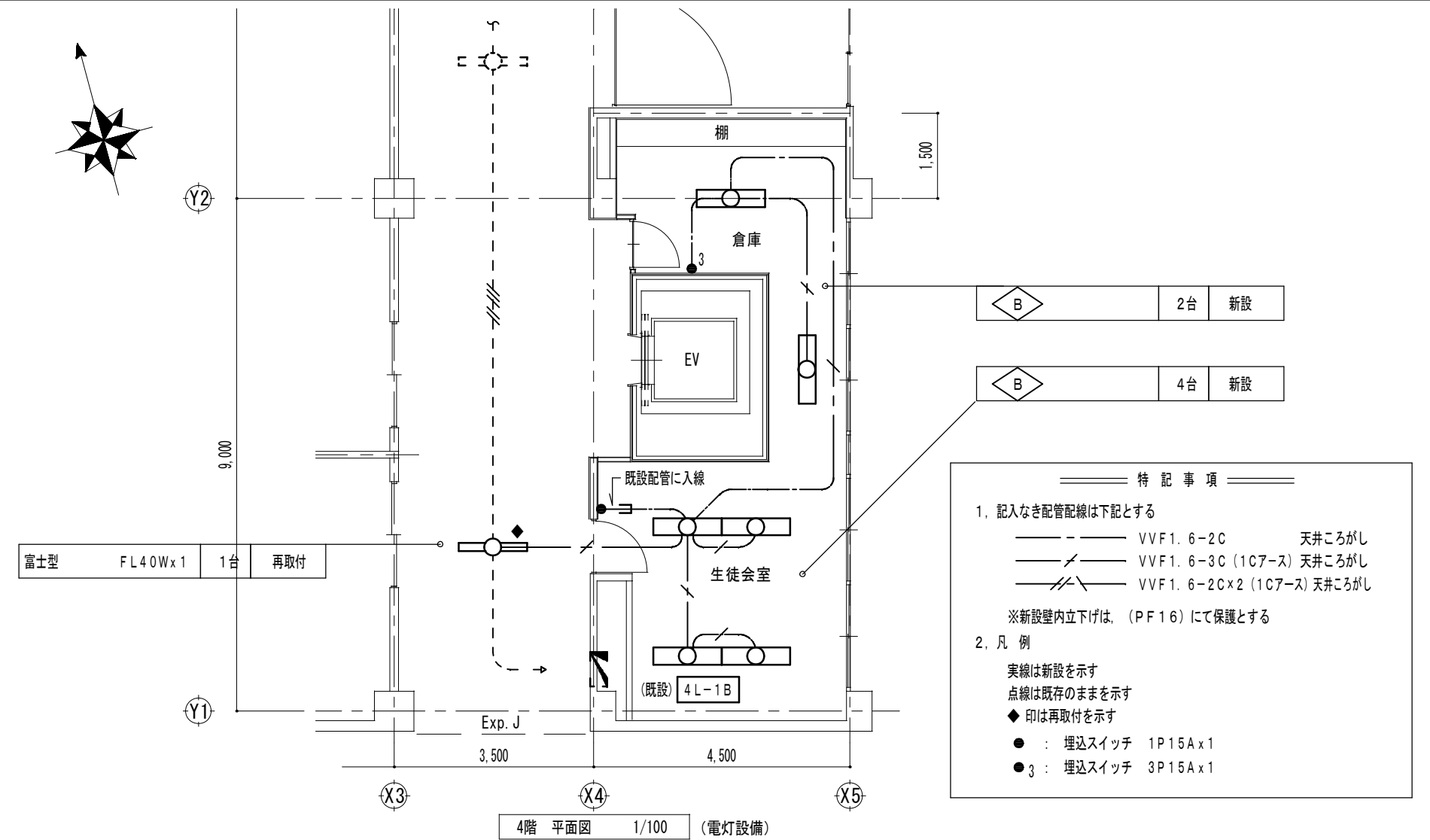
内田 貴之

** 原図:A2

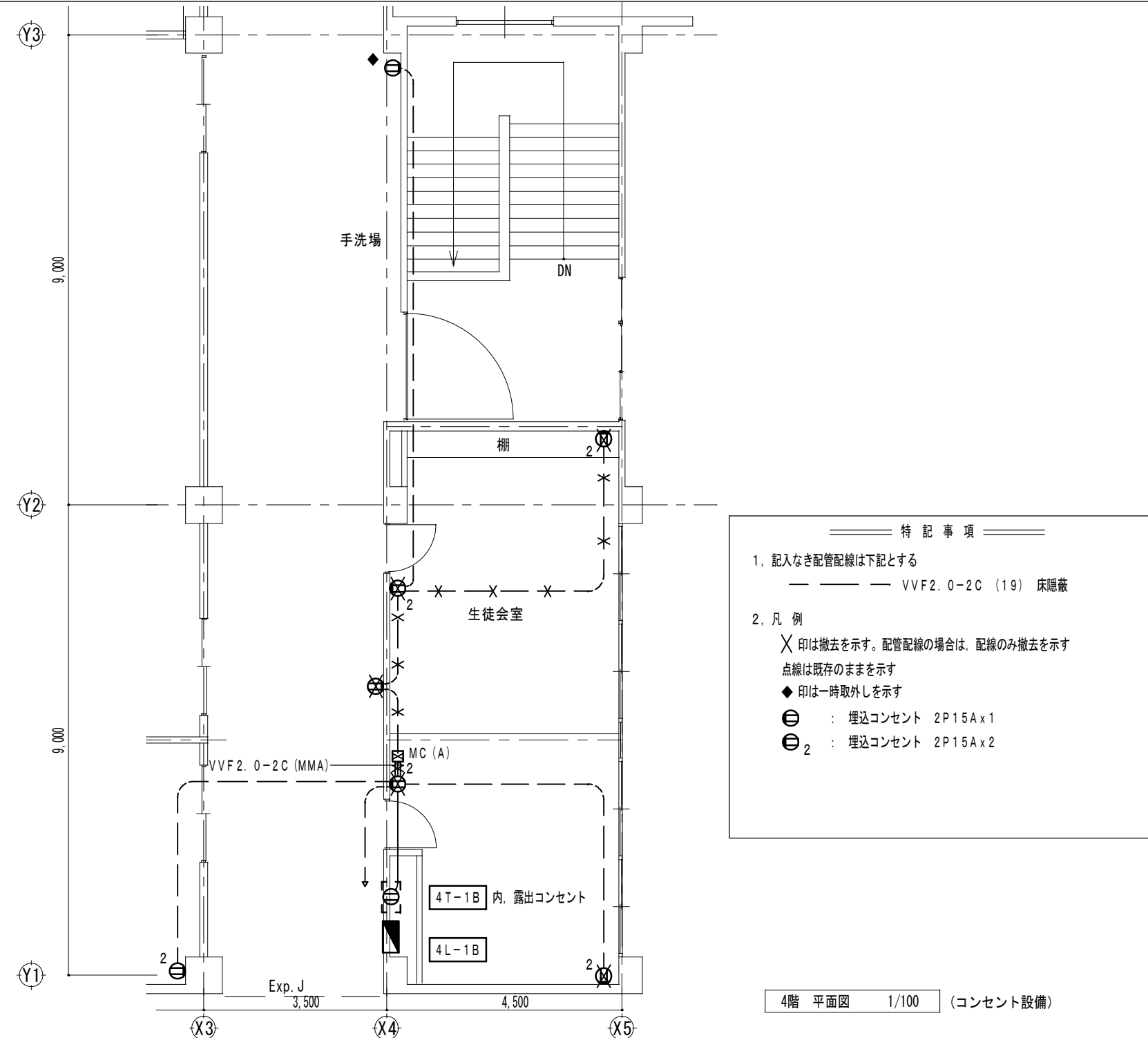
(改修前) 4階平面図 電灯設備



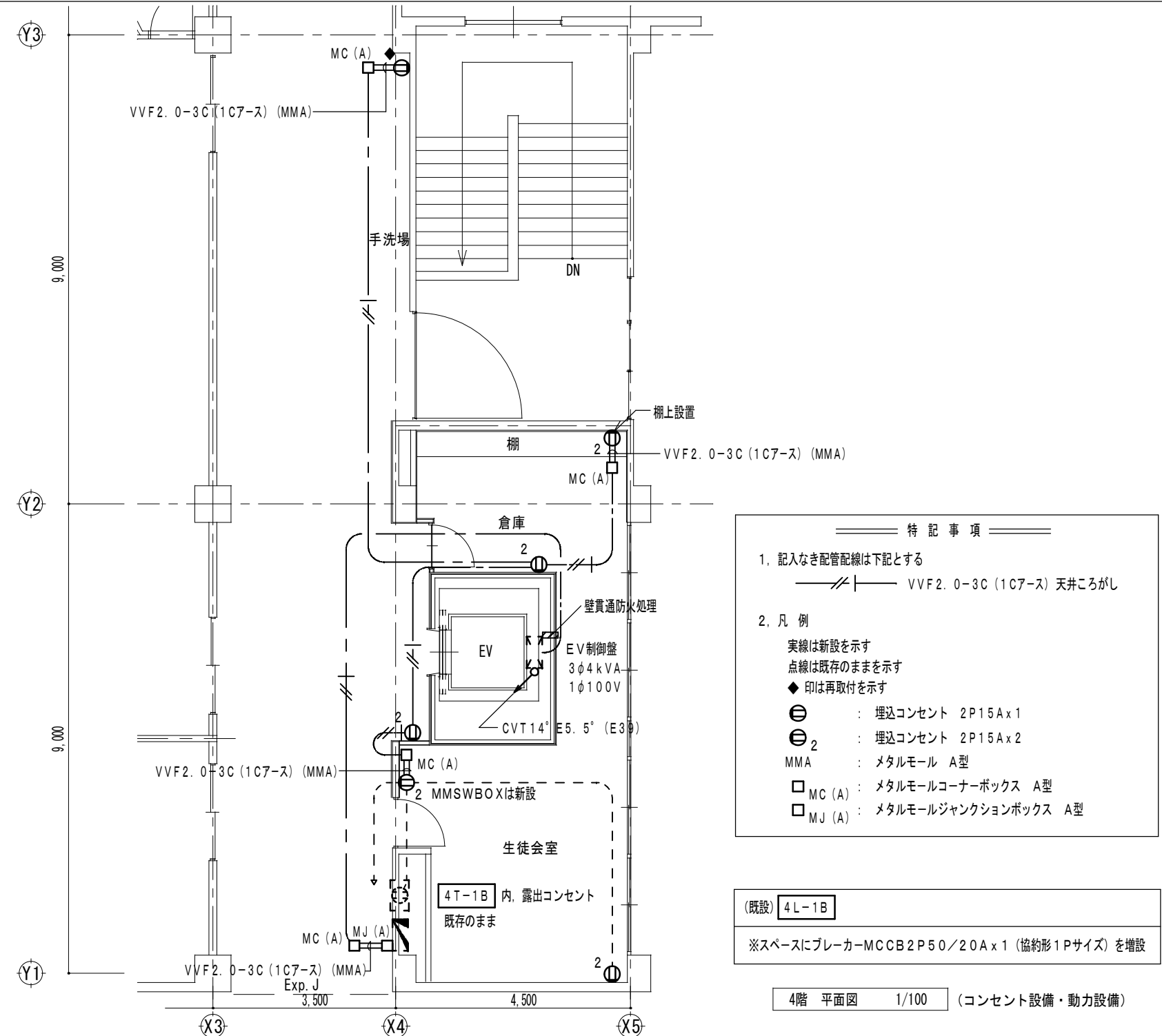
(改修後) 4階平面図 電灯設備



(改修前) 4階平面図 コンセント設備



(改修後) 4階平面図 コンセント設備・動力設備



特記

月 日

U 建築設計
 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897
 一級建築士事務所 一級建築士第248160号
 登録番号(1)第2118号 内田 貴之

設計番号

年月日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

電灯・コンセント・動力設備 4階平面図 (改修前後)

N0.

E-08

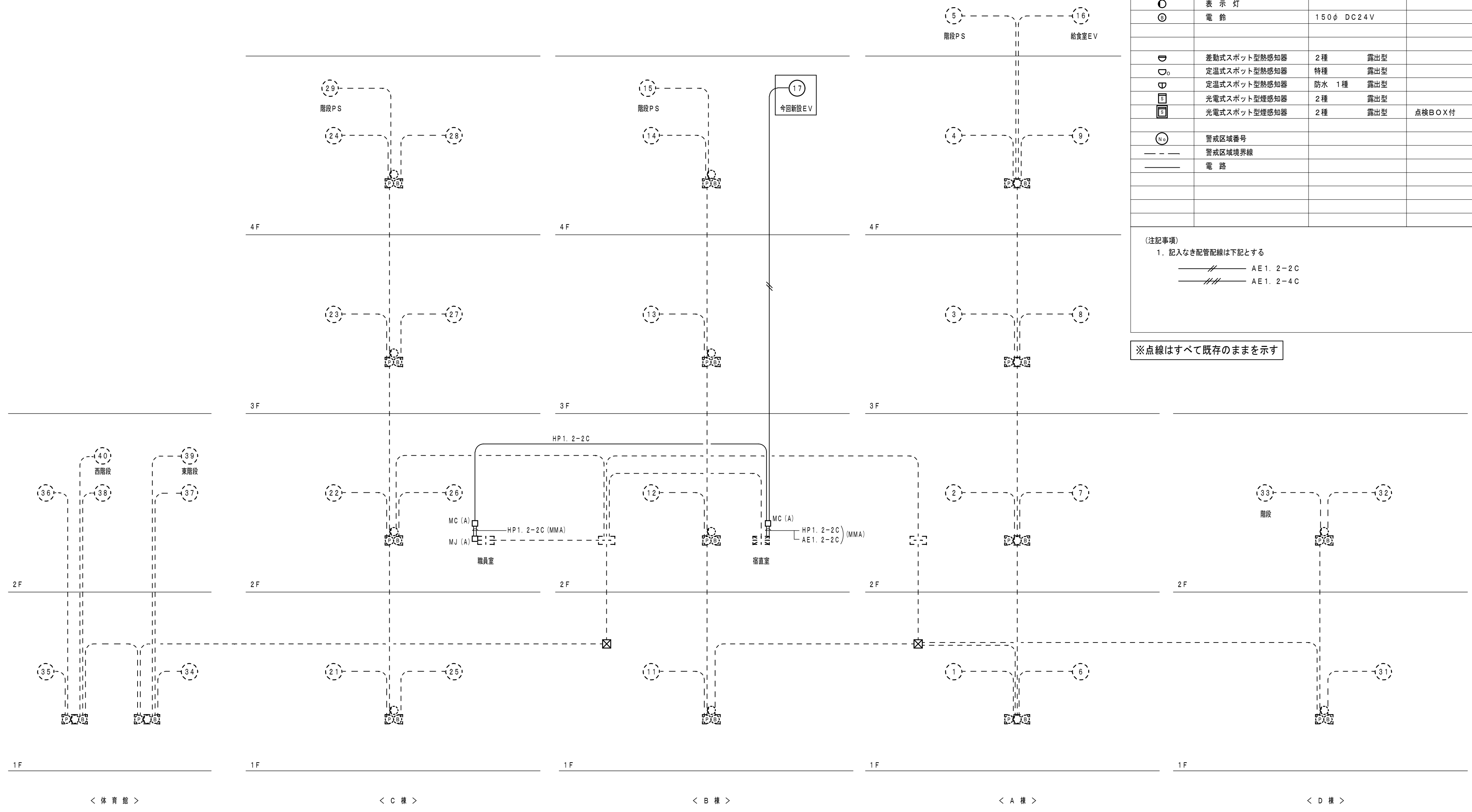
**

原図:A2

凡 例			
記号	名称	仕様	備考
☒	火報受信機	P型1級40回線	
☒	火報表示機	P型1級40回線	
⊙	発信機	P型1級	
○	表示灯		
⊙	電鈴	150φ DC24V	
⊖	差動式スポット型熱感知器	2種	露出型
○	定温式スポット型熱感知器	特種	露出型
⊖	定温式スポット型熱感知器	防水 1種	露出型
☒	光電式スポット型煙感知器	2種	露出型
☒	光電式スポット型煙感知器	2種	露出型 点検BOX付
⊖	警戒区域番号		
---	警戒区域境界線		
---	電路		

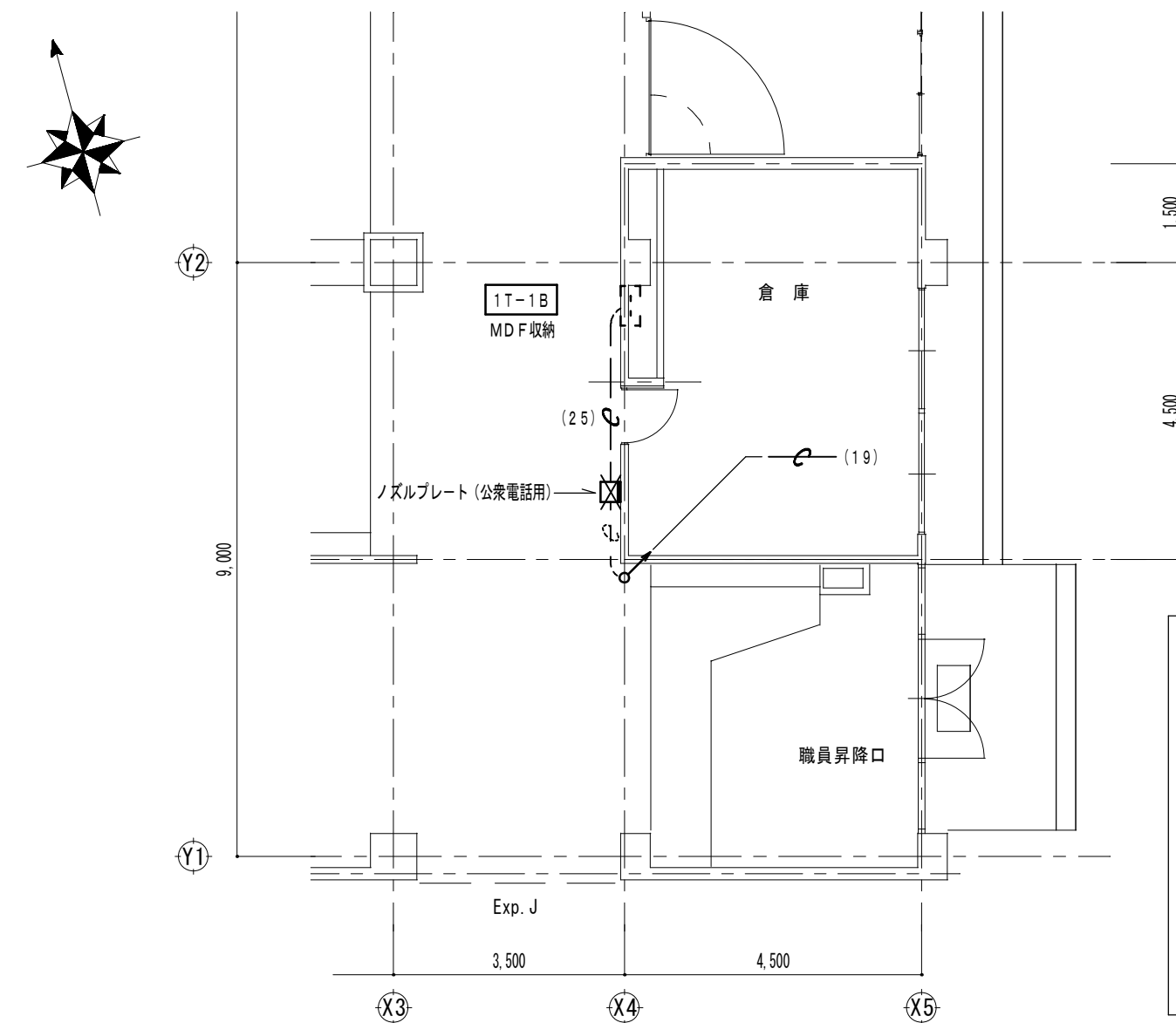
(注記事項)
 1. 記入なき配管配線は下記とする
 --- AE1. 2-2C
 --- AE1. 2-4C

※点線はすべて既存のままを示す



系統図

(改修前) 1階平面図 弱電設備



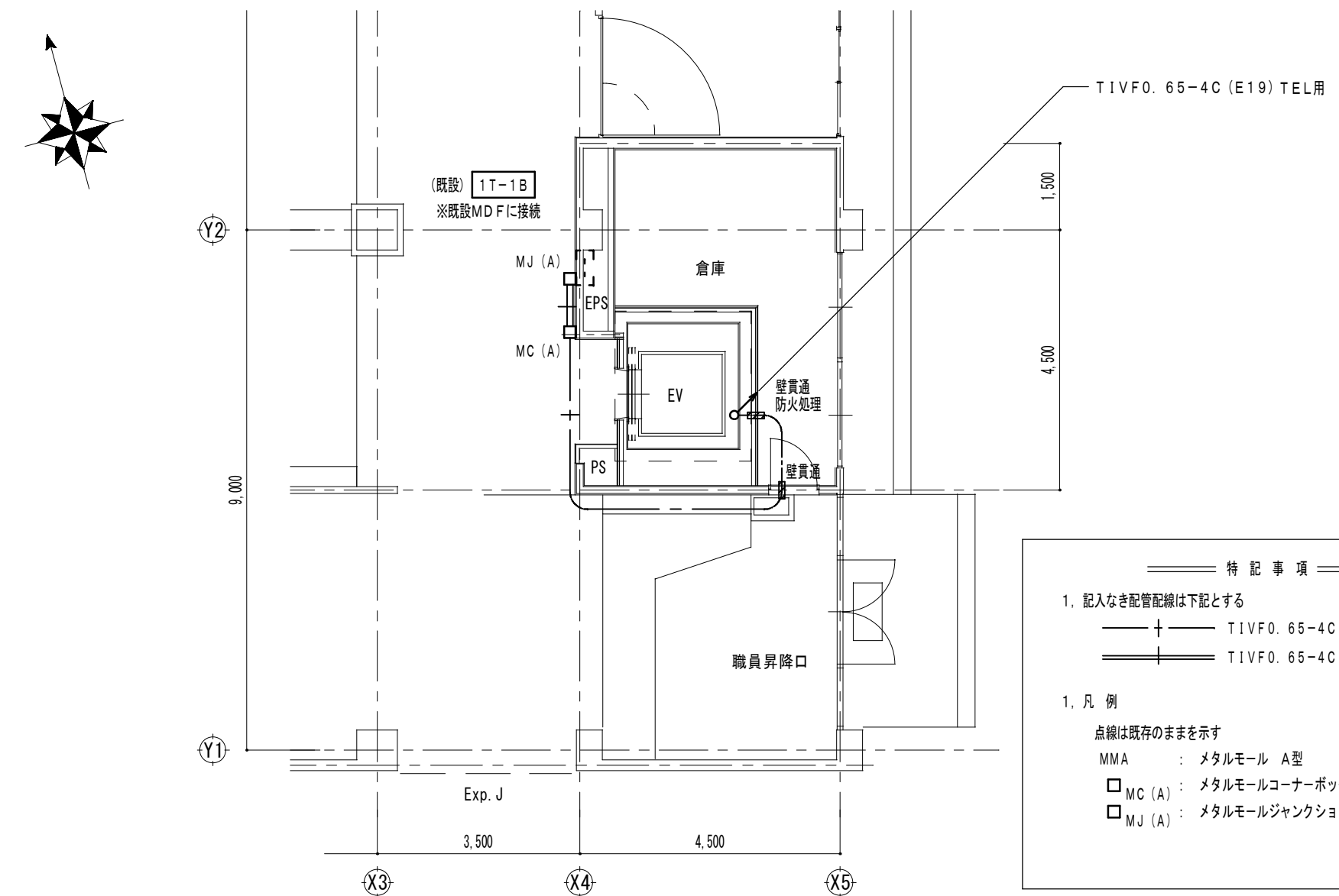
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 (19) 天井隠蔽
 (25) 床隠蔽

2. 凡例
 X印は撤去を示す。
 天井及び床隠蔽の空配管は残置とする。
 点線は既存のままを示す

1階 平面図 1/100 (弱電設備)

(改修後) 1階平面図 弱電設備



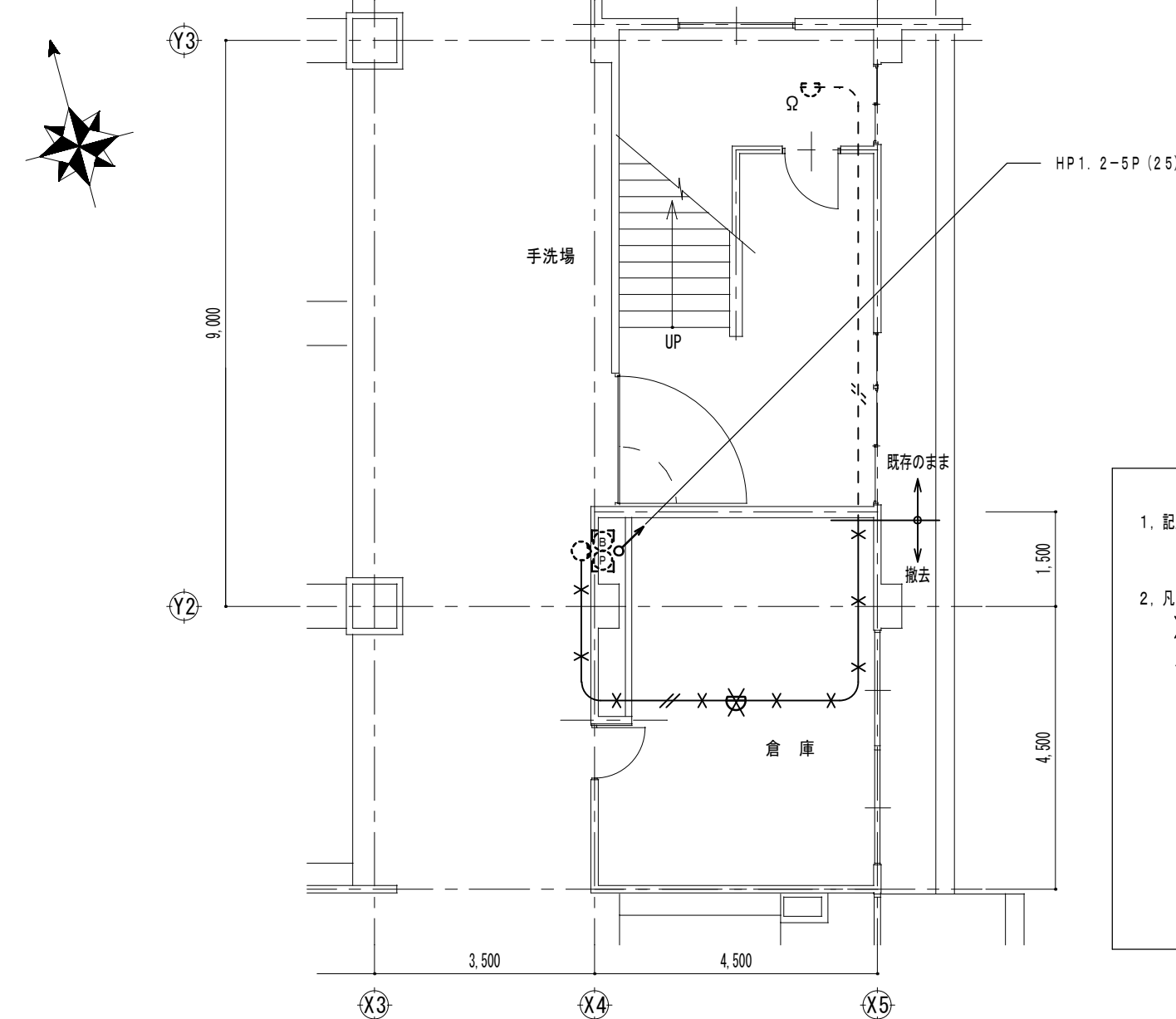
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 TIVF0.65-4C 天井こごし
 TIVF0.65-4C (MMA)

1. 凡例
 点線は既存のままを示す
 MMA : メタルモール A型
 MC(A) : メタルモールコーナーボックス A型
 MJ(A) : メタルモールジャンクションボックス A型

1階 平面図 1/100 (弱電設備)

(改修前) 1階平面図 自動火災報知設備



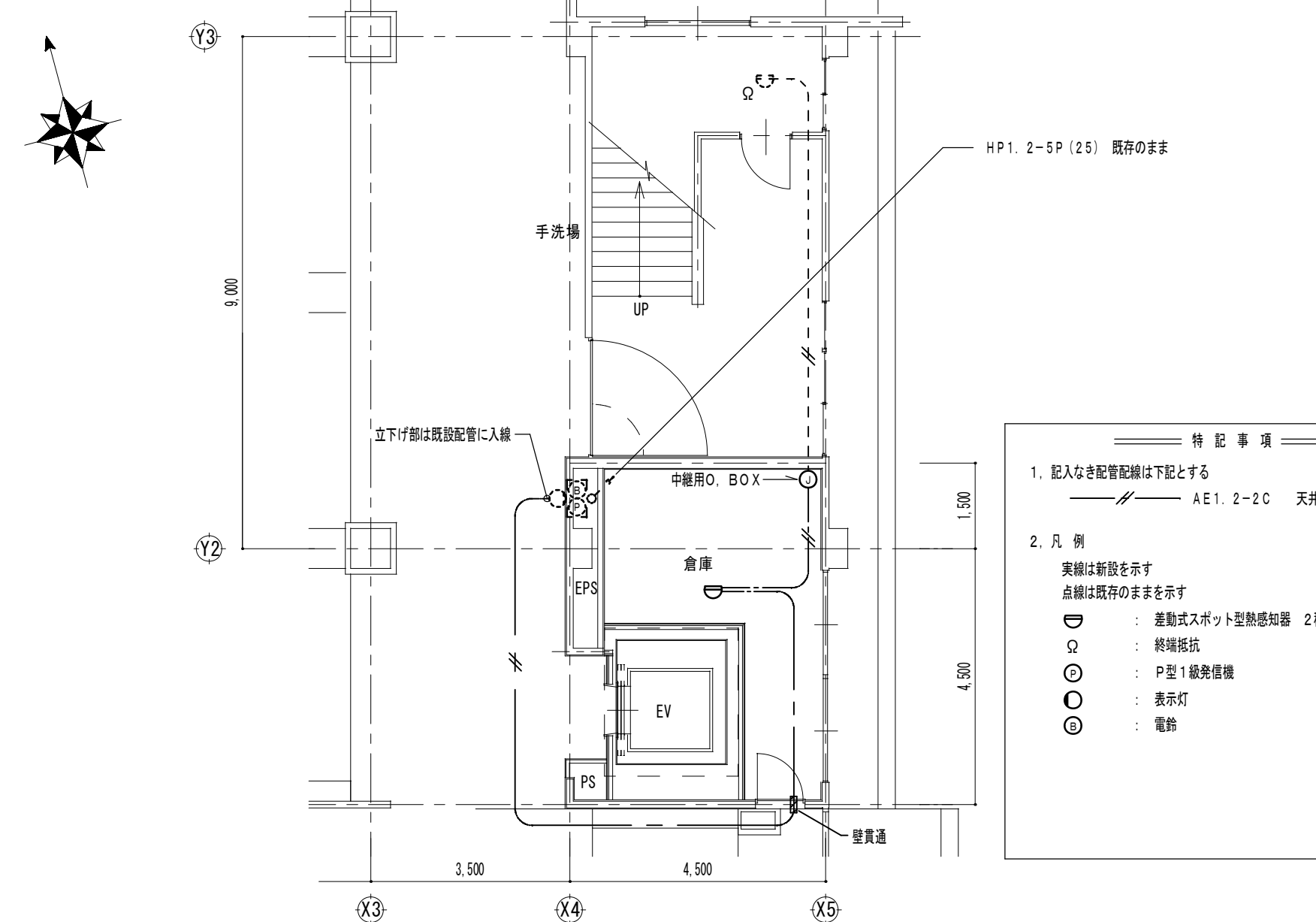
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 1.2x2 (19) 天井隠蔽

2. 凡例
 X印は撤去を示す。配管配線の場合は、配管配線共撤去とする
 点線は既存のままを示す
 ① : 差動式スポット型熱感知器 2種
 Ω : 終端抵抗
 P : P型1級発信機
 ○ : 表示灯
 ⊕ : 電鈴

1階 平面図 1/100 (自動火災報知設備)

(改修後) 1階平面図 自動火災報知設備

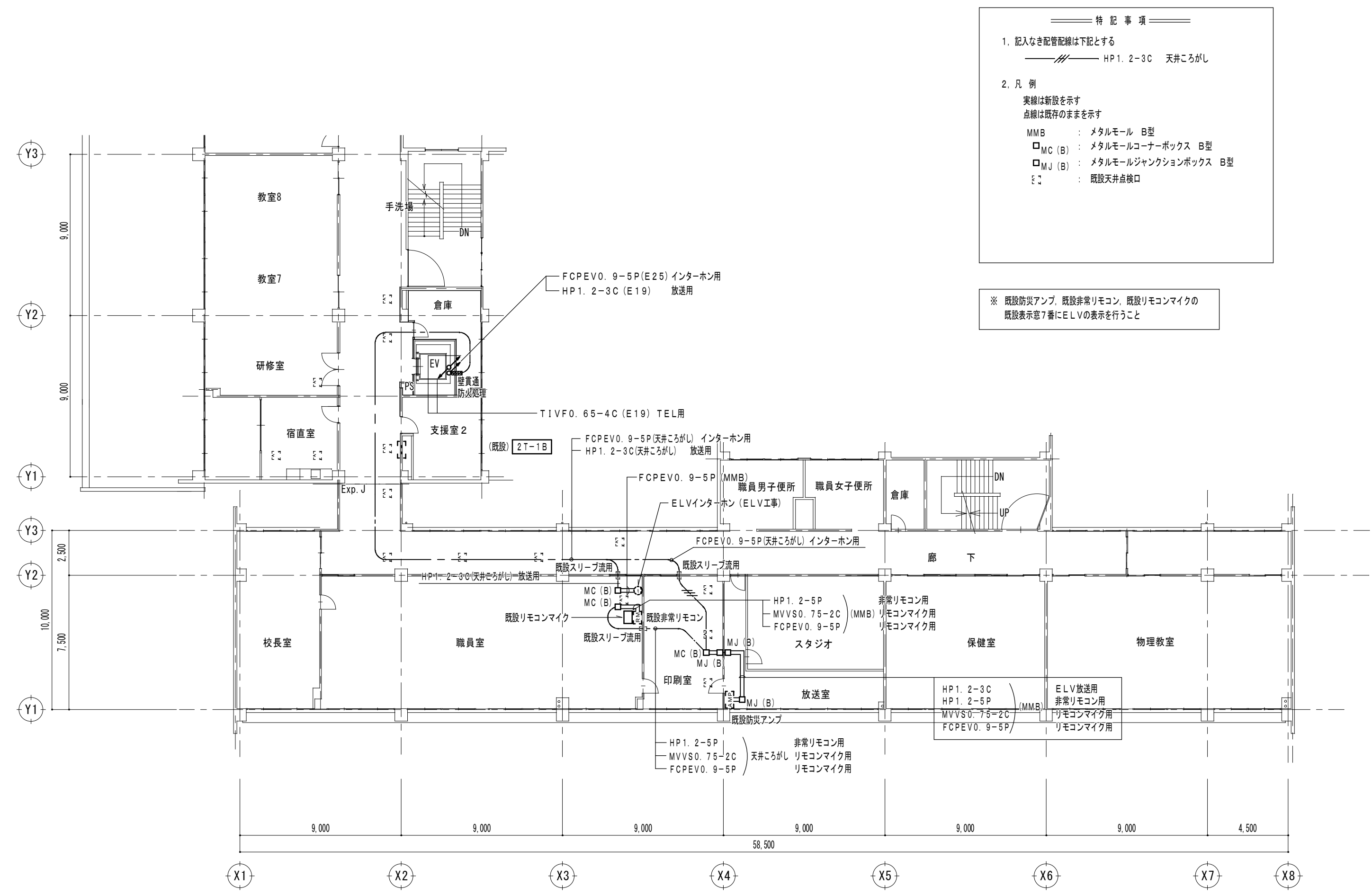
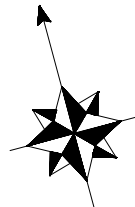


特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 AE1.2-2C 天井こごし

2. 凡例
 実線は新設を示す
 点線は既存のままを示す
 ① : 差動式スポット型熱感知器 2種
 Ω : 終端抵抗
 P : P型1級発信機
 ○ : 表示灯
 ⊕ : 電鈴

1階 平面図 1/100 (自動火災報知設備)



特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 HP1. 2-3C 天井ごらし

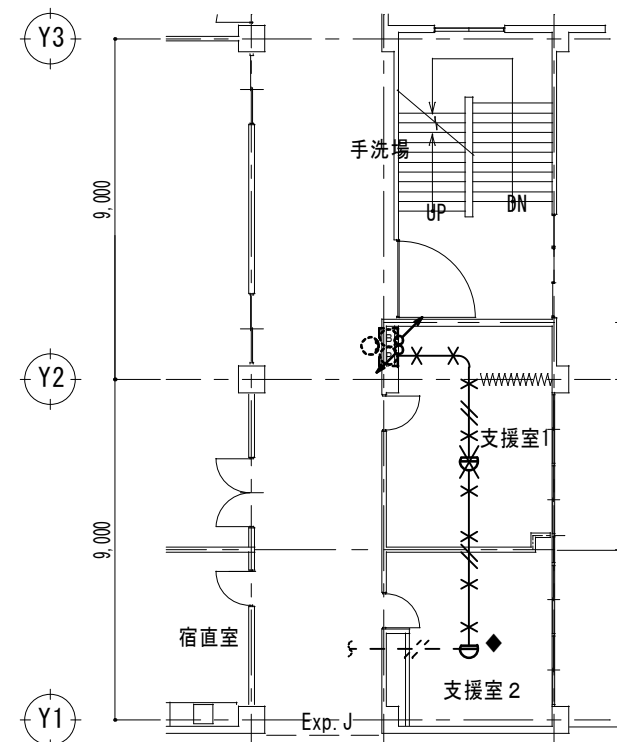
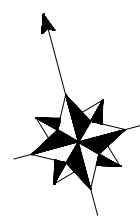
2. 凡例
 実線は新設を示す
 点線は既存のままを示す
 MMB : メタルモール B型
 MC(B) : メタルモールコーナーボックス B型
 MJ(B) : メタルモールジャンクションボックス B型
 ㊦ : 既設天井点検口

※ 既設防災アンプ、既設非常リモコン、既設リモコンマイクの既設表示窓7番にE.L.V.の表示を行うこと

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 弱電設備 2階平面図 (改修後)	N.O. E-11 ** 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200		
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

(改修前) 2階平面図

(改修後) 2階平面図



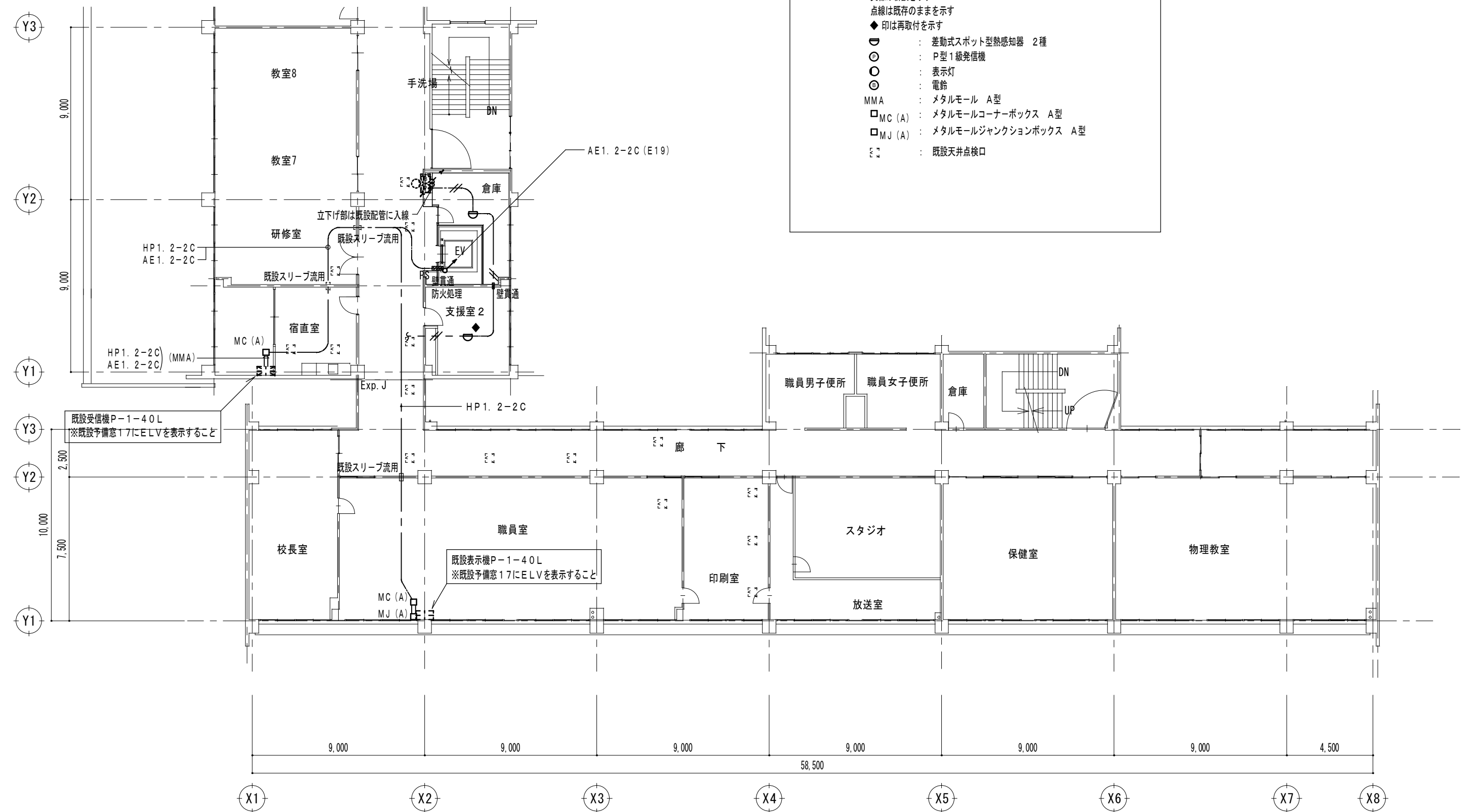
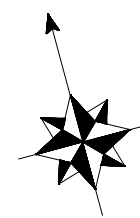
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 1. 2 x 2 (19) 天井隠蔽

2. 凡例

X印は撤去を示す。配管配線の場合は、配管配線共撤去とする
 点線は既存のままを示す
 ◆印は一時取外しを示す

- : 差動式スポット型熱感知器 2種
- : P型1級発信機
- : 表示灯
- : 電鈴



特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 AE1. 2-2C 天井こがし

2. 凡例

実線は新設を示す
 点線は既存のままを示す
 ◆印は再取付を示す

- : 差動式スポット型熱感知器 2種
- : P型1級発信機
- : 表示灯
- : 電鈴
- MMA : メタルモール A型
- MC (A) : メタルモールコーナーボックス A型
- MJ (A) : メタルモールジャンクションボックス A型
- ⊞ : 既設天井点検口

特記

月 日

U 建築設計

設計番号

年 月 日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N.O.

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

設計

1/200

自動火災報知設備 2階平面図

E-12

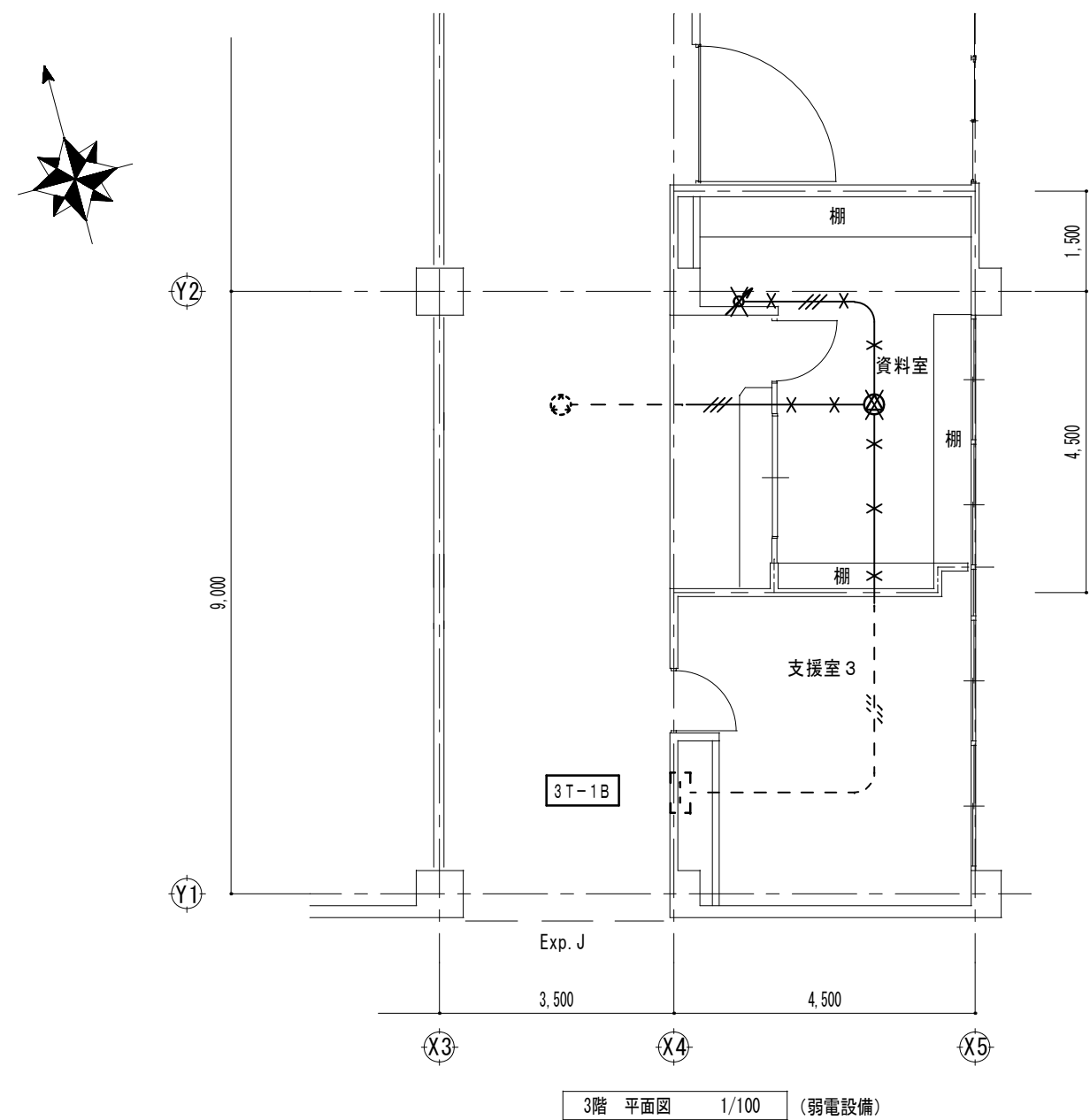
登録番号(1)第2118号 内田 貴之

(改修前後)

**

原図: A2

(改修前) 3階平面図



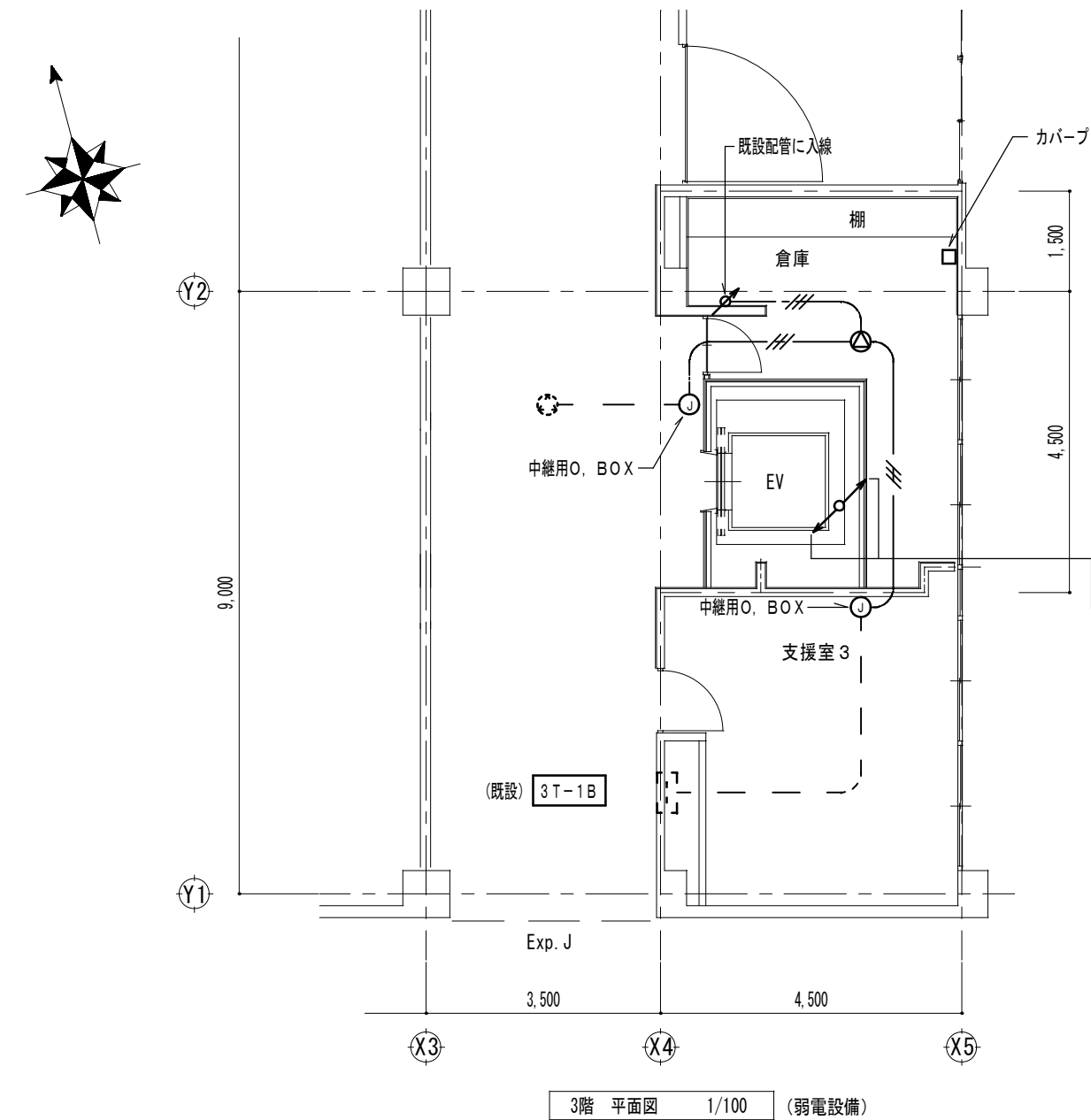
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 1. 2 x 3 (19) 天井隠蔽

2. 凡例
 X印は撤去を示す。配管配線の場合は、配管配線共撤去を示す
 点線は既存のままを示す
 ⊕ : 天井埋込スピーカ L級
 ⊙ : アンテナ

3階 平面図 1/100 (弱電設備)

(改修後) 3階平面図



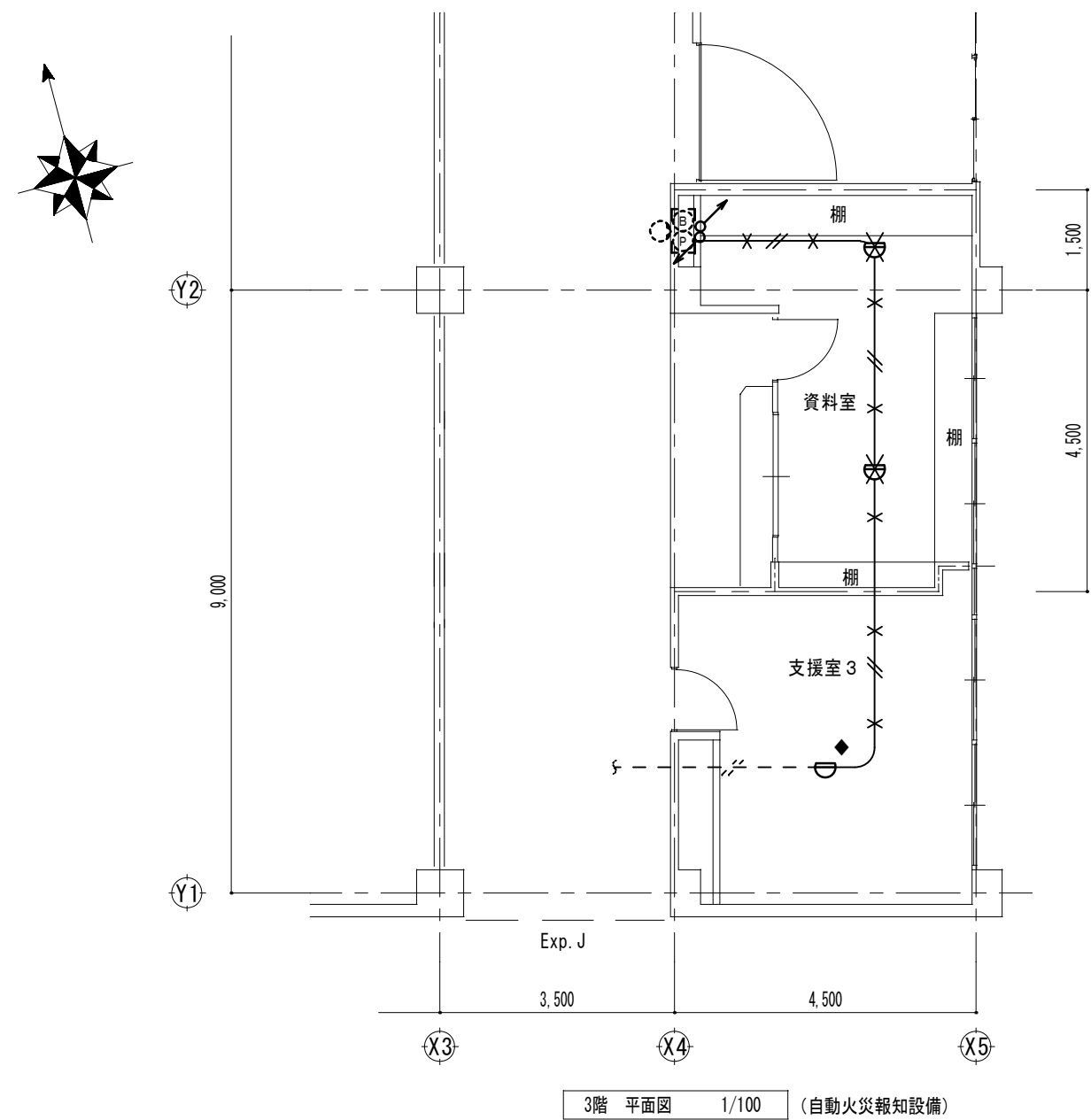
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 HP1. 2-3C (19) 天井ころし

2. 凡例
 実線は新設を示す
 点線は既存のままを示す
 ⊕ : 天井埋込スピーカ L級
 ⊙ : アンテナ

3階 平面図 1/100 (弱電設備)

(改修前) 3階平面図



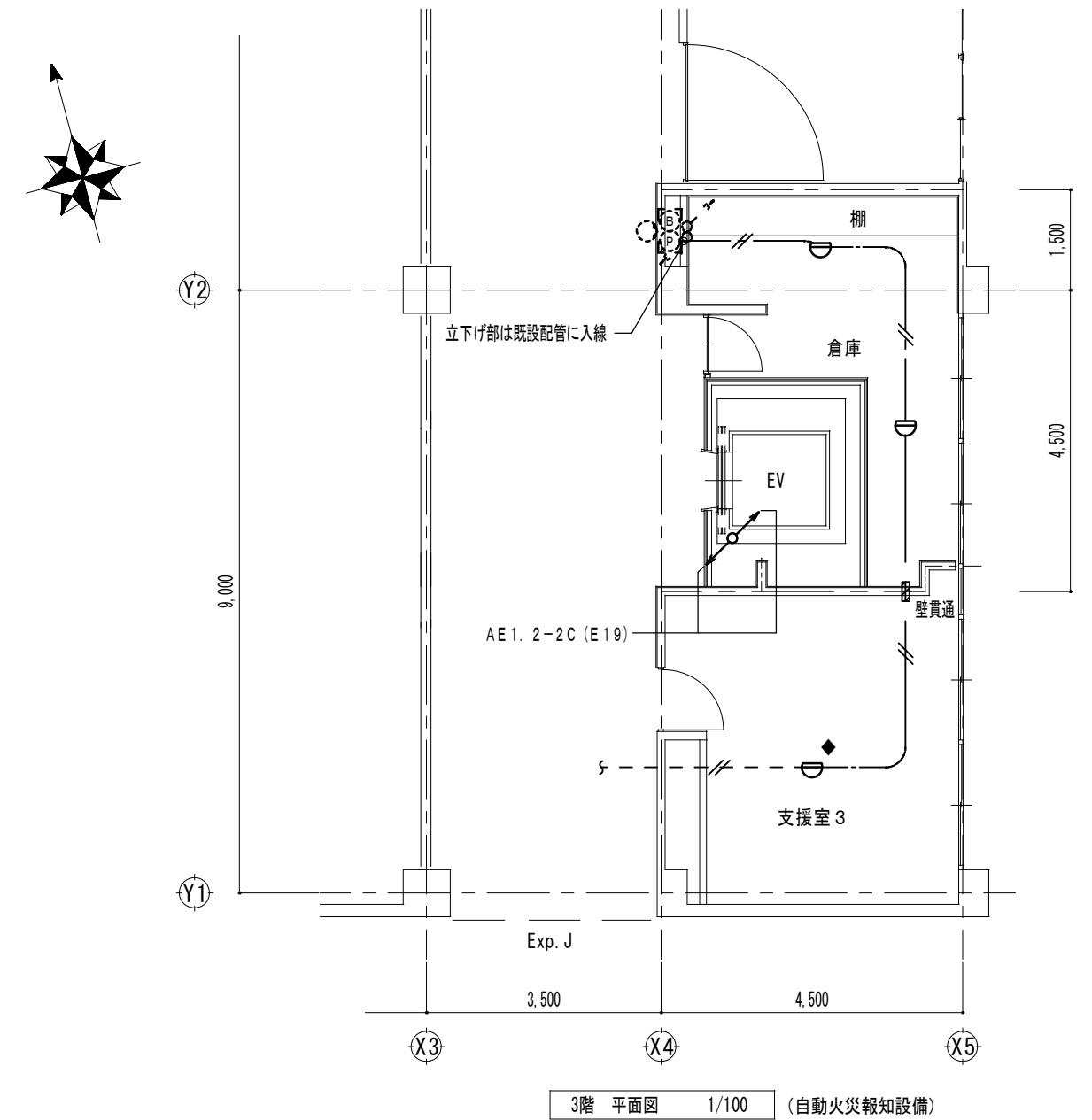
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 1. 2 x 2 (19) 天井隠蔽

2. 凡例
 X印は撤去を示す。配管配線の場合は、配管配線共撤去を示す
 点線は既存のままを示す
 ◆印は一時取外しを示す
 ⊕ : 差動式スポット型熱感知器 2種
 ⊕ : P型1級発信機
 ⊙ : 表示灯
 ⊕ : 電鈴

3階 平面図 1/100 (自動火災報知設備)

(改修後) 3階平面図



特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
 AE1. 2-2C (19) 天井ころし

2. 凡例
 実線は新設を示す
 点線は既存のままを示す
 ◆印は再取付を示す
 ⊕ : 差動式スポット型熱感知器 2種
 ⊕ : P型1級発信機
 ⊙ : 表示灯
 ⊕ : 電鈴

3階 平面図 1/100 (自動火災報知設備)

特記

月 日

U 建築設計

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計番号

年月日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

一級建築士事務所

一級建築士第248160号

設計

1/100

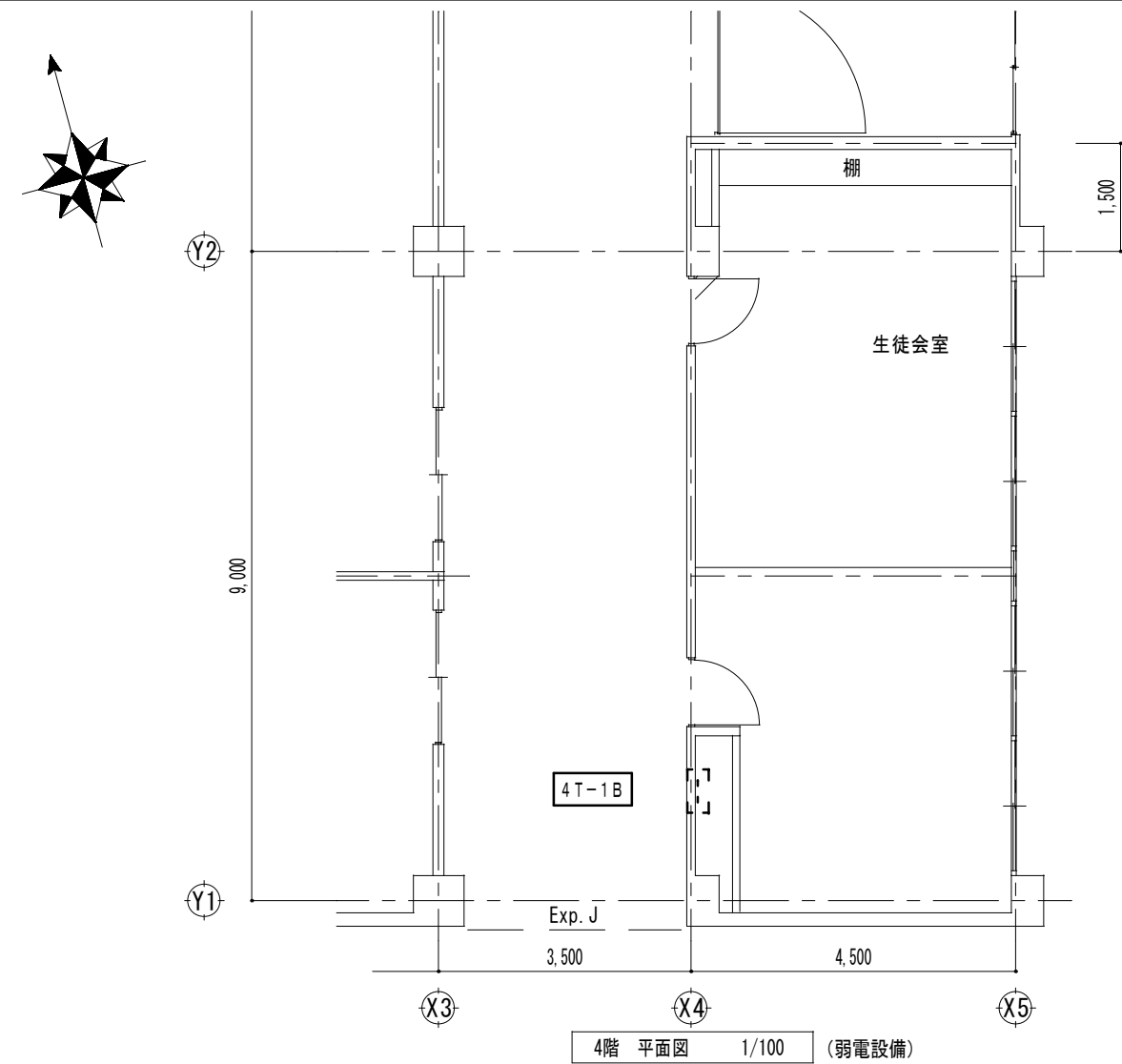
弱電・自動火災報知設備 3階平面図 (改修前後)

E-13

**

原図: A2

(改修前) 4階平面図

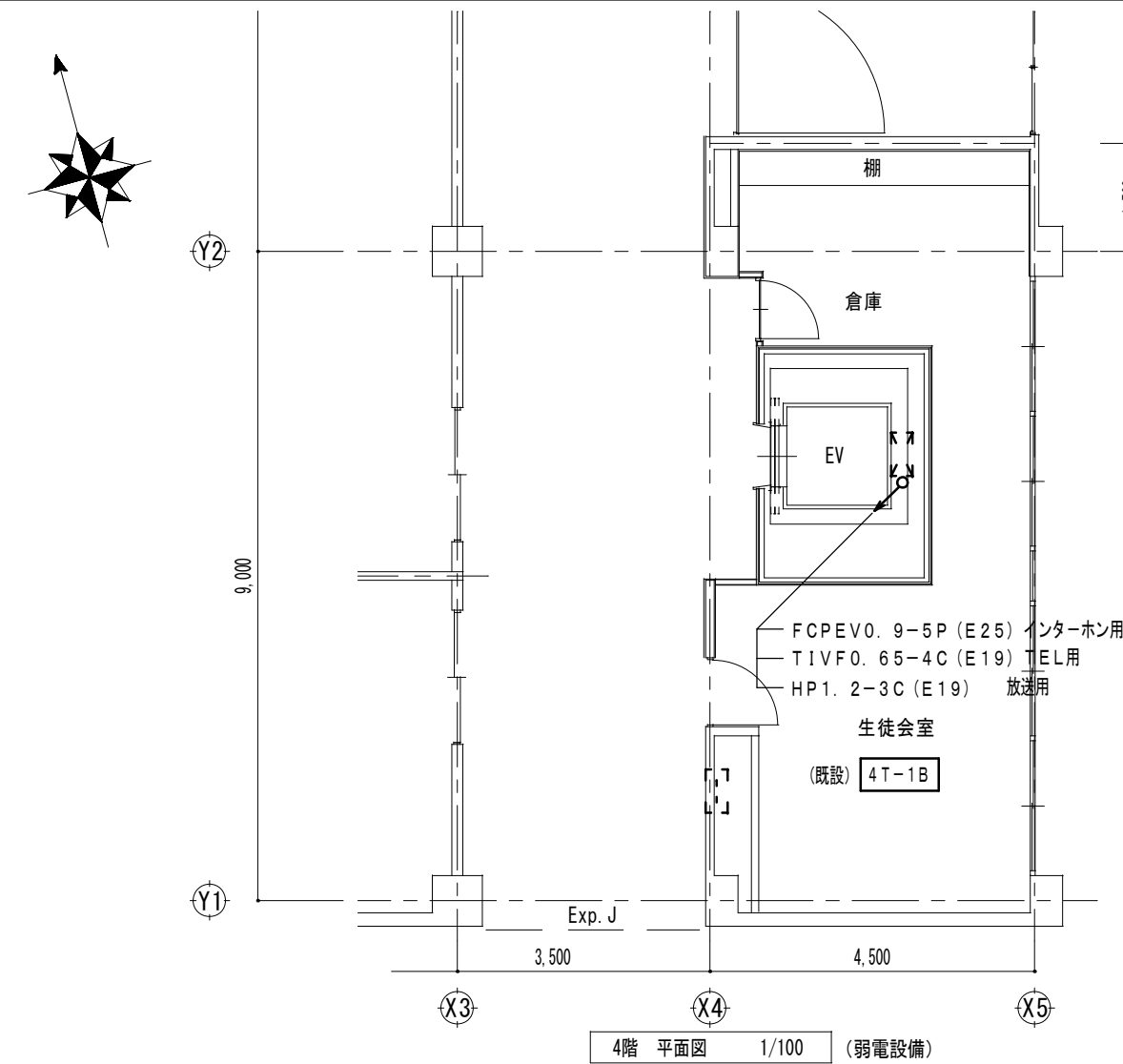


4階 平面図 1/100 (弱電設備)

特記事項

1. 凡例
点線は既存のままを示す

(改修後) 4階平面図



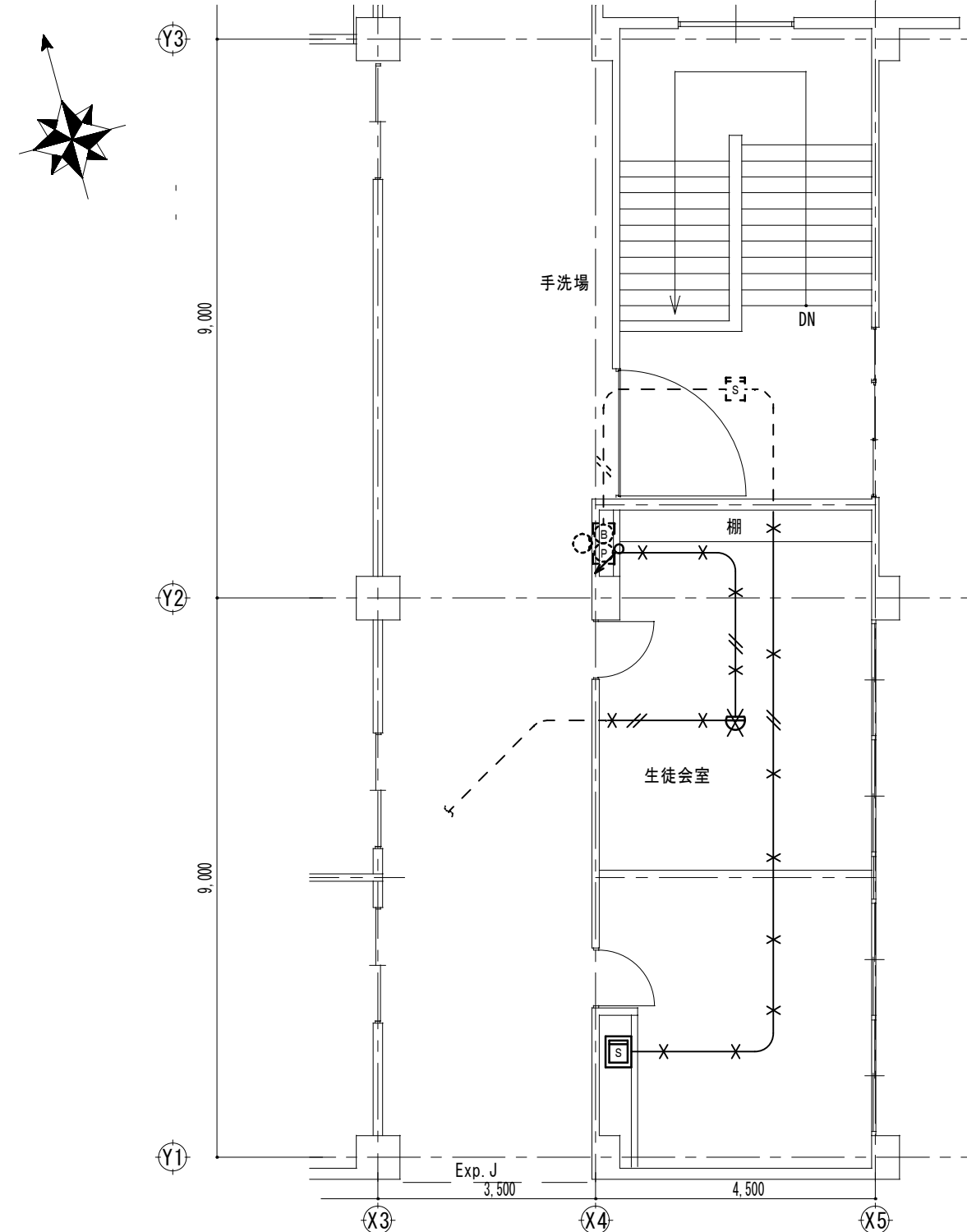
4階 平面図 1/100 (弱電設備)

特記事項

1. 凡例
実線は新設を示す
点線は既存のままを示す

MMA : メタルモール B型
MC (A) : メタルモールコーナーボックス A型
MJ (A) : メタルモールジャンクションボックス A型

(改修前) 4階平面図



4階 平面図 1/100 (自動火災報知設備)

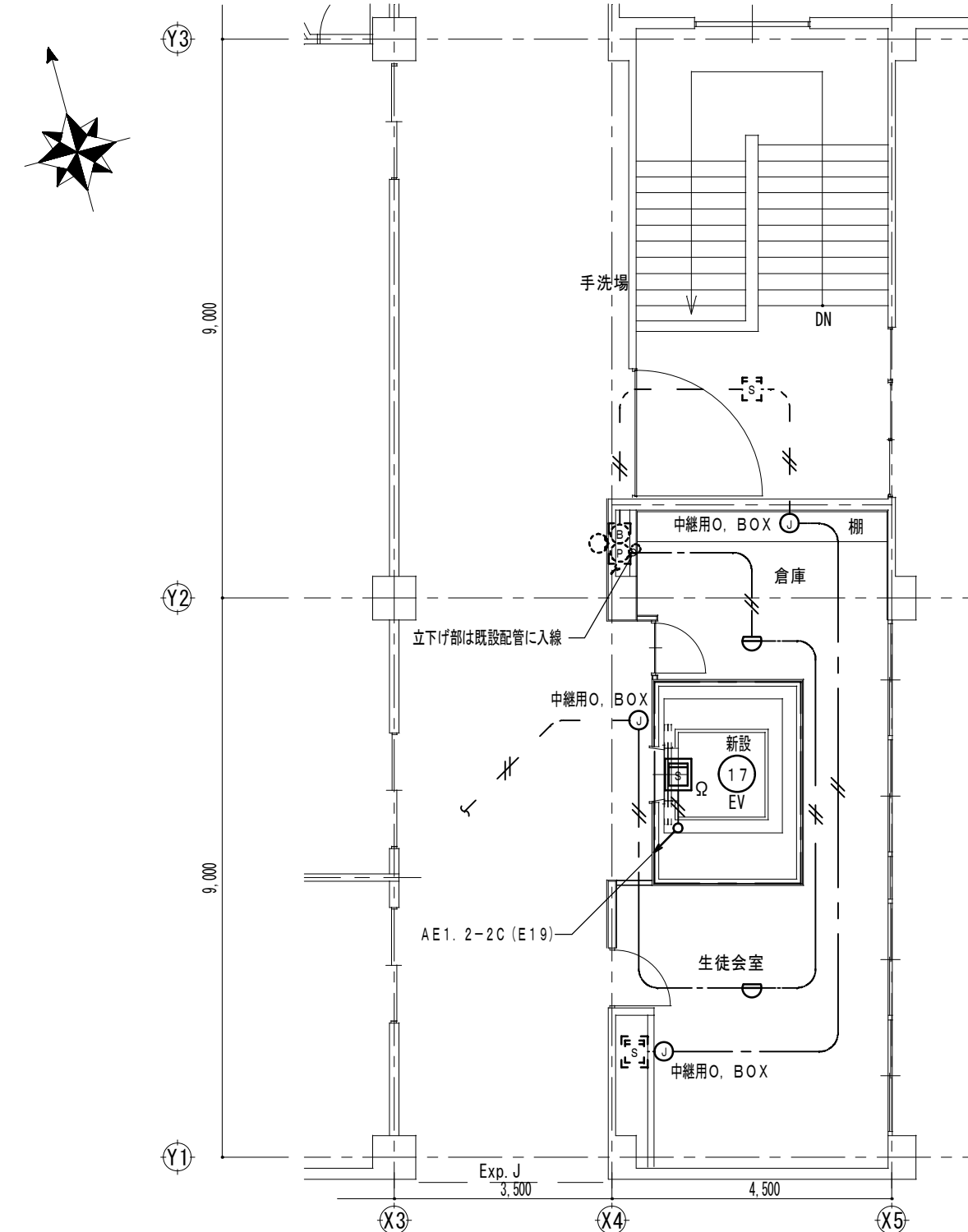
特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
1. 2x2 (19) 天井隠蔽

2. 凡例
X印は撤去を示す。配管配線の場合は、配管配線共撤去を示す
点線は既存のままを示す
◆印は一時取外しを示す

☺ : 差動式スポット型熱感知器 2種
☺ : 光電式スポット型煙感知器 2種
☺ : 光電式スポット型煙感知器 2種 点検BOX共
⊙ : P型1級発信機
⊙ : 表示灯
⊙ : 電鈴

(改修後) 4階平面図



4階 平面図 1/100 (自動火災報知設備)

特記事項

1. 記入なき配管配線は下記とする
AE1. 2-2C 天井こぼし

2. 凡例
実線は新設を示す
点線は既存のままを示す
◆印は再取付を示す

☺ : 差動式スポット型熱感知器 2種
☺ : 光電式スポット型煙感知器 2種
☺ : 光電式スポット型煙感知器 2種 点検BOX共
⊙ : P型1級発信機
⊙ : 表示灯
⊙ : 電鈴

特記

月 日

U 建築設計

三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897

設計番号

年月日

縮尺

津市立橋北中学校長寿命化改修工事

N0.

一級建築士事務所 一級建築士第248160号

設計

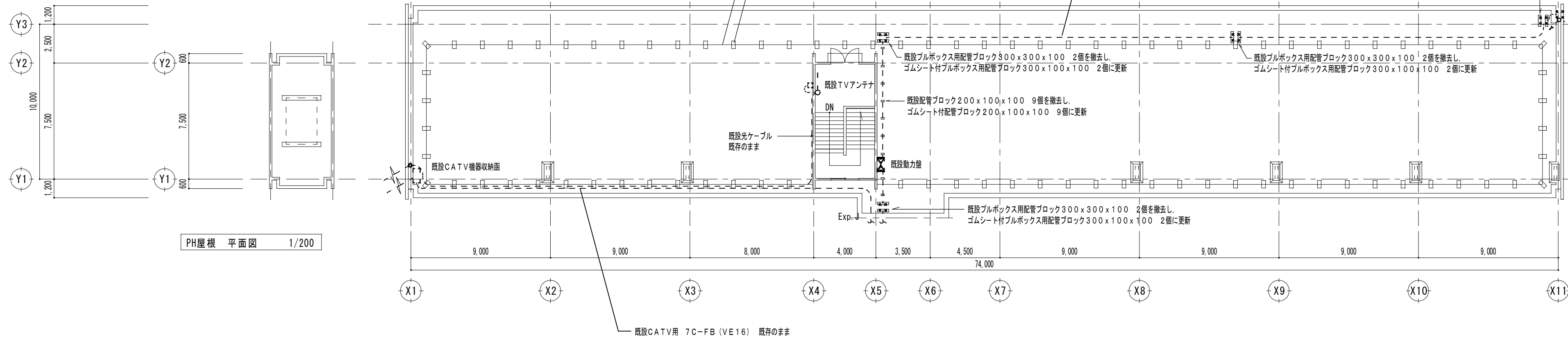
1/100

弱電・自動火災報知設備 4階平面図 (改修前後)

E-14

登録番号(1)第2118号 内田 貴之

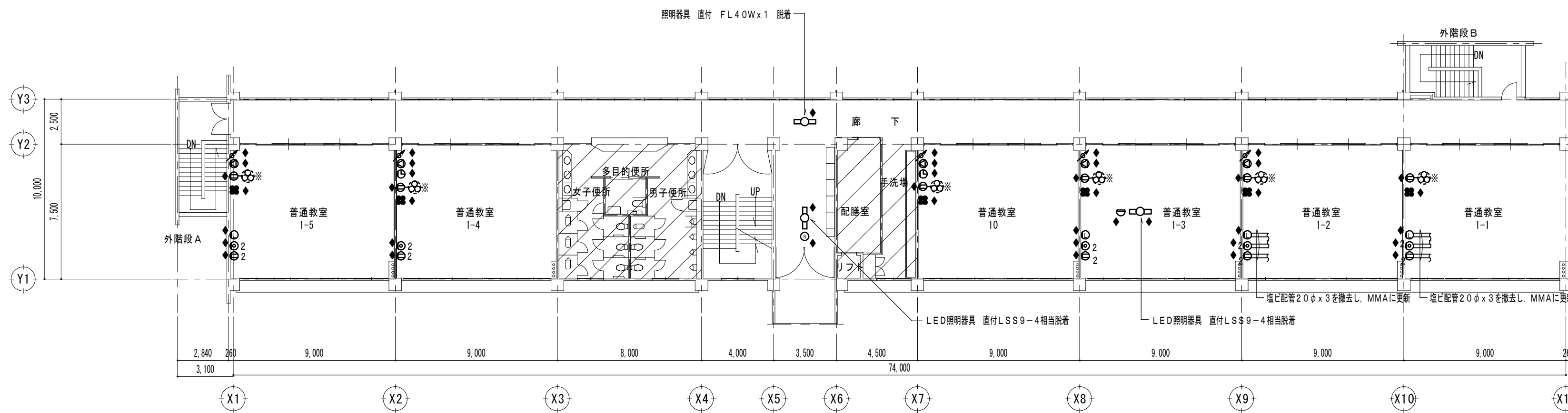
** 原図: A2



PH屋根 平面図 1/200

屋上 平面図 1/200

※点線は既存のままを示す



4階 平面図 1/200

- 特記事項
- ◆の器具は脱着とする
 - ※WF1.6-3C(VAT-A)撤去し、VF1.6-3C(MMA)に更新
 - 1. 凡例
 - ⊙ : 埋込コンセント 2P15A x 1
 - ⊙2 : 埋込コンセント 2P15A x 2
 - ⊙ : 壁掛スピーカー
 - ⊙ : アッチネーター
 - ⊙ : 直列ユニット
 - ⊙ : VGA端子受口
 - ⊙ : 電気時計
 - ⊙ : 壁掛扇風機 (脱着は機械設備工事)
 - ⊙ : 差動式スポット型煙感知器 2種
 - ⊙ : 光電式スポット型煙感知器 3種
 - : 片切スイッチ 1P15A x 4

改修範囲外を示す

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事	N.O.		
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897				1/200			電気設備 普通教室棟 4階, 屋上平面図	E-16
			一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計		**				
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之				原因: A2			

※ 横走り管の吊り間隔

Table with 2 columns: Pipe Type (鋼管, ビニル管, 耐火二層管, 鋼管), Diameter/Condition (100A以下, 125A以上, 80A以下, 100A以上), and Spacing (2m以下, 3m以下, 1m以下, 2m以下)

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

Table with 4 columns: Support Spacing (支持間隔), Steel Pipe (鋼管), Vinyl Pipe (ビニル管), Fire-resistant Double Pipe (耐火二層管), Steel Pipe (鋼管), and Spacing (0m以下, 8m以下, 12m以下, 50A~100 A, 125A~, 25A~40A, 50A~100A, 125A~)

※ 冷媒用鋼管の横走り管の支持間隔

基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は液管の外径を基準とする。
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下
形鋼振れ止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

- 矩形ダクト: 垂鉛鉄板 JIS G 3302 (SGCC、SGCCA) 鍍金付着Z18以上
ステンレス鋼板 JIS G4305
アングルフランジ工法
共板フランジ工法
スライドオンフランジ工法
山形鋼 JIS G 3101
SUS鋼材 JIS G 4317
スパイラルダクト
下水道用リサイクル三層積層塩化ビニル管 (多湿箇所) AS-62 (RS-VU)

(3) 保温塗装工事

- 1) 材料: 部分的に材料を変更する場合は、図面に明記すること。
グラスウール保温材 保温板、保温筒、保温帯 JIS A 9504 40K (屋内一般等)
給水管 排水管 給湯管 消火管 (露出部)
蒸気管 (往) 蒸気管 (還) 冷水・冷温水管 冷媒管 (屋外等)
給湯管 (70℃以上) 温水管 蒸気管 冷水・冷温水管
冷媒管

- ロックウール保温材 保温板 JIS A 9504 1号又は2号 (防火区画貫通部等)
保温帯、ブランケット JIS A 9504 1号
給水管 排水管 給湯管 温水管
蒸気管 冷水・冷温水管 冷媒管 消火管

- ポリスチレンフォーム保温材 保温板、保温筒 JIS A 9511 3号 (屋内一般等)
給水管 排水管 冷水・冷温水管 冷水管 (2~4℃)
ブライン管 プライン管
給水管 排水管 給湯管 冷水・冷温水管
ブライン管 消火管

- 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)
給水管 排水管 通気管 ドレン管
ガス管 消火管 油管 冷却水管
ダクト (亜鉛鉄板製) ダクト (鋼板製)

- さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種 (露出)
蒸気管 (往) ダクト (鋼板製)

- アルミニウムペイント塗り塗料 JIS K 5492 (アルミニウムペイント)
下塗りは錆止めペイント
蒸気管 (還)

2) 保温厚

Table with 2 columns: Material (グラスウール、ロックウール) and Thickness (20, 25, 30, 40, 50 mm) for various pipe types.

・ポリスチレンフォーム

Table with 2 columns: Material (ポリスチレンフォーム) and Thickness (20, 25, 30, 40, 50, 65 mm) for various pipe types.

・機器ダクト保温厚

Table with 2 columns: Equipment Duct Insulation Thickness (25mm, 50mm, 75mm) and Description of equipment types.

3) 種別

Table with 5 columns: Location (屋内露出, 機械室・書庫・倉庫, 天井内・P.S内, 暗渠内 (ピット内), 屋外露出), Insulation (保温筒), Material (鉄線, アルミ), and Notes (1) Drainage pipes, (2) Scaffolding, (3) Fire pipes.

空調設備配管の保温仕様 (R、G保温材の仕様のみ)

Table with 5 columns: Location (屋内露出, 機械室・書庫・倉庫, 天井内・P.S内, 暗渠内 (ピット内), 屋外露出), Insulation (保温筒), Material (鉄線, アルミ), and Notes (1) Cold media pipes, (2) Polyethylene shape on SUS plate.

機器保温仕様

Table with 5 columns: Equipment (冷水・冷温水タンク, 鋼板製タンク, 冷水・冷温水ヘッダ, 温水・膨張・還水貯留タンク, 温水・蒸気ヘッダ, 熱交換器), Insulation (鉄), Material (ポリエチレンフィルム, 鉄線), and Notes (1) Sealed expansion tank and plate heat exchanger.

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

Table with 5 columns: Location (長方形ダクト, スパイラルダクト, サブライチャンパー, 消音チャンパー・エルボ, 排煙ダクト長方形, 排煙ダクト円形, 煙道), Insulation (一般・廊下, アルミ), Material (紙, 鉄線), and Notes (1) Exhaust ducts, (2) Chimney, (3) Galvanized mesh.

- ※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目呼称16縦径0.55の金網又はRWA S02による防錆処理を施した平ラS0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、縦径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

Table with 3 columns: Material (白管, 黒管), Status (露出), and Coating (合成樹脂調合ペイント) with application details.

- ※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

- ダクト保温施工範囲
1. SA: 保温あり, 保温なし, 図面による, その他
2. EA: 保温あり, 保温なし, 図面による, その他
3. RA: 保温あり, 保温なし, 図面による, その他
4. OA: 保温あり, 保温なし, 図面による, その他
チャンパー内貼施工: 内貼あり (mm), 内貼なし, 図面による, その他

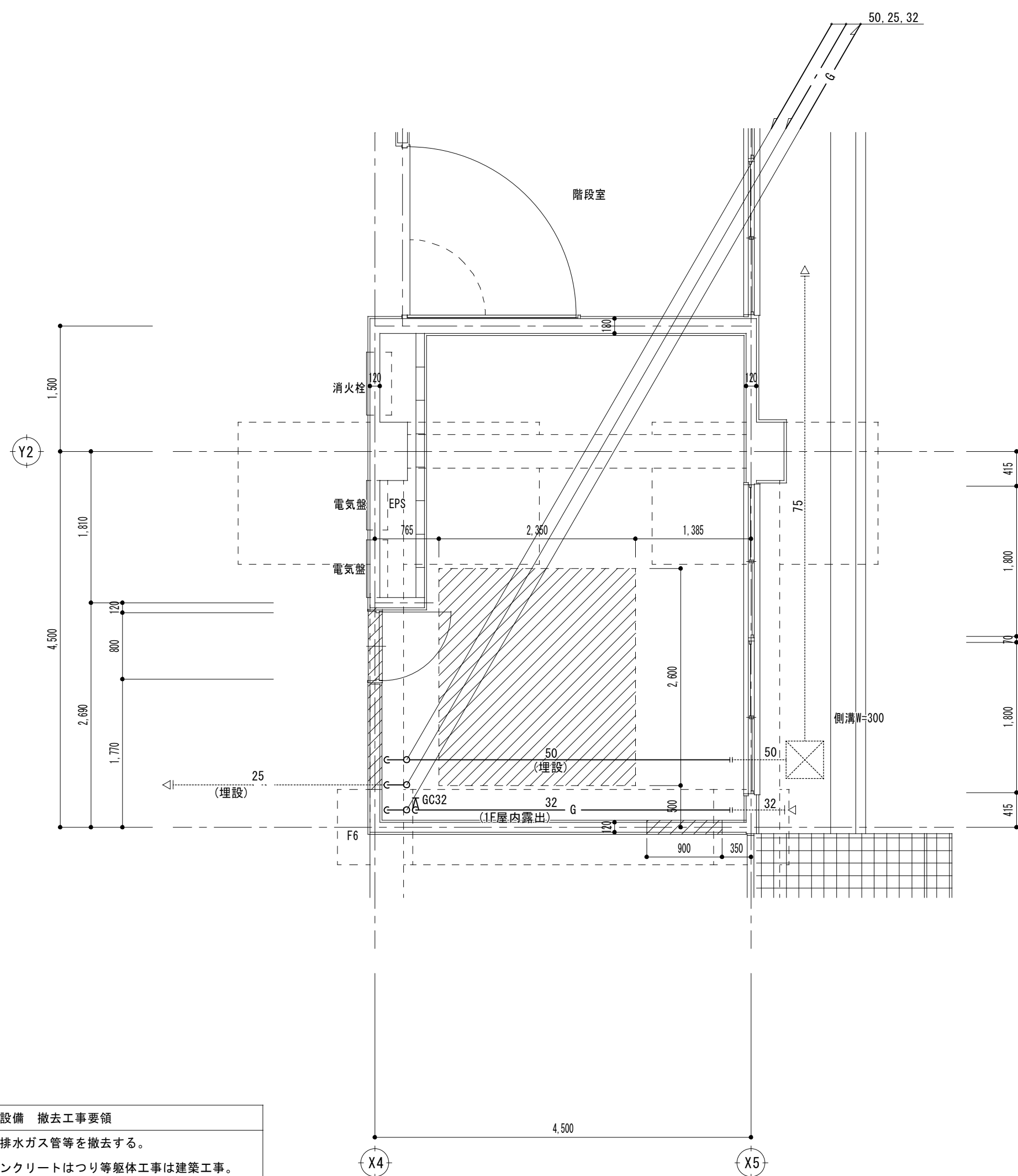
(4) スリーブ工事

- 1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (=2サイズUP) なるものとする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管 (VU) とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. その他のスリーブは、特記なき限り、紙ボイドとする。紙ボイド使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機 (エアハン含む) の電動機は、すべて全閉防まつ形とする。
2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
3) 系統が分かるように、必要箇所 (機械室、P.S内等) に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。手書きもしくはカッティングシートとする。
4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。
7) 機器・配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、施工監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
8) 雨がかり部に取り付けるガラルリのチャンパーには、水抜きを設けること。
9) 屋外埋設管 (給水、消火、ガス) には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
14) 屋外露出及び多湿箇所 (トレンチピット等) の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
15) 屋外設置のマニュアル類には用途名を入れること。
16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温見切り箇所には菊座の取り付けを行うこと。
17) 送風機用ベルトカバーには裏カバー及び点検口を設けること。

改修前



給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・既設給排水ガス管等を撤去する。
- ・土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分
 現状維持部分
 配管撤去部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

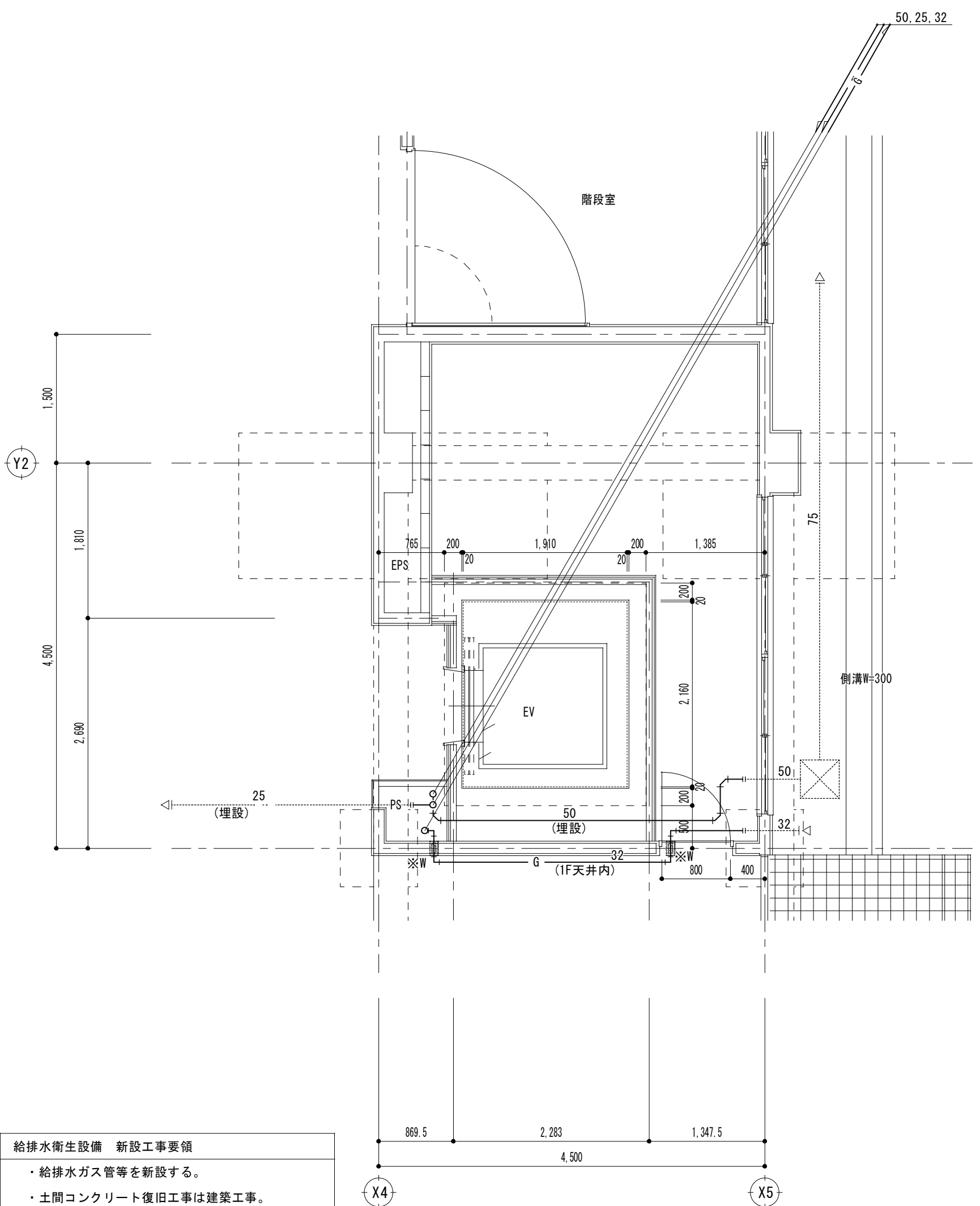
・図中 ※C は配管撤去後、既設貫通口穴埋め、モルタル補修を示す。

1階 平面詳細図 1/50

凡例

図示記号	名称
———	給水管
———	排水管
----	通気管
—G—	ガス管

改修後



給排水衛生設備 新設工事要領

- ・給排水ガス管等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分
 配管新設部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

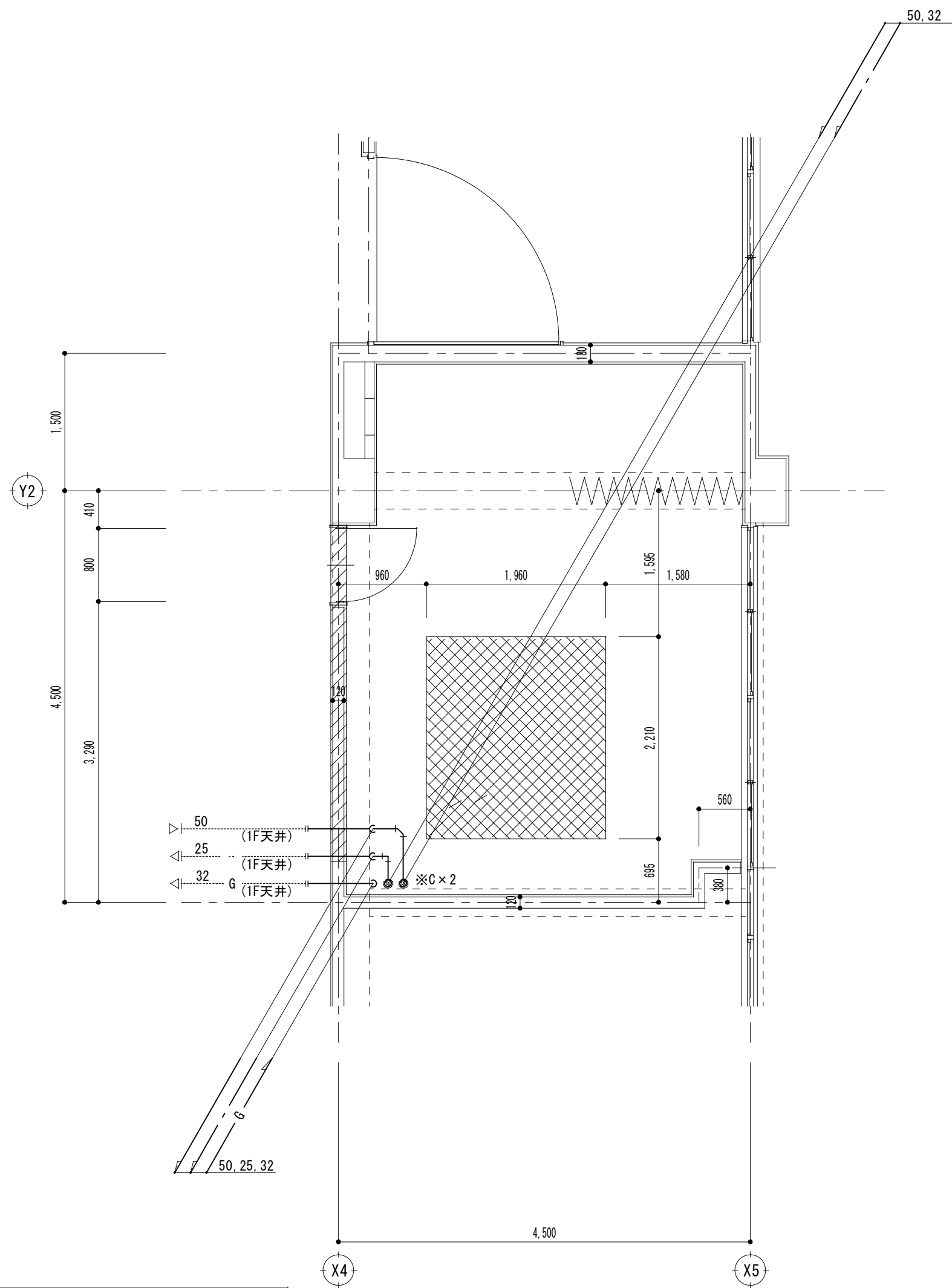
・図中 ※S は床コア貫通口、補修箇所を示す。
 ・図中 ※W は壁コア貫通口、補修箇所を示す。

1階 平面詳細図 1/50

凡例

図示記号	名称
———	給水管
———	排水管
----	通気管
—G—	ガス管

改修前



給排水衛生設備 撤去工事要領

- ・既設給排水ガス管等を撤去する。
- ・土間コンクリートはつり等躯体工事は建築工事。
- ・壁内不要埋込配管は管端部処理の上放置とする。

配管切り離し部分
 現状維持部分
 配管撤去部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

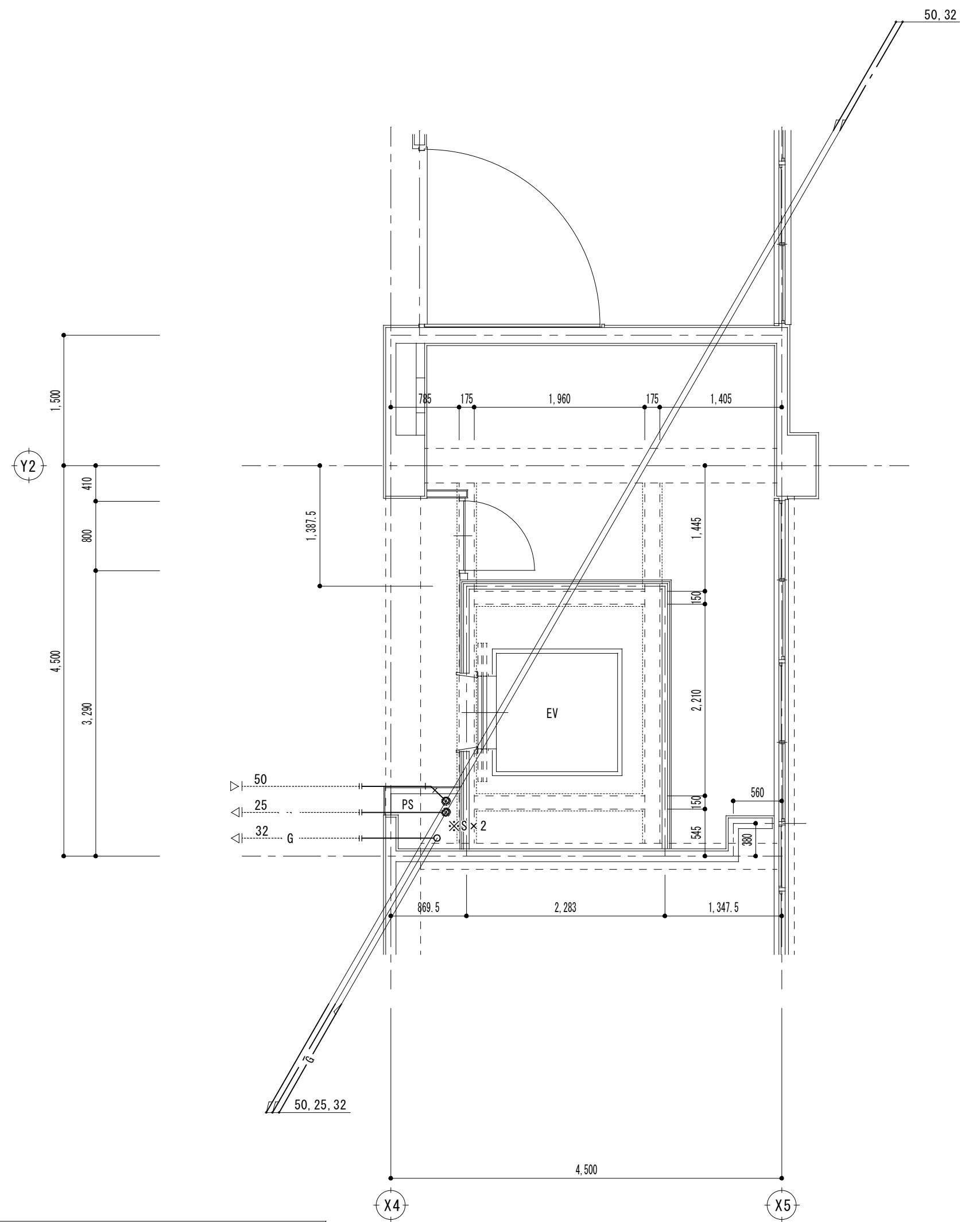
・図中 ※C は配管撤去後、既設貫通口穴埋め、モルタル補修を示す。

2階 平面詳細図 1/50

凡例

図示記号	名称
———	給水管
———	排水管
- - - - -	通気管
——g——	ガス管

改修後



給排水衛生設備 新設工事要領

- ・給排水ガス管等を新設する。
- ・土間コンクリート復旧工事は建築工事。
- ・既設壁貫通部は既設穴を原則利用する。

既設管接続部分
 配管新設部分
 既設配管部分

- ・既設不要配管口穴埋めは本工事とする。

・図中 ※S は床コア貫通口、補修箇所を示す。

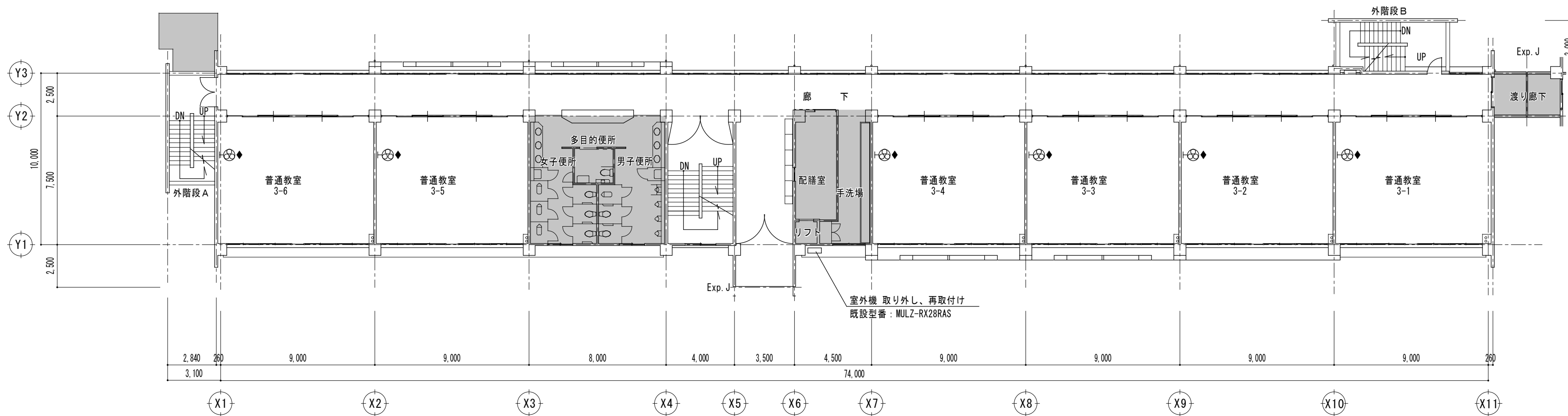
・図中 ※W は壁コア貫通口、補修箇所を示す。

2階 平面詳細図 1/50

凡例

図示記号	名称
———	給水管
———	排水管
- - - - -	通気管
——g——	ガス管

2階平面図 1/200

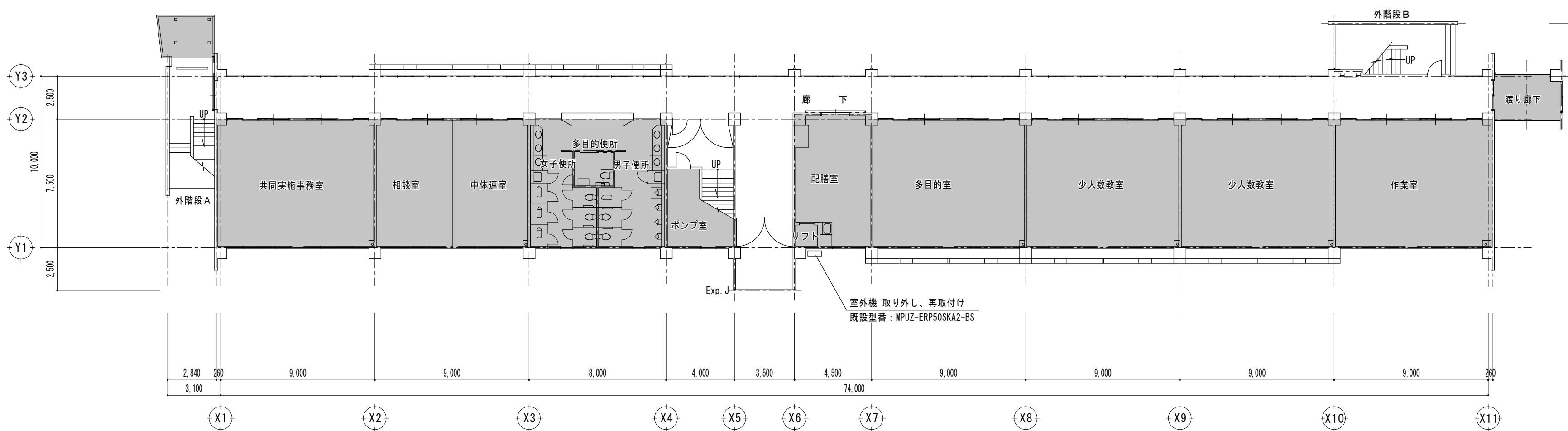


1. 凡例

- ⊕ : 壁掛扇風機
- ◆ : 器具の脱落を示す

改修範囲外を示す

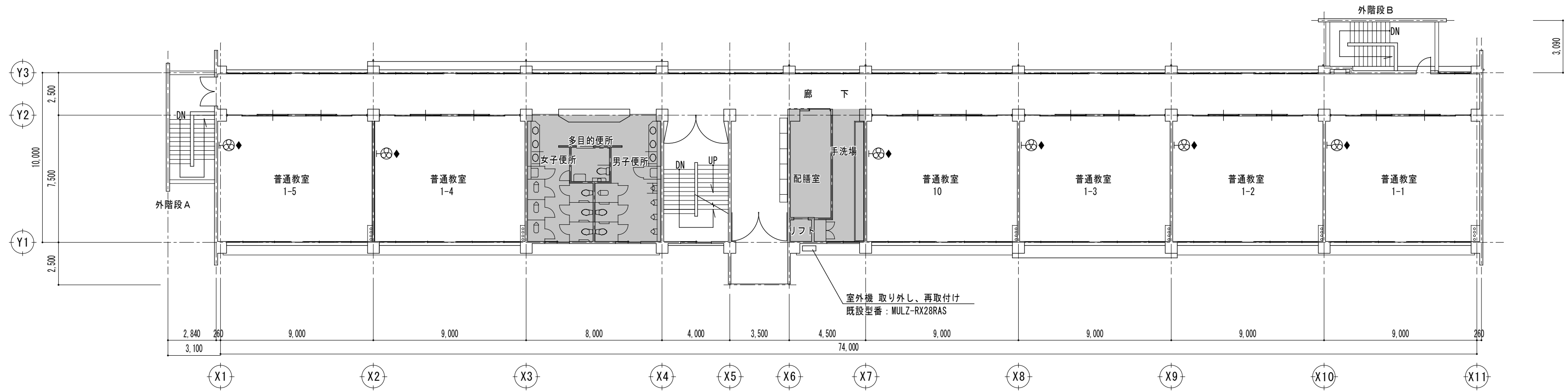
1階平面図 1/200



改修範囲外を示す

特記	月	日	U 建築設計		設計番号	年月日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 空調・換気設備 1,2階平面図 (改修前後)	N.O. M-06 ** 原図: A2
			三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号	設計	A2 1/200 A3 1/282.8		
			登録番号(1)第2118号	内田 貴之					

4階平面図 1/200

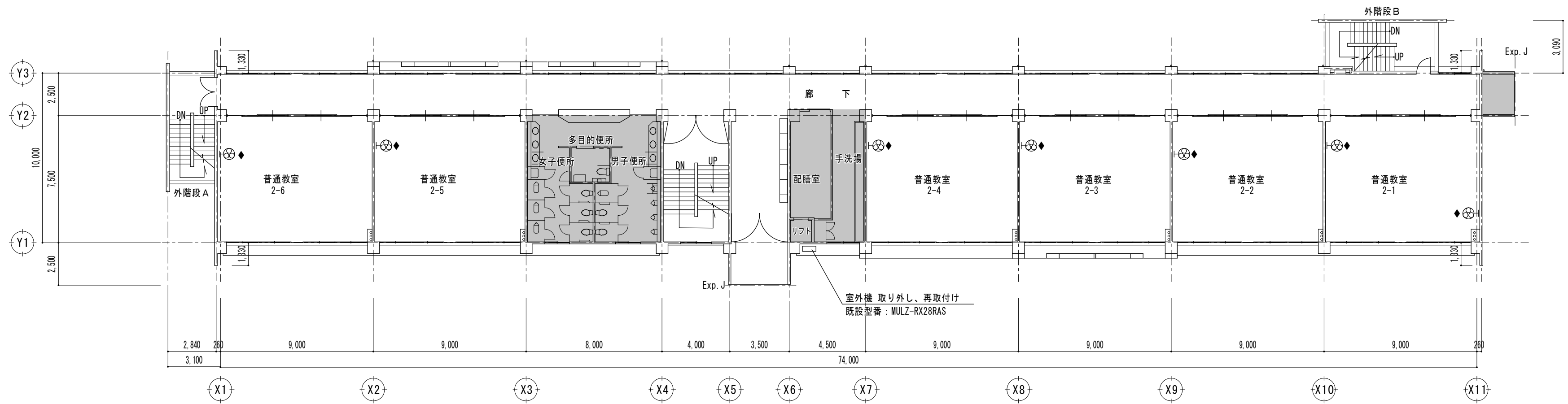


1. 凡例

+
+ : 壁掛扇風機
◆ : は器具の脱着を示す

改修範囲外を示す

3階平面図 1/200



1. 凡例

+
+ : 壁掛扇風機
◆ : は器具の脱着を示す

改修範囲外を示す

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 空調・換気設備 3,4階平面図 (改修前後)	N.O.
				設計		A2 1/200 A3 1/282.8		M-07 **
								原因: A2

エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	
	01号機	
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形式	P11-CO
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	750kg
	定員	11名
	定格速度	45m/min
	戸閉方式	2枚戸両引き（CO）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2100mm
かご室サイズ（内法開口）	1400mm	
かご室サイズ（内法奥行）	1350mm	
かご室内法高さ	2300mm	
出入口方式	一方向出入口	
正面側停止数	4停止（1-4階）	
動力用電源	AC3φ-210V-60Hz	
照明用電源	AC1φ-100V-60Hz	

エレベーター仕様要項			
分類	仕様項目		
	01号機		
その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14	
	公共建築工事標準仕様 適用年版	令和4年版	
	敷居間隔	10mm	
	車いす仕様	制御機能付	
	視覚障がい者対応仕様	あり	
	乗場視覚障がい者用注意名板（追加分）	3枚	
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）	
	停電時自動着床装置	あり	
	かご呼び取消機能	あり	
	乗場仕様	乗場三方枠	大枠末広幕板なし 130mm≒350mm ステンレスヘアライン（1-4階）
		乗場戸	鋼板塗装（メーカー標準色）（1-4階）
乗場敷居		アルミ製（1-4階）	
乗場インジケータ		一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-4階）	
乗場インジケータ形状		ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌コート（1-4階）	
乗場インジケータ表示灯		休止表示	
車いす専用乗場ボタンプレート		一般用乗場ボタン形状 ステンレスヘアライン（1-4階）	
車いす専用乗場ボタン		ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌コート（1-4階）	
乗場休止スイッチ		あり	
乗場休止スイッチ取付位置		乗場インジケータ	
かご室仕様		天井	スタンダード フラット（白色） 天井素材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板	
	側面壁	化粧鋼板	
	袖壁材質	ステンレスヘアライン	
	出入口上板	化粧鋼板	
	かご室戸	化粧鋼板	
	巾木	アルミ製	
	かご床	樹脂タイル2mm（メーカー標準タイル）	
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸両引き用	
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤	
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン	
その他仕様	かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌コート（1-4階）	
	インターホンボタン乱用防止カバー	あり	
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）	
	かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2カ国語表示（日本語、英語）	
	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン	
	車いす専用かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED（橙色）	
	車いす専用かごボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED） 抗ウイルス・抗菌コート（1-4階）	
	車いす専用インターホンボタン乱用防止カバー	あり	
	かご室換気	ファン	
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）	
	かご室鏡	ステンレス鏡面フルハイト（巾500）	
キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン（ピスなし）高さ：床面より350mm		
壁保護幕	磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）		
床保護マット	あり		
その他仕様	挟まれ防止ドアセンサ	あり	
	セーフティシュー	片側（多光軸ドアセンサ）	
	遮煙機能	大臣認定品 2枚戸両引き用（1-4階）	
	点字名板取付方法	接着	
	インターホン呼び出しボタン応答灯（聴覚障がい者対応仕様）	あり	
	おもり非常止め	なし	
	火災時管制運転方式	火報信号連動式	
	インターホン型式	6V1局	
	かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス	
	かご室スピーカー	あり	
	高調波対策種類	DCリアクトル（Ki=1.8）	
フェリッシュアプレート	エレベーター手配（標準品）（2-4階）		
レール支持方式	1フロア1ブラケット		
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付 【標準】		
揚重ビーム手配	建築手配		
仮設動力電源	1式		

No.01号機

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 鉄骨構造階のファスナー、立柱及び中間ビーム（必要の場合）並びにシキイ受材の設置工事
- 鉄骨構造階の三方枠、インジケータ、押ボタン、ハンガーケース等の取付用鋼材設置工事
- 鉄骨構造階の敷居取付材設置工事（敷居への作用荷重に対して、たわみは1mm以下となる部材を設置すること）
- 鉄骨構造階の昇降路における鉄骨材の耐火処理工事および乗場出入口廻りの耐火処理工事
- 各階乗場出入口枠周囲のロッキング詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上げ工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック又はビームの設置工事（※別紙による。）
- 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご敷居先端から125mm以下）
- ピット内防水仕上工事（必要時は、排水設備工事含む）
- ピット床下部使用の場合の建築対策工事
- ピットが深い場合の埋め戻し、迷い場合はつり工事
- 段違いピット時のピット内保護工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付けする
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（架設込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（φ9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- エレベーターの遠隔管理用配管・配線工事（昇降路内から最寄の電話中継盤まで）
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ピット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）
- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第3号ニより昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）
発熱量 エレベーター駆動部（ $\frac{W}{A}$ 5台）1
+エアコン（ $\frac{W}{台}$ ）
- 据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。）
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

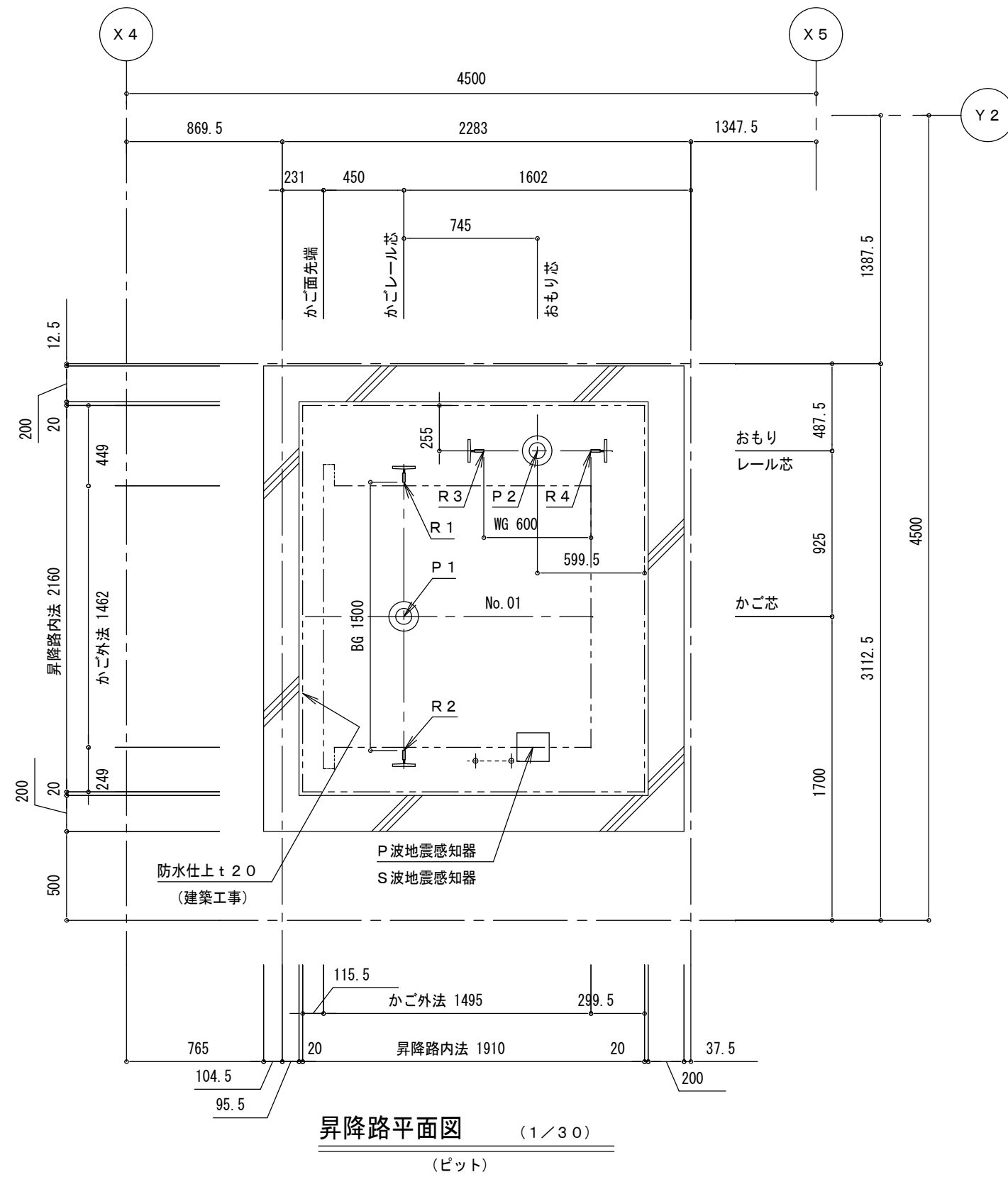
外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。 管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。 （建築基準法施行令第129条の10第3項第3号） もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。 1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

注意事項

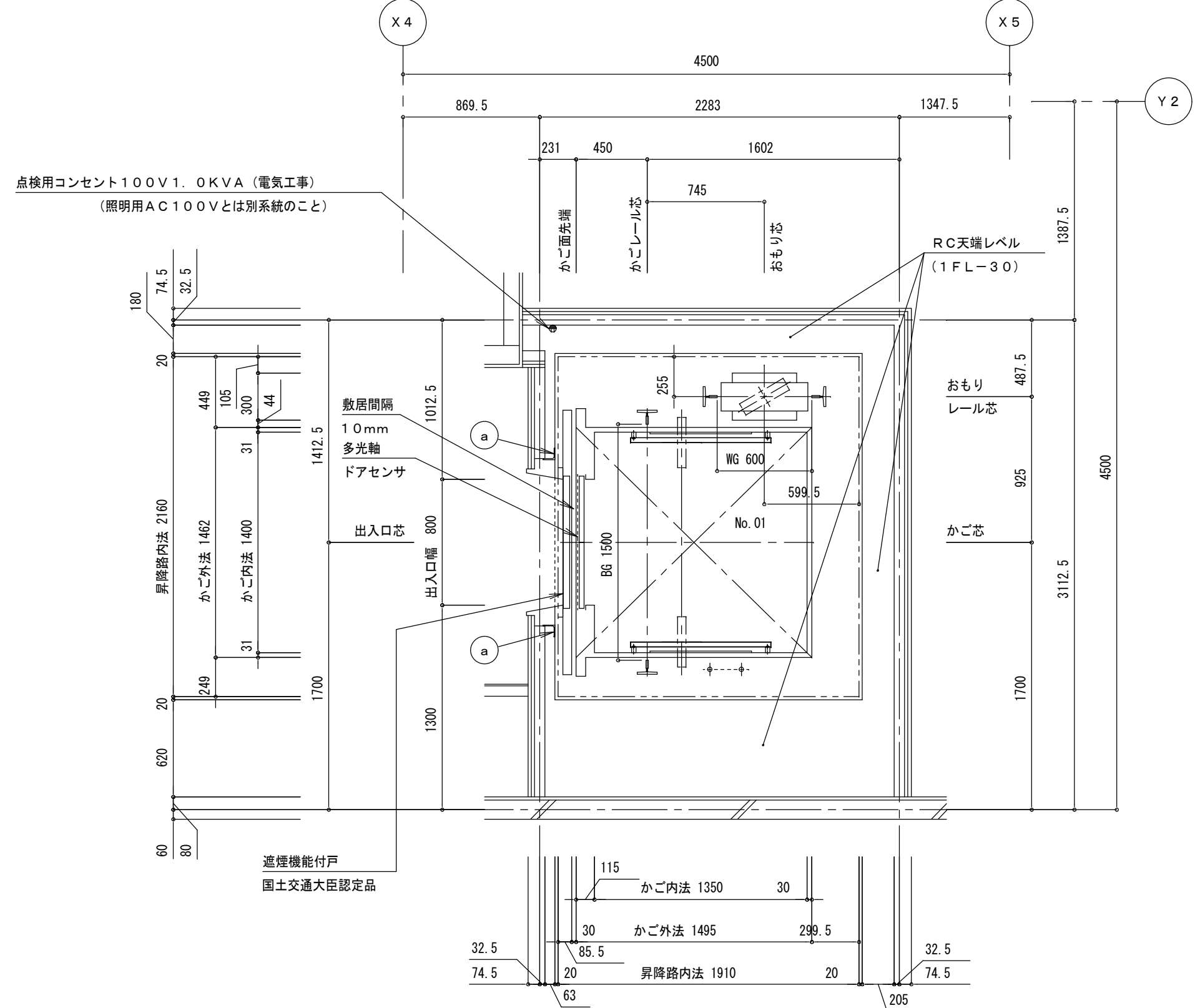
- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は21N/mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%〜-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件とすること
（1）昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
（2）金風を損耗または腐食したり電気接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガス及び爆発性ガスのないこと
①腐食性ガス：硫化水素ガス、亜硫酸ガス、塩素ガス、過酸化窒素ガス、アンモニアガスおよび海岸地区における潮風
※昇降路標準環境の基準例
硫化水素ガス…H2S=0.005 [ppm] 以下
亜硫酸ガス…SO2=0.01 [ppm] 以下
塩化水素ガス…HCl=0.05 [ppm] 以下
塩素ガス…Cl2=0.005 [ppm] 以下
アンモニアガス…NH3=0.1 [ppm] 以下
海岸地区における潮風…海岸より2km以上の地区（プールサイドの場合は上記塩素ガスC12基準値以下）
※海岸より2km未満、プールサイドの場合は昇降路内に潮風・プール方向からの風が入らず、乗場や屋外に露出しないようなレイアウトとすること
②電気接点の接触障害となるもの：鉄粉、炭塵、化学工場における粉塵
③爆発性ガス、又は、粉塵：メタン、石炭ガス、ブタン、ガソリン、アセチレン、水素、エーテル、炭塵、穀粉
（3）エレベーターの電気信号に影響を及ぼす電磁波がないこと
電磁波の電界強度が10V/m以下の環境とすること
（4）原則、昇降路の設置場所は標高1000m以下の高さとする
（1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備により外部から風雨が侵入しないこと（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、屋外又は、屋内ガラス越しから乗場及び駆動・制御装置（制御盤、秤装置等）に直射日光が当たらない対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないようにすること
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第3号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な過温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を經由しないこと）
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする

- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工する必要があります。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
昇降路内は不燃材もしくは難燃材（平12建告1402号で定められた材料又は国土交通大臣の認定を受けたもの）とする必要があります
※法定のオーバーヘッド寸法確保やドア設置取付に支障が無いが、施工範囲と厚みを昇降機担当へ連絡し問題ないことを確認ください
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行うこと。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じ社内基準にて行います
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021、1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です
- かごの内装デザイン等が別途工事の場合、品質保証（変色、はがれ、劣化等の外観変化）対象となりす
また、昇降機保守対象外となります材質、構造等は以下を順守のこと
材質：不燃又は難燃認定品
構造：装飾品（鏡等含む）には、エレベーター非常止め作動時または縦衝撃衝突時は4G（縦方向）
地震時は1G（横方向）相当の加速度が発生する可能性があるためそれに耐え、かつ着着固定による劣化を考慮した取付構造とすること
照度：かごの床面で50ルクス（乗用、寝台用以外にあっては25ルクス）以上の照度とすること
建築用途と使用環境の違いにより、早期に寿命を迎えることがあります
かご照明の自動休止機能により、照明のON/OFF回数が多い
かごの昇降による振動がある
- 施工作業時間条件：月曜日～土曜日 8：00～17：00
尚、施工作業期間内の「4週休」就労をさせていただきます

特記	月 日		U 建築設計		設計番号	年 月 日	縮尺	津市立橋北中学校長寿命化改修工事		No.
	三 重 県 津 市 白 塚 町 5 1 8 8	TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897	一級建築士事務所	一級建築士第248160号				設計	EV-01	
								エレベーター詳細図（1）（参考図）		**
										原因：A2



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)



昇降路平面図 (1/30)
(1階)

ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。

昇降路機器はピット底面・側面、梁・壁 (コンクリートの場合) にあと施工アンカーにより取付を行います

部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	建築工事

ピット荷重 (短期荷重)	
P1 (kN)	P2 (kN)
75.2	63.5

レール下端部荷重 (長期荷重)			
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)
5.9	25.9	46.1	22.3

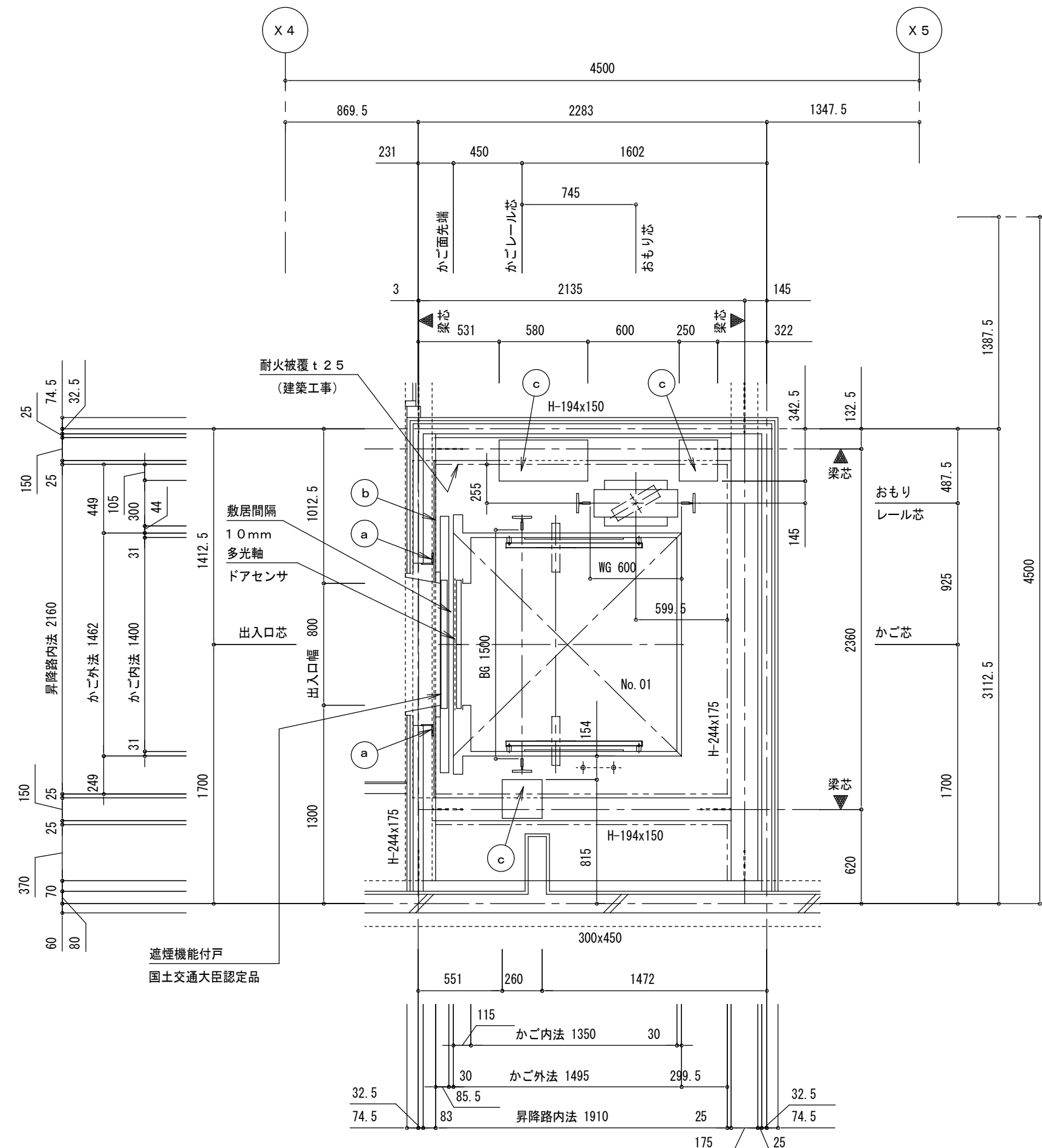
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 P _i (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス換算係数 (K _i)	6パルス等価容量 [K _i ×P _i] (kVA)	機器最大稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 I _n (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	O1号機 (750kg-45m/min)	4.8	1	4.8	31	3.4	16.2	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (K _i =1.8相当)					33	1.8	8.6	25	30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

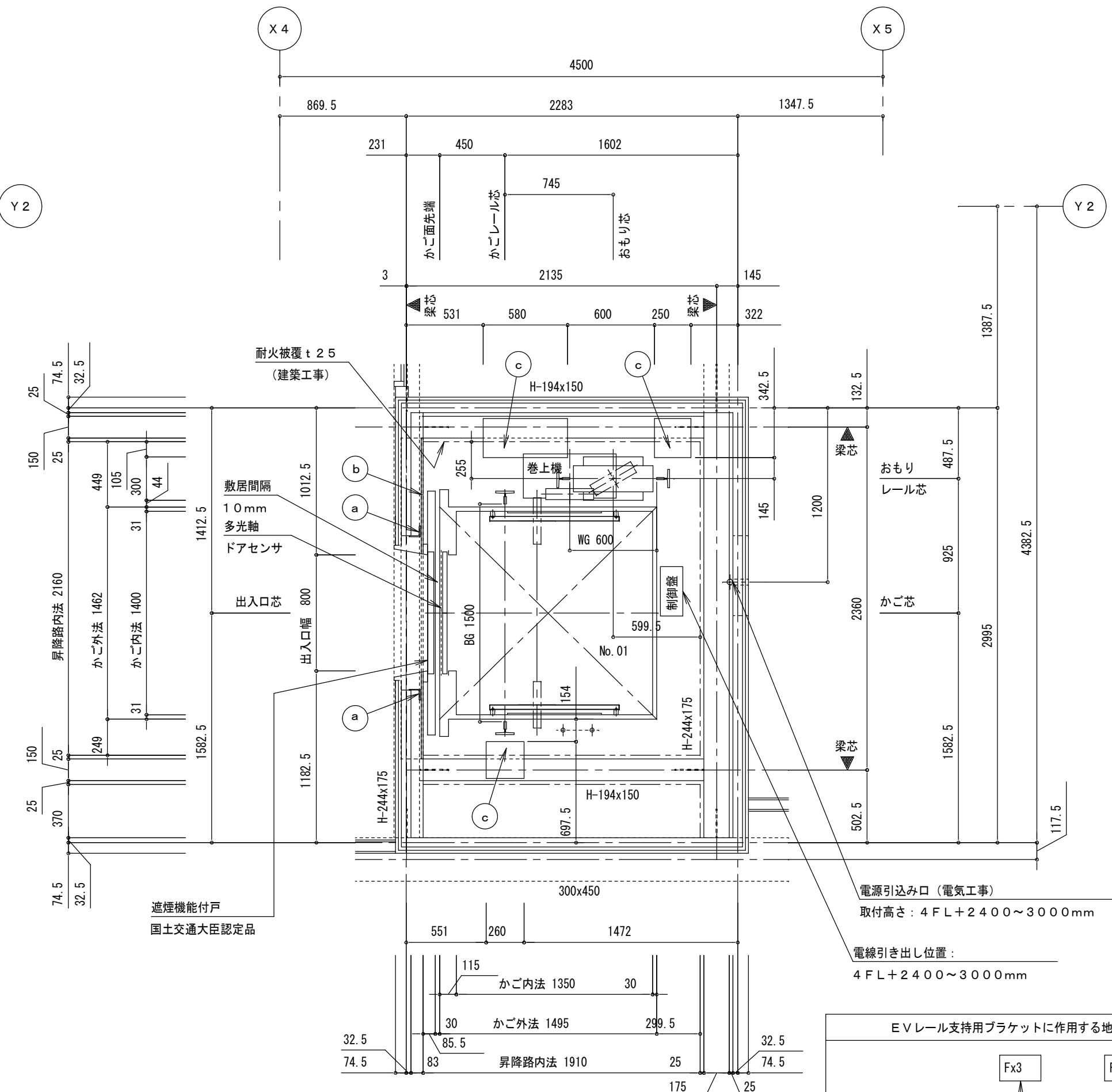
高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$



昇降路平面図 (1/30)
(2, 3階)



昇降路平面図 (1/30)
(4階)

動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値(*) 動作時間	電線サイズ	接地線サイズ
01	AC3φ210V 60Hz	3.8kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	82mまで 8mm ² 142mまで 14mm ² 216mまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC1φ100V 60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台)

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

部材 記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-150×150×12	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事

電源引込み口 (4FL+2400~3000mm)

動力用AC3φ-210V-60Hz

照明用AC1φ-100V-60Hz

D種接地工事

・インターホン用配管配線工事
CPEV-0.9×5P

・火災管制運転用配管配線工事
自火報より無電圧α接点支給

・遠隔監視用配管配線工事
PVC-0.65×4C

・カゴ上スピーカー用配管配線工事
HP1.2mm×3C

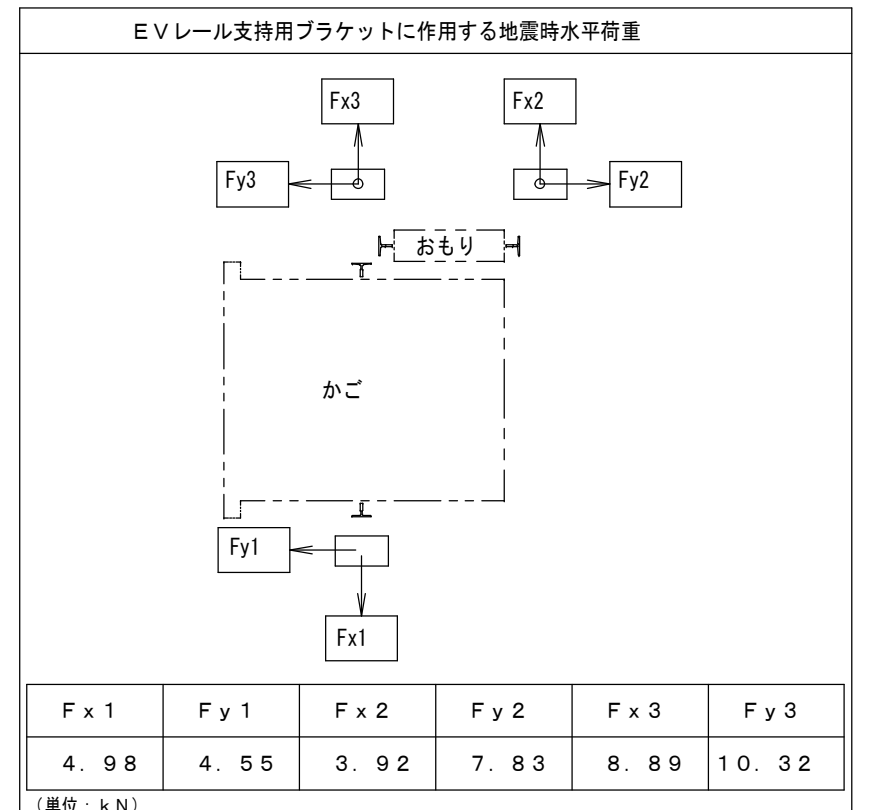
電源線引出し長さ 5000mm

(電気工事)

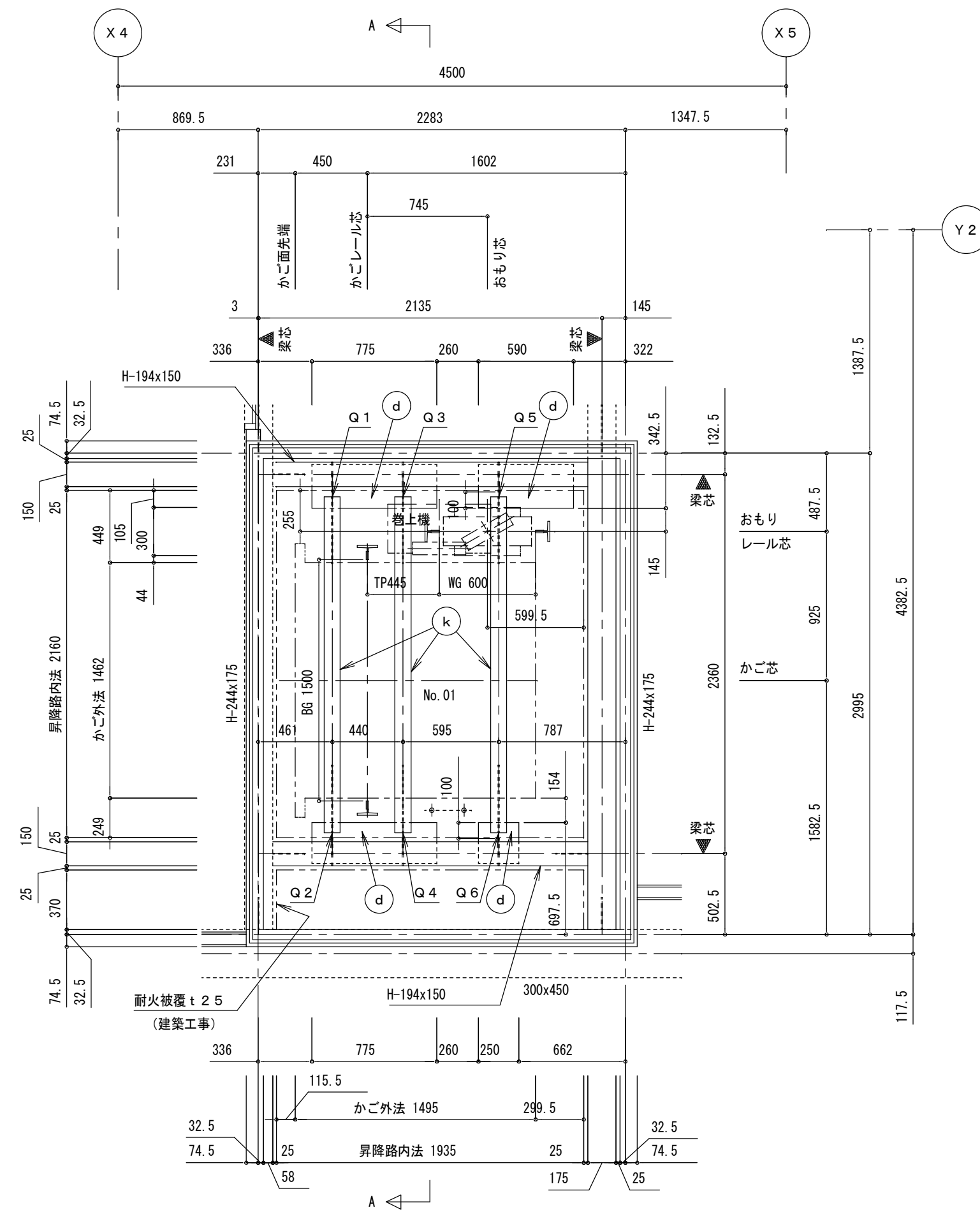
電源引込み口 (電気工事)
取付高さ: 4FL+2400~3000mm

電線引き出し位置:
4FL+2400~3000mm

NO. 01



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。

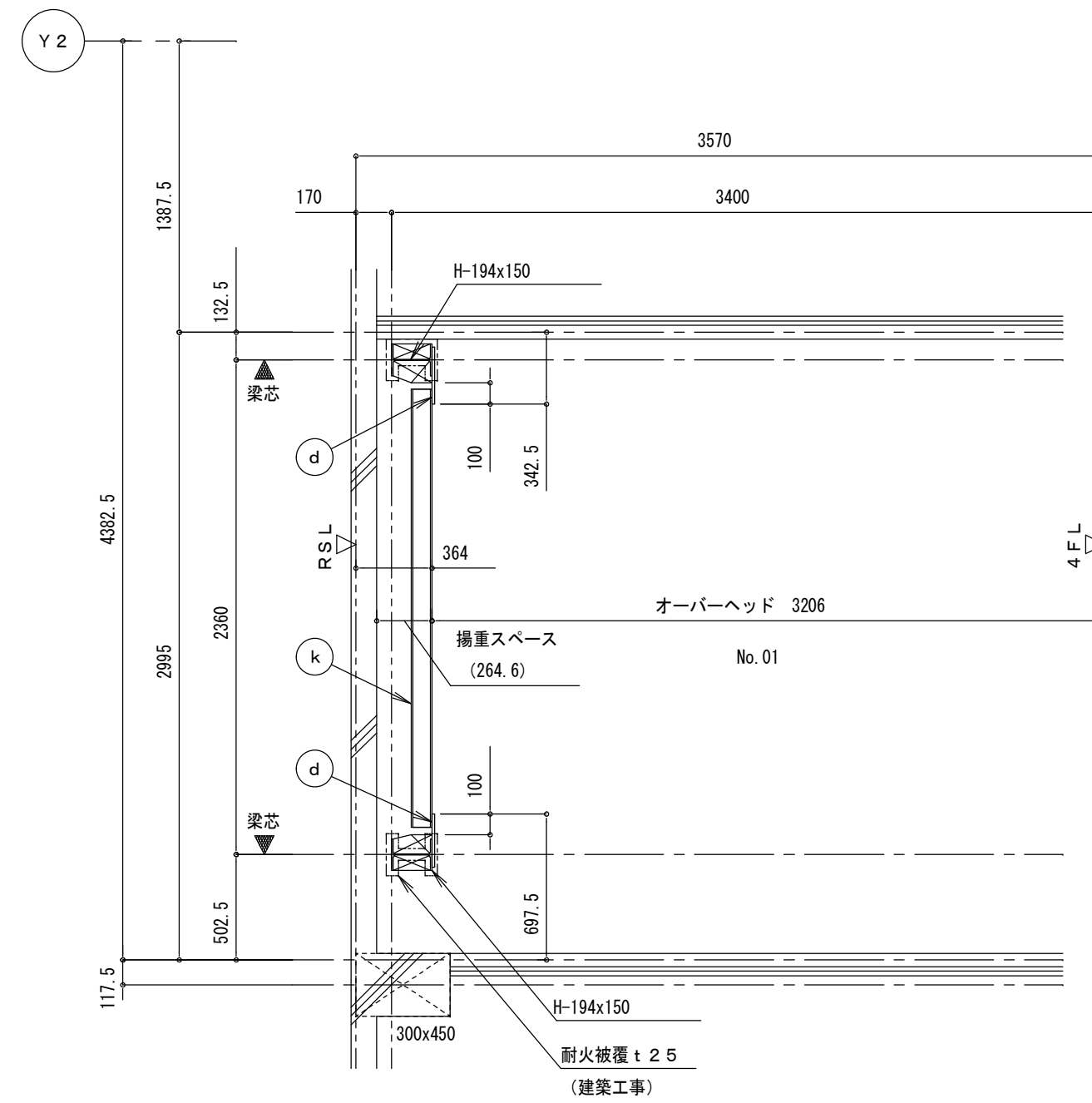


昇降路平面図 (1/30)
(頂部)
(4FL+3206)

揚重ビームに掛かる荷重 No. 01

Q1 (kN)	Q2 (kN)	Q3 (kN)	Q4 (kN)	Q5 (kN)	Q6 (kN)
6.0	2.0	8.0	10.0	16.0	11.0

Q1~Q6はEV据付時に作用する

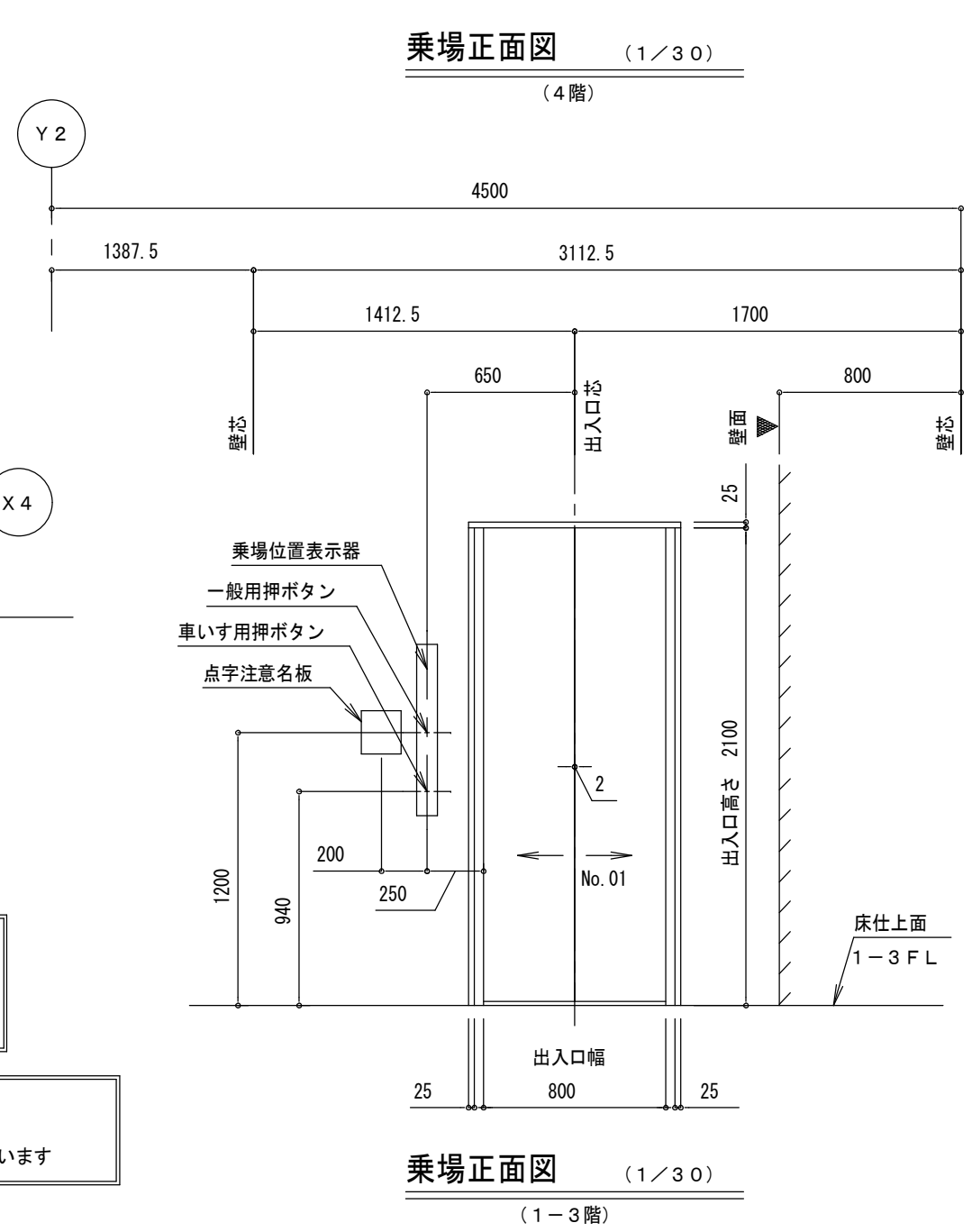
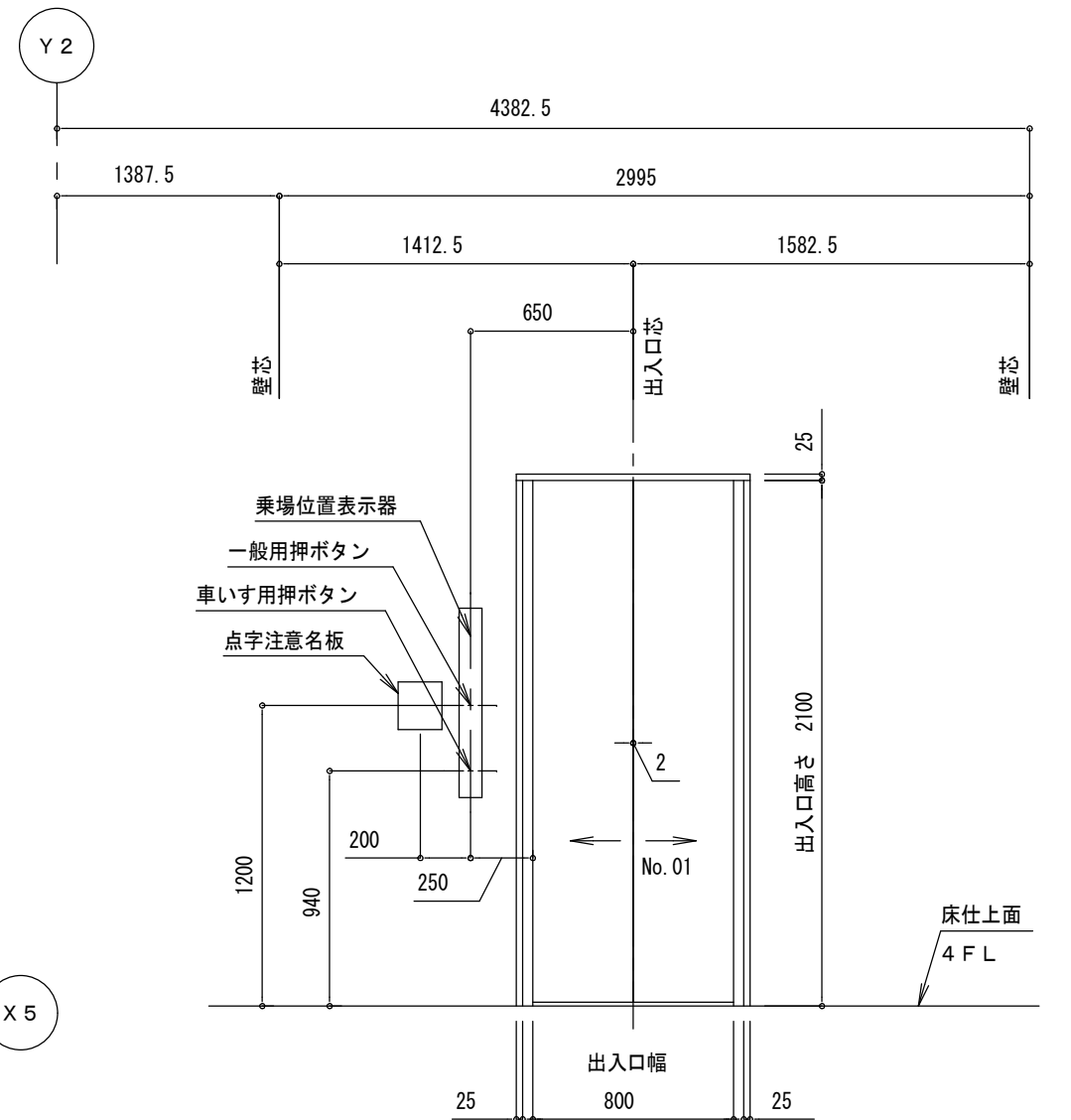
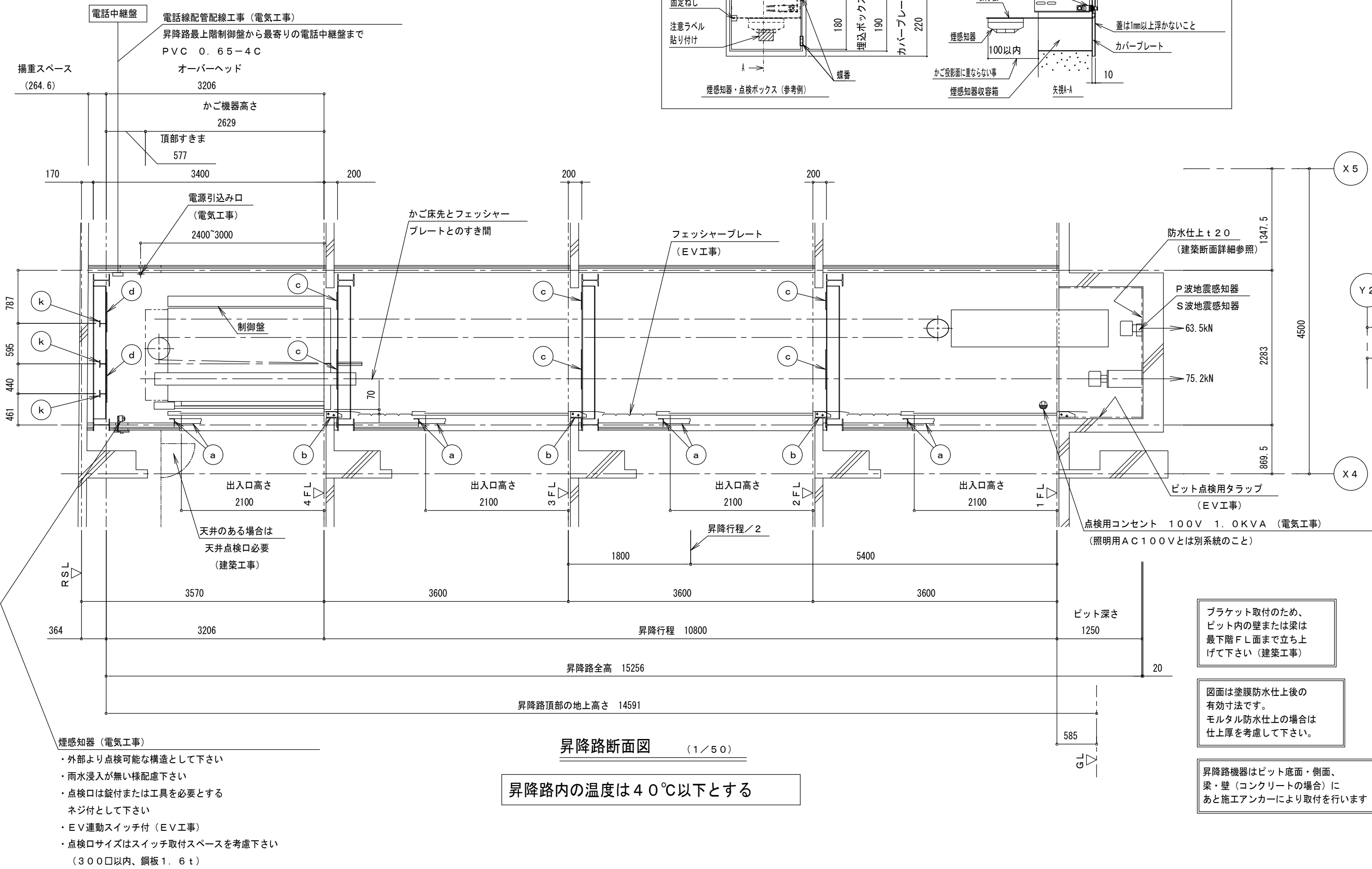
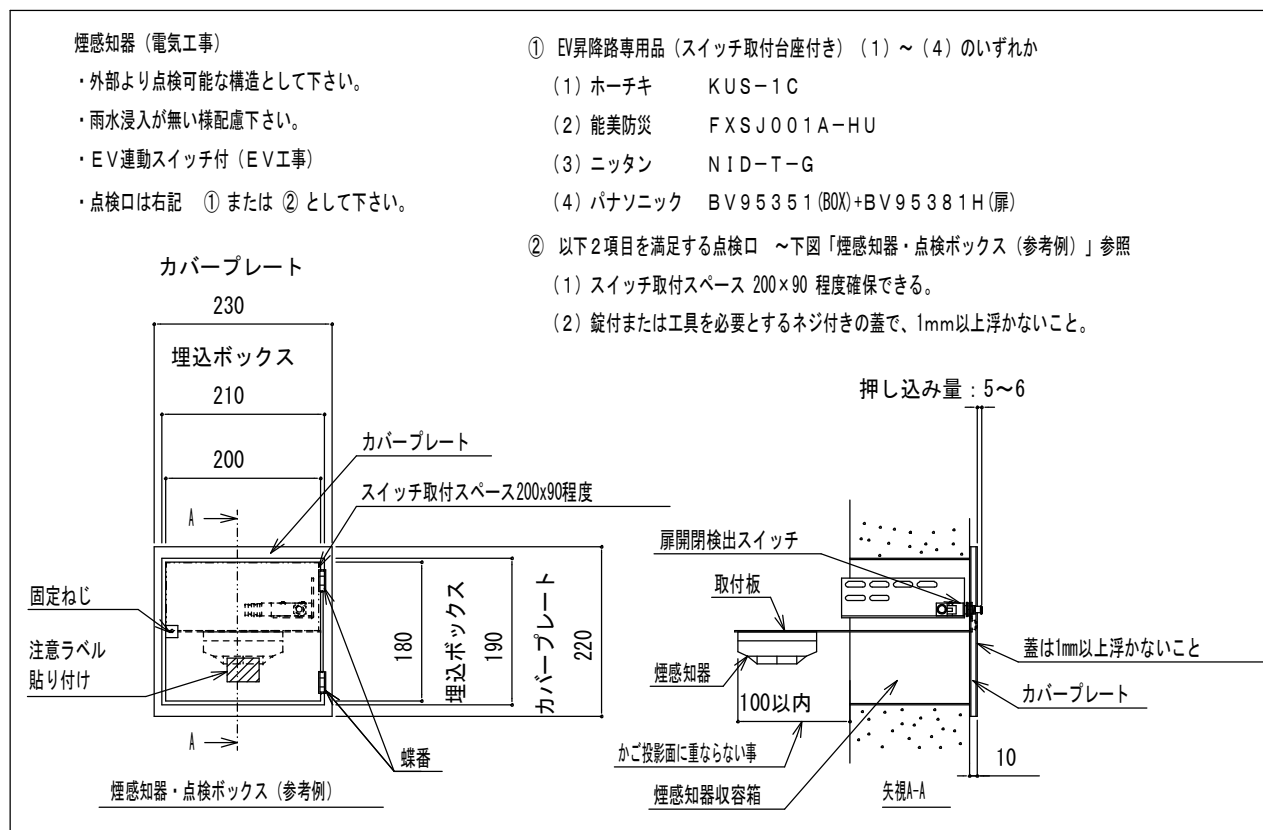


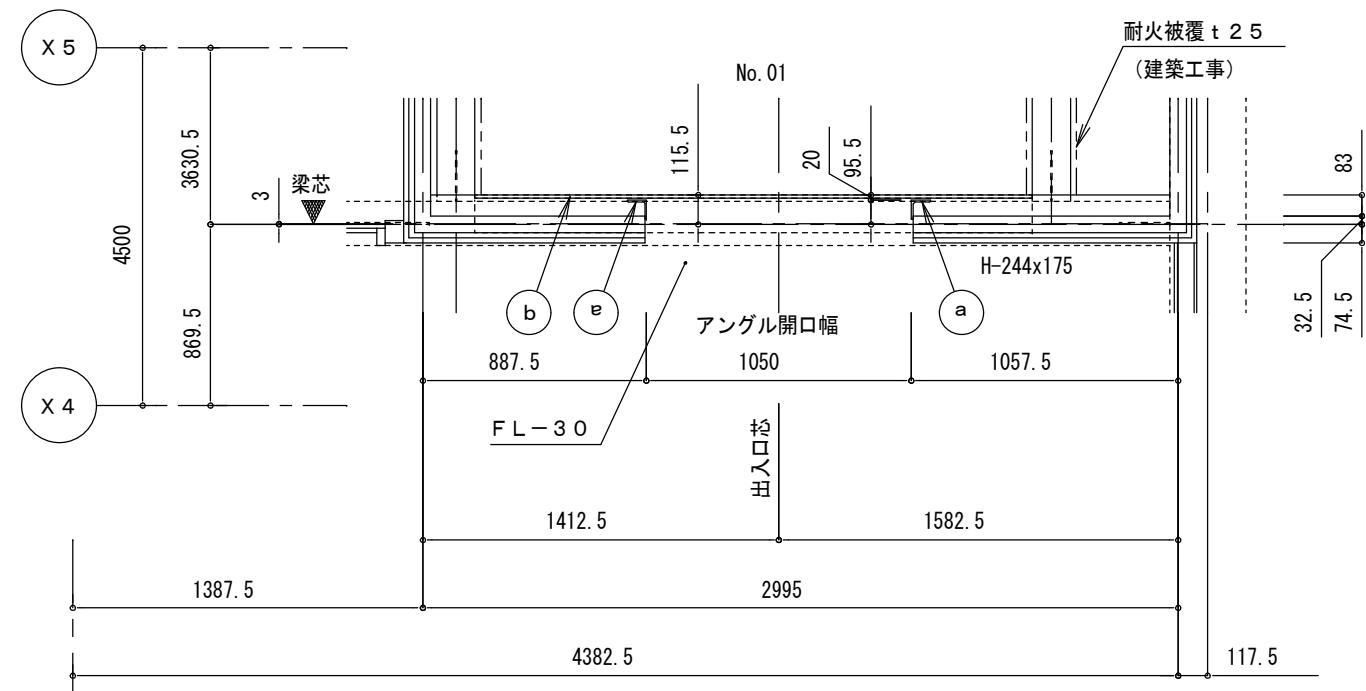
昇降路頂部断面図 (1/30)
断面A-A

部材記号	名称	部材	工事区分
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー (リブ付)	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム (ビーム残し)	H-100×100×6×8	建築工事

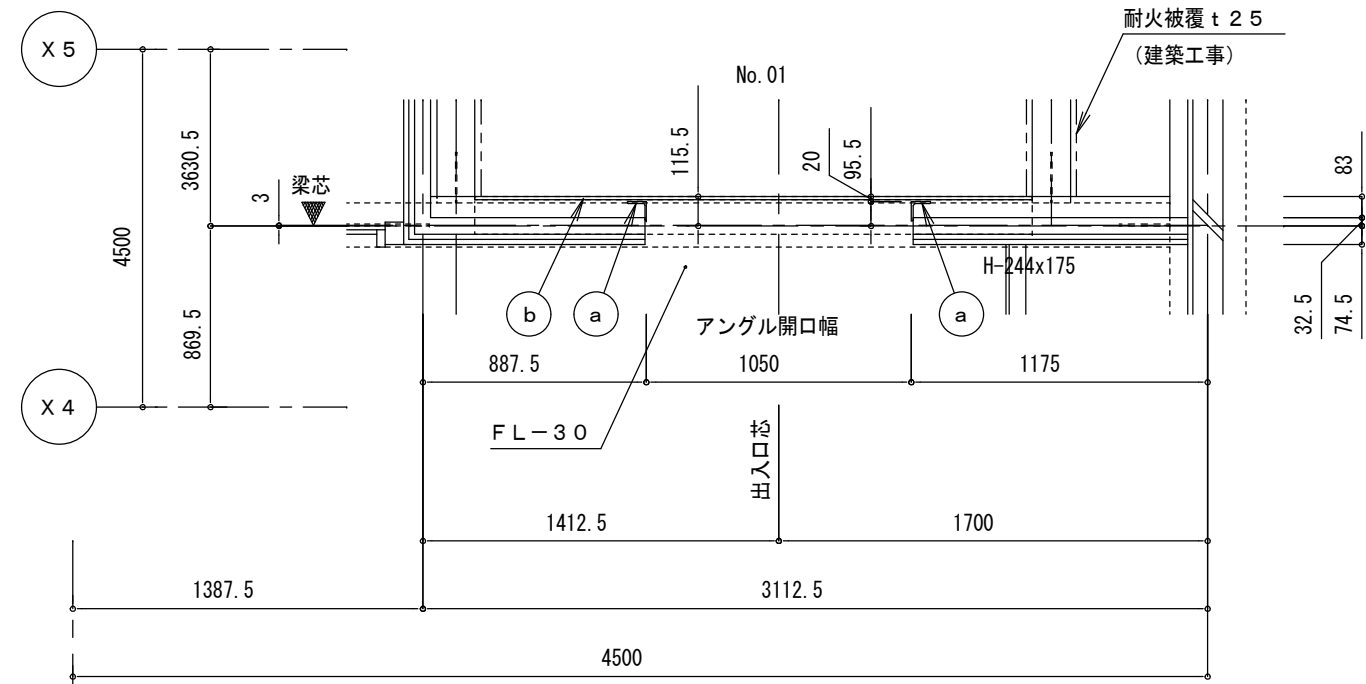
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-150×150×12	建築工事
c	レールブラケット取付用ファスナー	PL-t12	建築工事
d	レールブラケット取付用ファスナー兼 揚重ビーム取付用ファスナー（リブ付）	PL-t12	建築工事
k	揚重ビーム（ビーム残し）	H-100×100×6×8	建築工事

煙感知器施工例

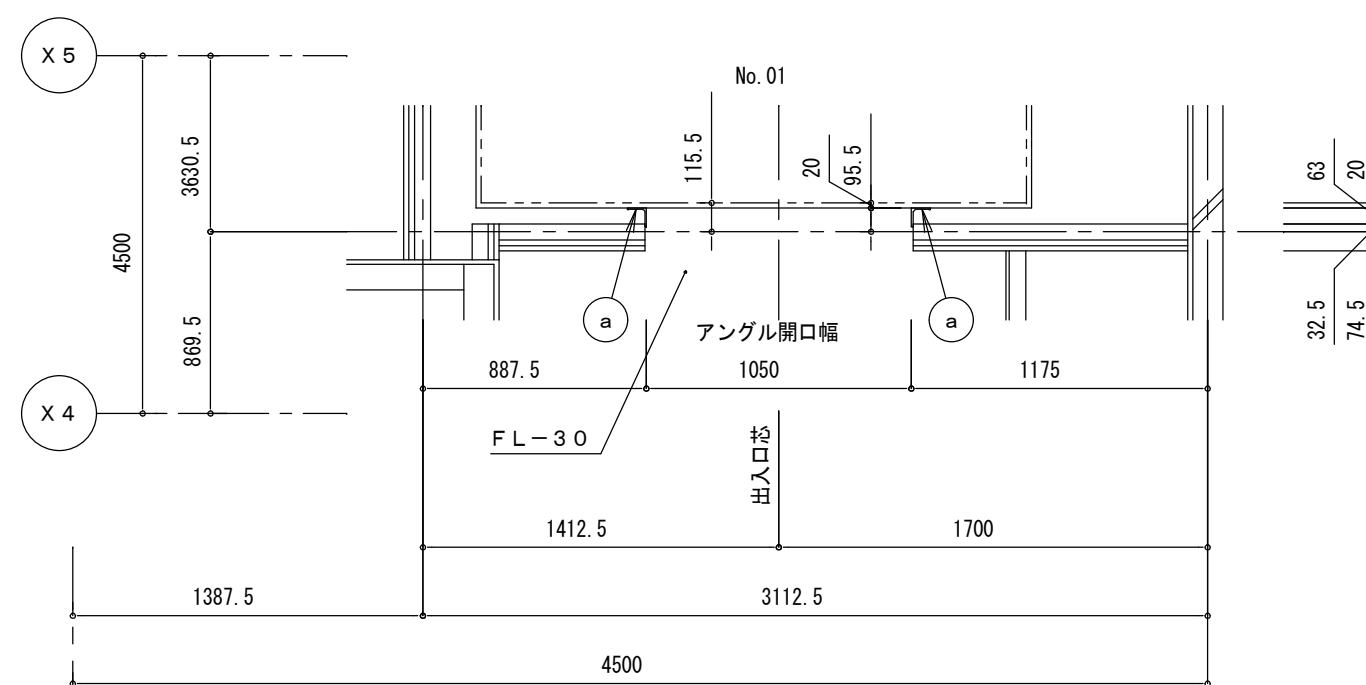




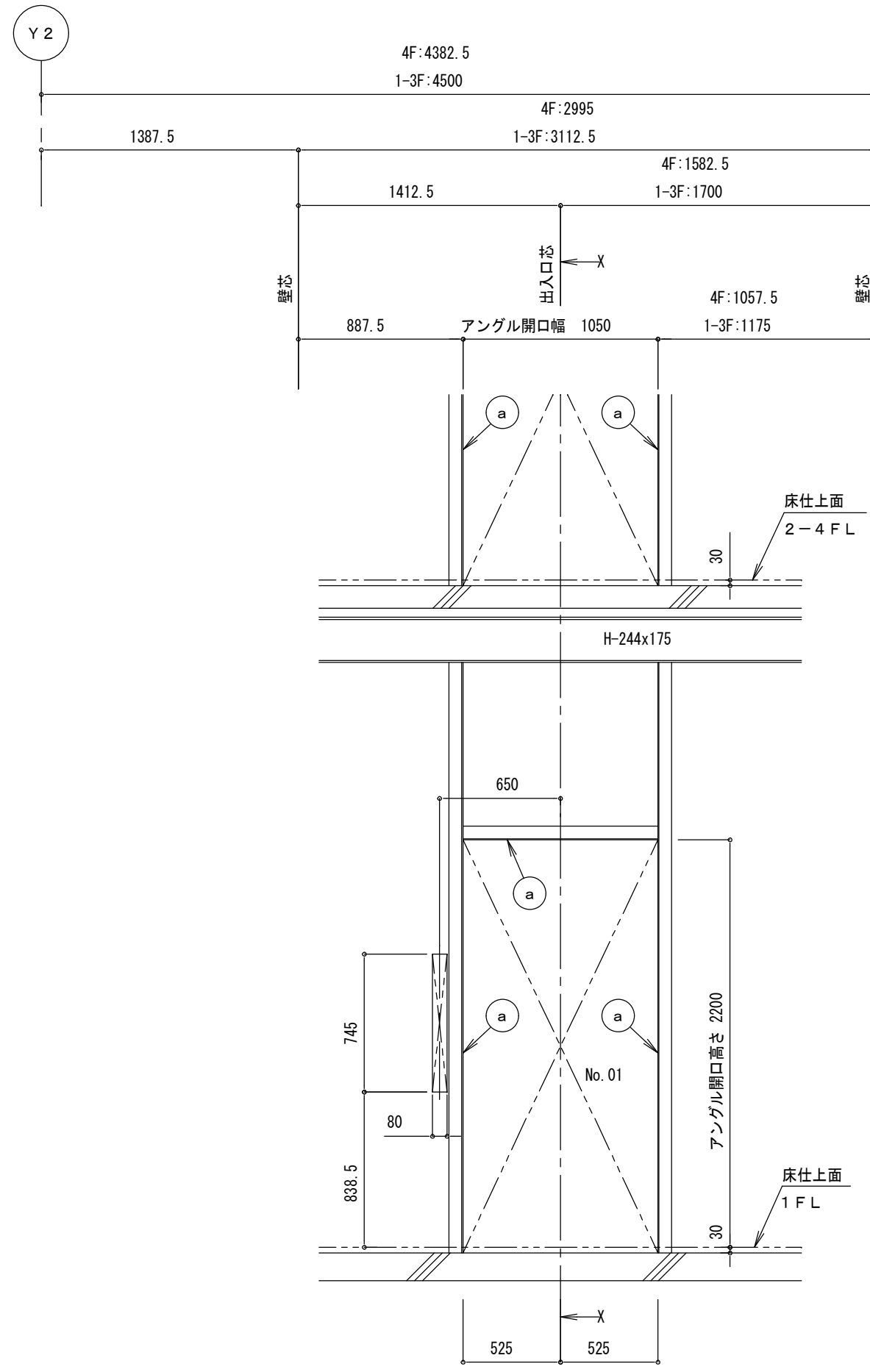
昇降路穴あけ図 (1/30)
(4階)



昇降路穴あけ図 (1/30)
(2、3階)

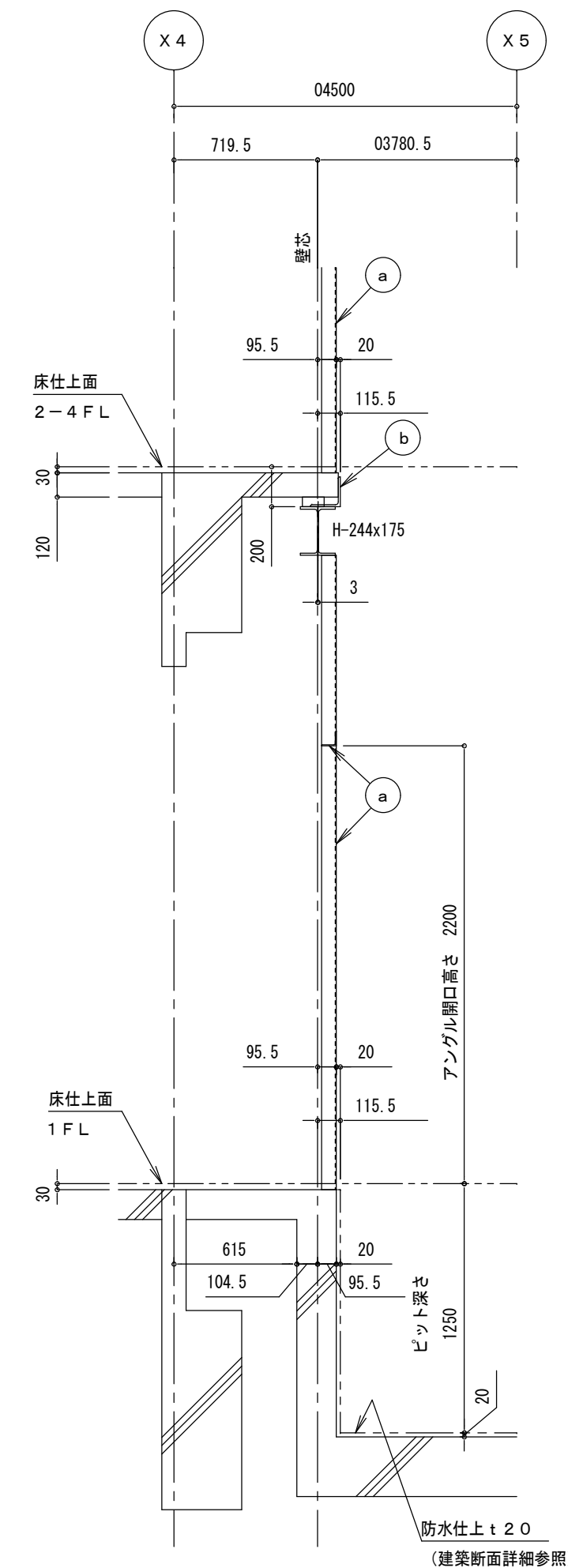


昇降路穴あけ図 (1/30)
(1階)

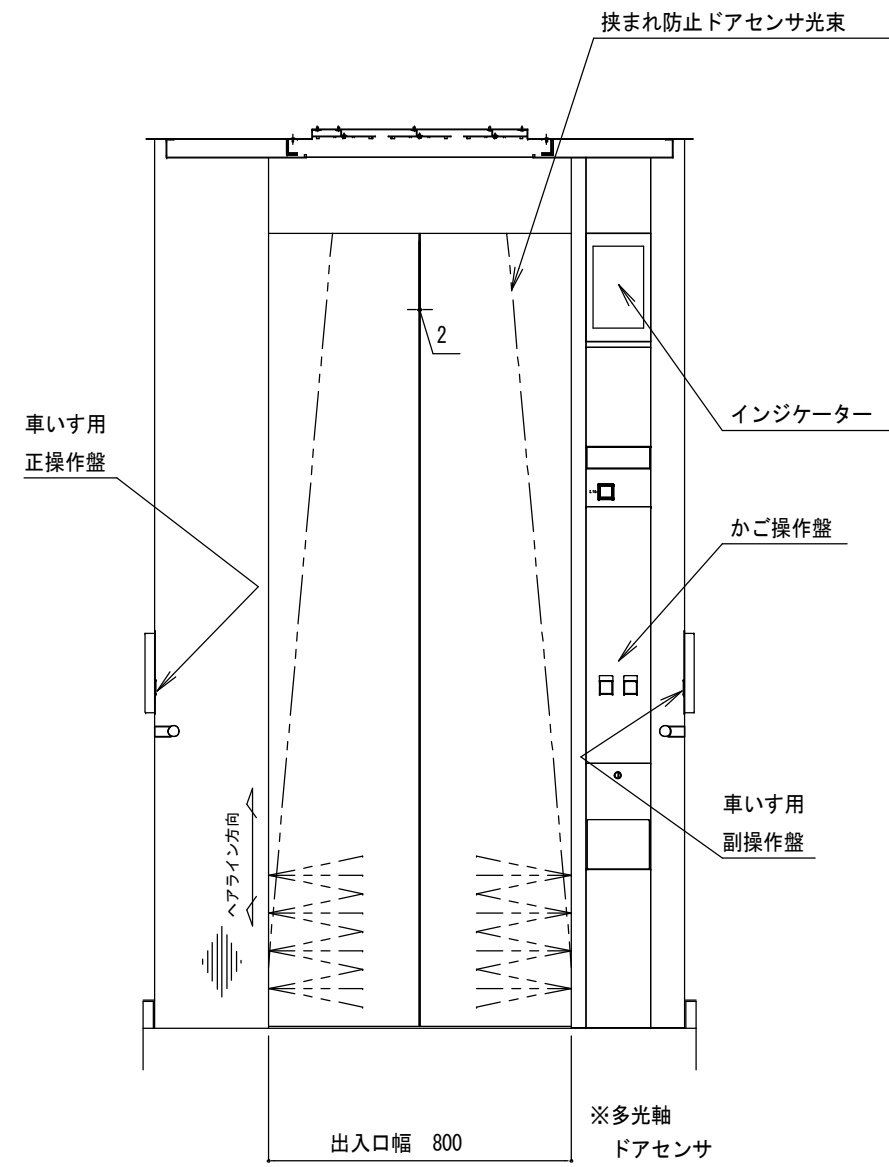


乗場穴あけ図 (1/30)
(1-4階)

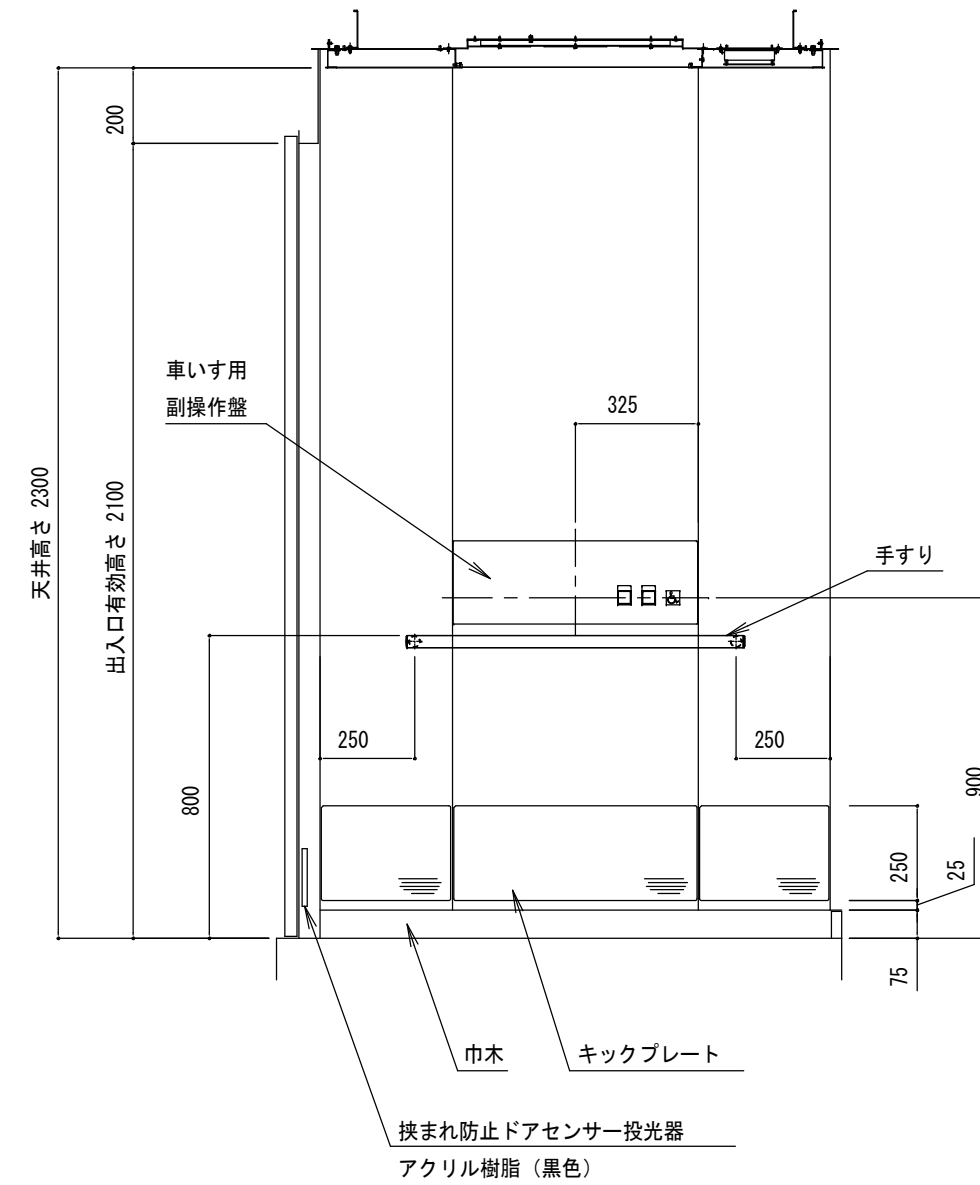
部材記号	名称	部材	工事区分
a	三方枠取付鋼材	L-75×75×6	建築工事
b	敷居取付材	L-150×150×12	建築工事



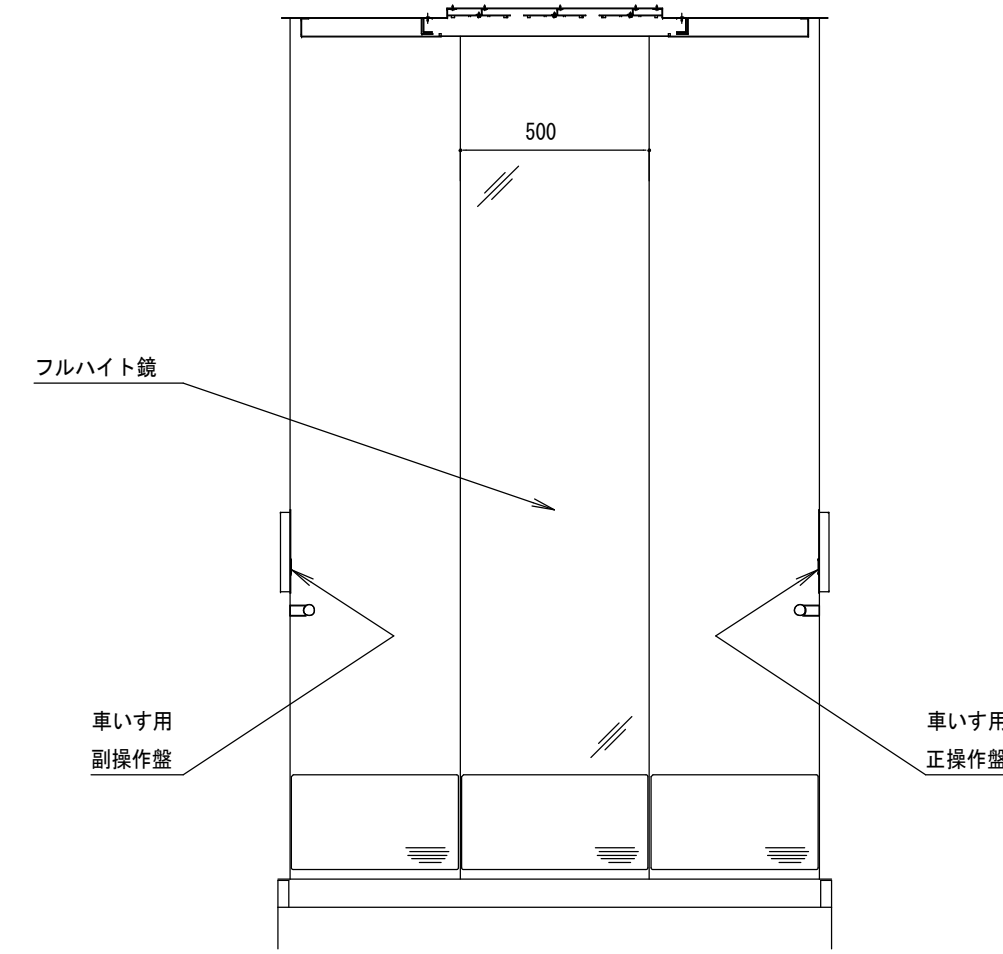
X-X断面



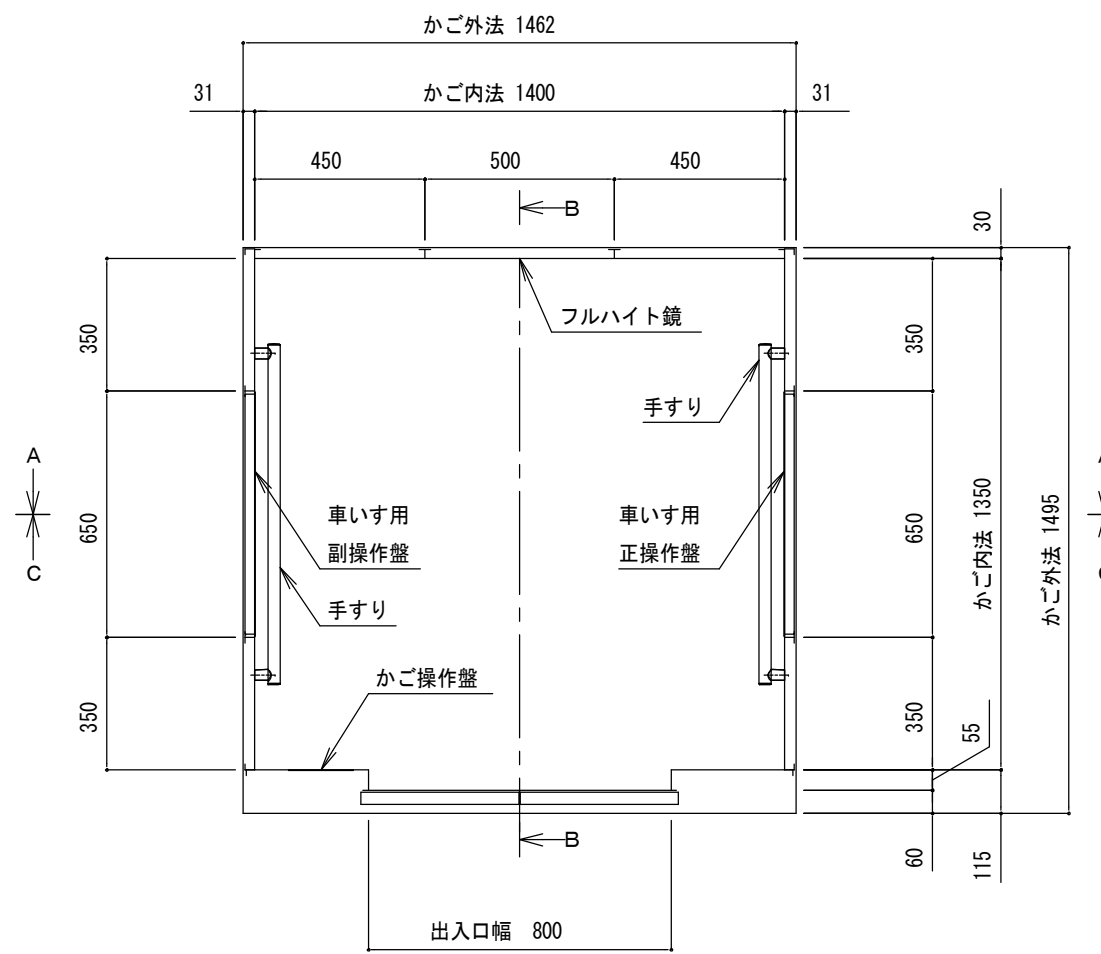
Uかご室正面図 (矢視A-A)



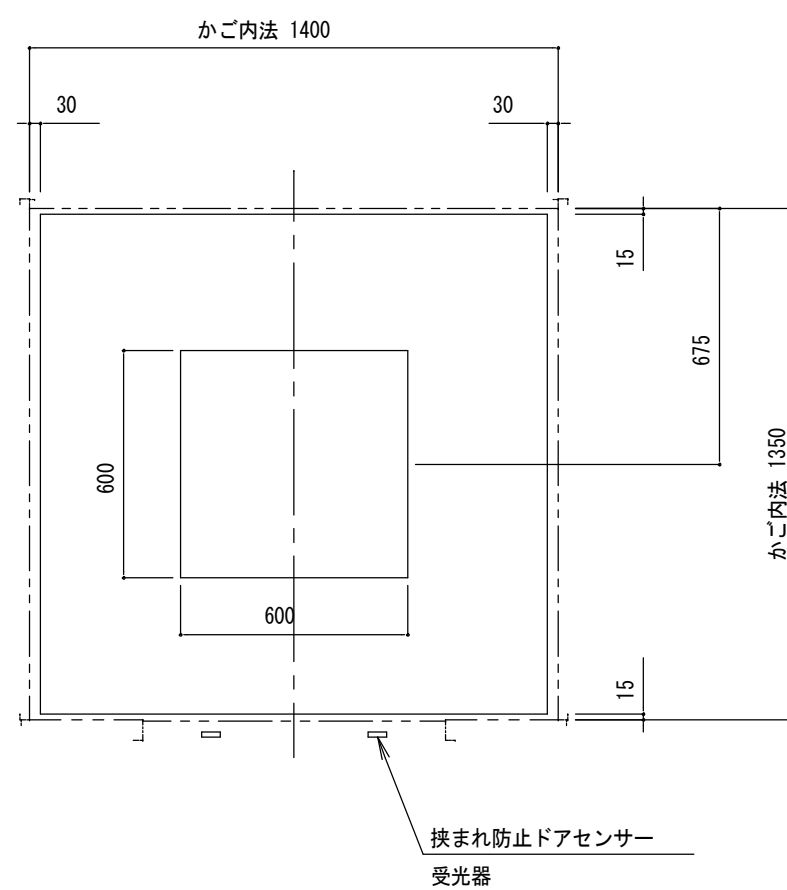
Uかご室側面図 (矢視B-B)



Uかご室背面図 (矢視C-C)



Uかご室平面図



U天井伏図

意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	ファン
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	アルミ製
床仕上部	樹脂タイル t2
敷居	アルミ製
フルハイト鏡	ステンレス鏡面仕上 t1.5
手すり	ステンレスヘアライン仕上 (φ32) キャップ: 樹脂 (パールメッキ) ブラケット: アルミ ブラケットカバー: 樹脂 (パールメッキ)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上: ビス無
保護幕	磁石式 (保護幕高さ標準: 床面より上端まで1895mm)
床マット	あり

かご室意匠図 (1/20)

特記	月	日	U 建築設計 三重県津市白塚町5188 TEL:059-231-8893 FAX:059-231-8897 一級建築士事務所 一級建築士第248160号 登録番号(1)第2118号 内田 貴之	設計番号	年月日	縮尺 A2 1/20 A3 1/28.3	津市立橋北中学校長寿命化改修工事 エレベーター詳細図(7) (参考図)	N0. EV-07 ** 原図:A2